

教 育 要 覧

令和 8 年度

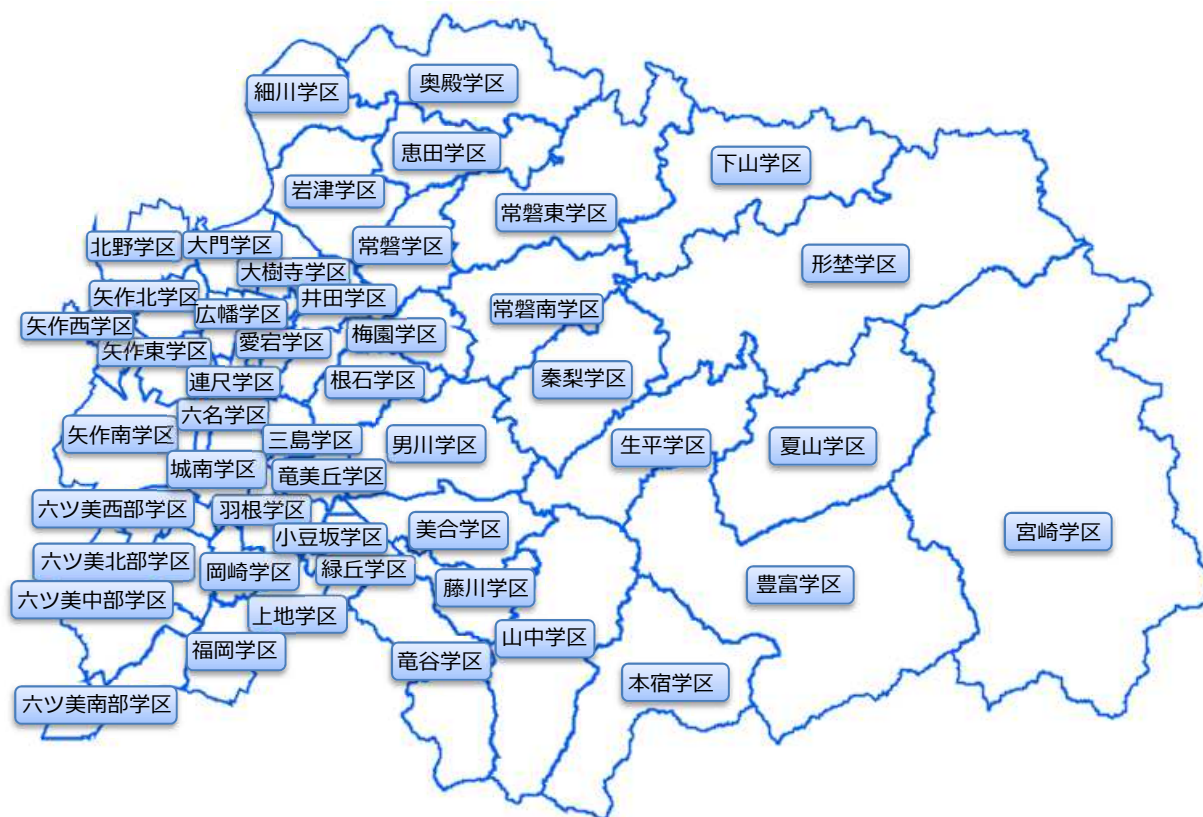
岡 崎 市 教 育 委 員 会

I	総説	1	2	家庭教育事業	74
第1	市勢の概要	2	第2	社会教育施設等	75
1	隣接町村合併沿革	4	1	市民センター	75
2	人口及び世帯数の推移	5	2	視聴覚ライブラリー	76
第2	教育委員会	6	3	図書館交流プラザ	79
1	教育長・教育委員	6	4	中央図書館	81
2	令和7年度教育委員会	7	5	美術館	88
第3	教育行財政	9	6	美術博物館	89
1	令和7年度教育費予算	9	7	少年自然の家	90
2	令和5年度教育費歳出決算	10	8	子ども・若者総合相談センター	91
3	第5次岡崎市学校教育等推進計画	11	第3	文化財	94
4	行政組織図	12	1	文化財保護	94
5	職員配置状況	13	2	旧本多忠次邸	97
6	事務局・教育機関の事務分掌	14	第4	社会体育	99
7	事務の補助執行・委任	17	1	体育振興	99
II	学校教育	19	2	公益財団法人岡崎市スポーツ協会	102
1	学校教育の視点	20	IV	資料	106
2	令和8年度研究発表会・授業公開	21	第1	教育委員会関係	107
3	時代の要請に応える教育	22	1	歴代教育委員会委員	107
4	特色ある教育活動・取組	23	2	歴代教育委員会委員長	109
5	I C T 教育	24	3	歴代教育長	110
6	国際理解教育	29	第2	学校関係	112
7	特別支援教育	31	1	市内学校数	112
8	教職員の研修	32	2	進路別卒業者数の推移	112
9	教育委員会特別委員会	41	3	児童・生徒定期健康診断	113
10	学校評価(学校経営評価)	43	4	学校事故	115
11	開かれた学校づくり	44	5	学校保健	117
12	いじめ・長期欠席対策	47	6	学校施設	118
13	危機管理対策	50	7	市立小学校概要	119
14	就学・奨学制度	54	8	市立中学校概要	123
15	全市的行事	56	9	児童生徒数一覧	125
16	教育関係表彰	59	10	市立小中学校以外の学校等	127
17	総合学習センター	60	第3	体育施設	129
18	教育相談センター	63	1	市内体育施設	129
19	学校給食	65	2	利用状況	133
III	生涯学習	69			
第1	生涯学習	70			
1	生涯学習事業	70			

I 総 説

- 第 1 市勢の概要
- 第 2 教育委員会
- 第 3 教育行財政

第1 市勢の概要



○市制施行 大正 5 年 7 月 1 日

○市役所の位置 岡崎市十王町二丁目 9 番地

○親善都市 沖縄県石垣市 昭和 44 年 2 月 19 日提携
広島県福山市 昭和 46 年 11 月 9 日提携

○姉妹都市 スウェーデン・ウッデバラ市 昭和 43 年 9 月 17 日提携
米国・ニューポートビーチ市 昭和 59 年 11 月 27 日提携

○友好都市 中国・呼和浩特市 昭和 62 年 8 月 10 日提携

○ゆかりのまち 長野県佐久市、神奈川県茅ヶ崎市、岐阜県関ヶ原町
昭和 58 年 7 月 1 日提携

○観光交流都市 石川県金沢市 平成 19 年 10 月 18 日提携

○市章

岡崎市の市章は、外まわりに竜の爪が宝珠をつかんだ形を配し、その中は岡崎の「岡」の漢字を図案化したもので、岡崎城の故事を取り入れてこの形になったとされている。



○市の花 ふじ（昭和 45 年 6 月 2 日選定）

岡崎公園の西南部、菅生川を望む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名である。昭和 38 年には市の天然記念物に指定。かつて城の入口付近にあったものを今の場所に移したもので、古くから五万石藤の名で市民に親しまれている。



○市の花 さくら（平成 28 年 7 月 1 日選定）

岡崎城を背景に咲き誇る桜は、本市のシンボルであり、毎年、市内外から多くのかたが訪れ、東海地方随一と言われる夜桜とともに、市民の誇りとなっている。市制施行 100 周年を機に、市の花として追加された。



○市の鳥 ハクセキレイ（昭和 50 年 3 月 27 日選定）

生活圏が主に水辺で清流のまち岡崎のイメージに合い、矢作川や乙川などの水辺でよく姿を見ることができることから選ばれた。



○市の木 みかわくろまつ（昭和 46 年 12 月 21 日選定）

市民の投票によって決定しました。西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多いことから、岡崎で見られるものを「みかわくろまつ」と称賛してつけられた。



○市歌

岡崎市歌

北原白秋
山田耕筈
作詞
作曲

1 雲にかがやく 竜城の
青葉の嵐 仰ぎ見よ
国に築きし 先傑の
勲は高し この力
奮えよ我等 後永く
堅実の地歩 日に継がん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

2 名にしゆたけき 天恵の
矢作の流 まさに見よ
土は肥えたり 西三河
眺は広し この平野
奮えよ我等 明らけく
営々の業 世に布かん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

3 煙にぎわう 新興の
時代の勢 ここに見よ
音にきこゆる 産業の
誉は高し この栄
奮えよ我等 眉わかく
躍進の都市 いまどよむ
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

I 総 説

第1 市勢の概要

1 隣接町村合併沿革

年 月 日	編 入 町 村	編入面積	総面積
明治 22 年 10 月 1 日	町制施行 (30 町村合併)	4.07km ²	4.07km ²
明治 35 年 9 月 23 日	男川村の一部 (大字欠) 合併	1.45km ²	5.52km ²
明治 39 年 5 月 1 日	三島村、乙見村の一部 (大字稲熊、大字小呂) 合併	9.87km ²	15.39km ²
大正 3 年 10 月 1 日	広幡町合併	4.29km ²	19.68km ²
大正 5 年 7 月 1 日	市制施行		
昭和 3 年 9 月 1 日	岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部 (大字箱柳) 合併	31.16km ²	50.84km ²
昭和 30 年 2 月 1 日	岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村合併	139.31km ²	190.15km ²
昭和 30 年 4 月 1 日	矢作町合併	22.70km ²	212.85km ²
昭和 35 年 1 月 1 日	旧矢作町の一部 (河野村、宇頭茶屋町、尾崎町、柿崎町、橋目町の一部) 安城市へ編入	△3.12km ²	209.73km ²
昭和 37 年 10 月 15 日	六ツ美町合併	17.32km ²	227.05km ²
平成元年 11 月 10 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		226.97km ²
平成 18 年 1 月 1 日	額田町合併	160.27km ²	387.24km ²
平成 26 年 10 月 1 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		387.20km ²

2 人口及び世帯数の推移

(各年 4 月 1 日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数	備 考
大正 5 年	34,895 人	16,485 人	18,410 人	7,687 世帯	7 月市制施行
昭和 3 年	51,700 人	25,292 人	26,408 人	11,825 世帯	9 月岡崎村他 3 村合併
10	71,623 人	34,196 人	37,427 人	15,961 世帯	
20	97,686 人	48,105 人	49,581 人	20,507 世帯	
30	143,575 人	68,812 人	74,763 人	28,634 世帯	2 月岩津町他 7 町合併、4 月矢作町合併
35	165,453 人	79,560 人	85,893 人	34,566 世帯	1 月安城市に一部境界変更
37	172,069 人	83,557 人	88,512 人	36,998 世帯	10 月六ツ美町合併
40	193,559 人	94,475 人	99,084 人	43,075 世帯	
50	231,083 人	114,186 人	116,897 人	67,279 世帯	
60	281,914 人	139,614 人	142,300 人	83,656 世帯	
平成元年	299,628 人	149,115 人	150,513 人	92,504 世帯	
10	331,779 人	166,249 人	165,530 人	113,883 世帯	
15	348,049 人	174,949 人	173,100 人	126,753 世帯	4 月中核市に移行
18	367,850 人	185,452 人	182,398 人	138,706 世帯	1 月額田町合併
20	375,067 人	189,605 人	185,462 人	145,040 世帯	
25	378,249 人	190,879 人	187,370 人	149,060 世帯	
26	379,264 人	191,515 人	187,749 人	150,968 世帯	
27	380,764 人	192,372 人	188,392 人	152,849 世帯	
28	383,493 人	194,150 人	189,343 人	155,905 世帯	
29	384,950 人	195,001 人	189,949 人	157,966 世帯	
30	386,943 人	196,261 人	190,682 人	160,783 世帯	
31	387,887 人	196,813 人	191,074 人	163,104 世帯	
令和 2 年	387,106 人	196,578 人	190,528 人	164,390 世帯	
3	385,823 人	195,816 人	190,007 人	165,775 世帯	
4	384,996 人	195,197 人	189,799 人	166,994 世帯	
5	383,789 人	194,477 人	189,312 人	168,543 世帯	
6	383,141 人	194,085 人	189,056 人	170,248 世帯	
7	381,638 人	193,275 人	188,363 人	171,844 世帯	
8	380,391 人	192,812 人	187,579 人	173,687 世帯	

第2 教育委員会

1 教育長・教育委員



職 名 教 育 長
氏 名 安 藤 直 哉
教育長就任年月日 令和7年4月1日（4期目）



職 名 委 員・教育長職務代理者
氏 名 小 森 保 生
教育長職務代理者
就 任 年 月 日 令和8年4月1日
委員就任年月日 令和5年10月1日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 田 口 千 代
委員就任年月日 令和6年11月17日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 千 野 智 子
委員就任年月日 令和3年10月1日（2期目）



職 名 委 員
氏 名 上 原 三 十 三
委員就任年月日 令和4年10月1日（2期目）

2 令和7年度教育委員会の開催状況

開催日	議 案 等 件 名
令和7年4月17日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 3 図書館の臨時休館について 4 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について 5 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について 6 岡崎市文化財保護審議会委員の任命について
令和7年5月8日	1 令和6年度岡崎市一般会計継続費繰越計算書について 2 令和6年度岡崎市一般会計繰越明許費繰越計算書について 3 公益財団法人岡崎市学校給食協会の経営状況について 4 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和7年6月27日	1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 岡崎市美術博物館協議会委員の委嘱について 3 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 4 岡崎市社会教育委員の委嘱について 5 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 6 岡崎市小規模特認校の指定について 7 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて
令和7年7月24日	1 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 2 岡崎市立小中学校の通学区域を定める規程の一部改正について 3 岡崎市指定文化財の追加指定について 4 教科用図書の採択について
令和7年8月7日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 令和8年度キッズデイズの日程について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和7年9月25日	1 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について 2 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立根石小学校北棟大規模改修工事) 3 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立矢作中学校北棟大規模改修工事) 4 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 5 議会の議決を経るべき議案に関する意見について

I 総 説

第 2 教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
令和 7 年 10 月 23 日	1 岡崎市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について 2 岡崎市美術館管理規則の一部改正について 3 令和 8 年度教職員定期人事異動方針について
令和 7 年 11 月 13 日	1 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について 2 岡崎市指定文化財の指定について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和 7 年 12 月 18 日	1 32 人学級の現状と今後について 2 令和 8 年度小中学校入学式等儀式の実施日について 3 和解及び損害賠償の額を定める専決処分について 4 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立根石小学校北棟大規模改修給排水衛生設備工事) 5 工事請負の契約の変更の専決処分について (岡崎市立根石小学校北棟大規模改修電気設備工事) 6 県費負担教職員の人事の内申の臨時代理について
令和 8 年 1 月 22 日	1 岡崎市社会教育委員の委嘱等について 2 岡崎市市費負担教員の給与等の特例に関する条例施行規則の一部改正について 3 第 5 次岡崎市学校教育等推進計画の策定について
令和 8 年 2 月 12 日	1 教育に関する事務の点検・評価について 2 岡崎市少年自然の家管理規則の一部改正について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 4 校長等の定期人事異動の内申について
令和 8 年 3 月 26 日	1 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について 2 教育委員会の権限に属する事務の委任協議の臨時代理について 3 岡崎市市費負担教員の給与等の特例に関する条例施行規則の一部改正について 4 岡崎市指定文化財の追加指定について (岩津城跡) 5 教育委員会事務局及び教育機関職員の定期人事異動について

〈教育委員会会議〉



第3 教育行財政

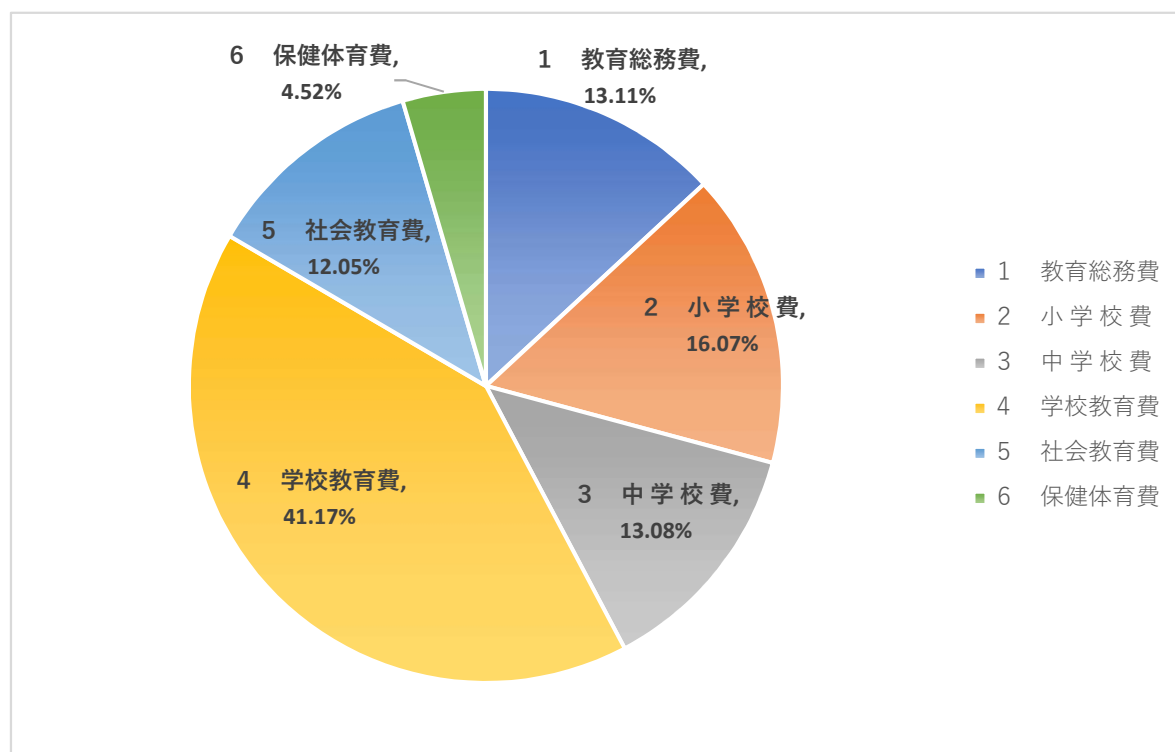
1 令和8年度教育費予算

(千円)

		8 年度	7 年度	増減	対前年比
1 教育総務費		2,603,407	2,703,137	△99,730	96.3%
	1 教育委員会費	4,455	4,073	382	109.4%
	2 事務局費	1,082,619	1,113,279	△30,660	97.2%
	3 私立学校振興費	1,516,333	1,585,785	△69,452	95.6%
2 小学校費		1,794,873	1,759,971	34,902	102.0%
	1 学校管理費	1,609,331	1,537,835	71,496	104.6%
	2 教育振興費	185,542	221,163	△35,621	83.9%
	3 学校建設費	0	973	△973	0.0%
3 中学校費		1,342,187	1,071,879	270,308	125.2%
	1 学校管理費	1,087,000	848,581	238,419	128.1%
	2 教育振興費	254,152	223,298	30,854	113.8%
	3 学校建設費	1,035	0	1,035	
4 学校教育費		6,726,221	5,547,446	1,178,775	121.2%
	1 教育指導費	2,220,525	1,563,714	656,811	142.0%
	2 学校保健費	231,047	220,952	10,095	104.6%
	3 学校体育費	131,867	131,317	550	100.4%
	4 学校給食センター費	4,037,104	3,535,934	501,170	114.2%
	5 教育研究費	105,678	95,529	10,149	110.6%
5 社会教育費		2,389,842	3,973,245	△1,583,403	60.1%
	1 社会教育総務費	13,983	13,412	571	104.3%
	2 青少年費	44,155	45,252	△1,097	97.6%
	3 文化振興費	54,910	33,846	21,064	162.2%
	4 文化財保護費	116,316	94,865	21,451	122.6%
	5 図書館費	564,698	554,597	10,101	101.8%
	6 美術館費	63,212	64,700	△1,488	97.7%
	7 美術博物館費	420,890	1,799,320	△1,378,430	23.4%
	8 視聴覚ライブラリー費	31,893	32,730	△837	97.4%
	9 市民センター費	231,434	188,146	43,288	123.0%
	10 少年自然の家費	57,510	54,439	3,071	105.6%
	11 地域文化広場費	242,218	538,832	△296,614	45.0%
	12 図書館交流プラザ費	548,623	553,106	△4,483	99.2%
6 保健体育費		799,160	792,014	7,146	100.9%
	1 社会体育費	688,623	688,902	△279	100.0%
	2 体育館費	70,578	64,032	6,546	110.2%
	3 地区体育館費	39,959	39,080	879	102.2%
合 計		15,655,690	15,847,692	△192,002	98.8%

2 令和6年度教育費歳出決算

項	決 算 額 (千円)	構 成 比
1 教育総務費	2,473,605	13.11%
2 小学校費	3,032,780	16.07%
3 中学校費	2,467,916	13.08%
4 学校教育費	7,770,078	41.17%
5 社会教育費	2,274,095	12.05%
6 保健体育費	853,971	4.52%
合 計	18,872,445	100.0%



3 第5次岡崎市学校教育等推進計画

《計画の位置付け》

教育基本法第17条により地方公共団体は、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めることとされています。本市では、平成15年度に第1次の計画として「21世紀教育ビジョン」を策定しました。続いて第2次の計画として「21世紀教育ビジョン推進計画」、第3次の計画として「岡崎市教育ビジョン」を策定しています。第4次の計画として策定した「岡崎市学校教育等推進計画」では、教育基本法第17条に基づく教育の振興のための施策に関する計画であり、また、岡崎市総合計画の教育分野のうち学校教育、社会教育に関して、今後の方針とその実現のために必要な施策を明らかにするものでありました。

第4次岡崎市学校教育等推進計画と国の「第4期教育振興基本計画」については、考え方や方向性について整合性がとれております。また学習指導要領の改訂間隔は約10年であり、現在の学習指導要領は令和2年度に小学校、令和3年度に中学校で全面实施されており、第5次岡崎市学校教育等推進計画の計画期間は、現在の学習指導要領の実施期間にあたります。これらのことから、第5次岡崎市学校教育等推進計画においては、方向性の転換や理念の変更といった大規模な改訂ではなく、施策、取組や指標の改正を主とした中規模な改訂としています。

《計画の期間》

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間

《基本理念》

「未来を拓き 豊かに生きる力をもった子どもの育成」
～自立・共生・創造を目指して～

《基本目標》

基本理念の実現に向け、学校教育分野で5つ、社会教育分野で1つの基本目標を定めている。

【学校教育分野】

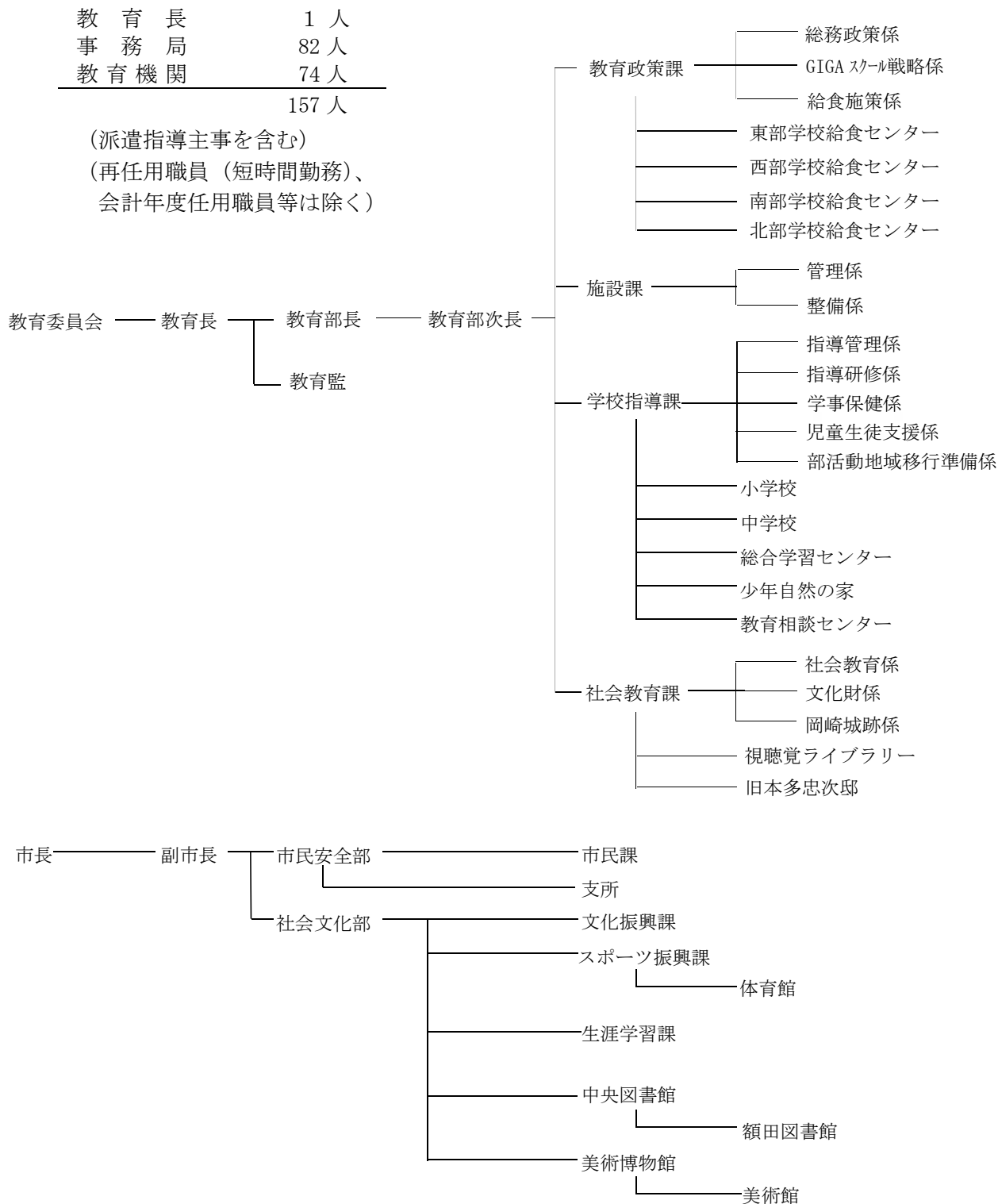
- ◆未来を生きる素質・能力を育成する魅力ある教育を推進する。
- ◆子どもの多様性や特性を認め、可能性を伸ばす教育を推進する。
- ◆岡崎の人・もの・ことを生かした特色ある教育を推進する。
- ◆教職員が生き生きと働くことができる働き方改革を推進する。
- ◆持続発展可能な教育を実現する学校教育環境を整備する。

【社会教育分野】

- ◆家庭、地域、学校との連携・協議を推進する。

4 行政組織図

(職員の数) 令和 8 年 4 月 1 日現在



※市長部局については、補助執行に係る部分についてのみ記載

5 職員配置状況

(令和8年4月1日現在)

区 分	行 政 職 員				教育 職員	技能業務 職員	合 計
	部長等	課長等	事務職員 技術職員	専門主事			
事 務 局	2						2
教育政策課		1	14	2		1	18
施 設 課		1	13			9	23
学校指導課		1	8	18			27
社会教育課		1	11				12
小・中学校					16	46	62
学校給食センター		1	1				2
総合学習センター		1		1		1	3
教育相談センター		1		1			2
少年自然の家			1			1	2
視聴覚ライブラリー			1	1			2
旧本多忠次邸						1	1
合計	2	7	49	23	16	59	156

※ 教育長を除く

6 事務局・教育機関の事務分掌

■事務局

課 名 等	事 務 分 掌
教育政策課	(1) 統合計画、予算及び行政改革に係る事務局内の調整に関する こと。 (2) 教育委員会の会議の庶務を処理すること。 (3) 教育委員会規則その他公表を要する規程を公布すること。 (4) 組織を計画すること。 (5) 文書を收受し、発送し、及び完結文書を整理保存すること。 (6) 公印を管守すること。 (7) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰をすること。 (8) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件を決定すること。 (9) 公務災害補償の事務を処理すること。 (10) 奨学資金に関する事務を処理すること。 (11) 教育行政に関する相談に関すること。 (12) 学校（市立の小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設の 設置、変更及び廃止の手続をすること。 (13) 学校災害に係る補償等の事務を処理すること。 (14) 西三河地方教育事務協議会と連絡すること。 (15) 岡崎市いじめ問題対策委員会の庶務を処理すること。 (16) 学校の情報システムに関する企画及び調達をすること。 (17) 教育ネットワークの管理及び運用をすること。 (18) 学校の情報セキュリティに関すること。 (19) 学校給食について指導し、及び助言を与えること。 (20) 学校給食センターの整備を計画すること。 (21) 岡崎市学校給食センター運営委員会の庶務を処理すること。 (22) 学校給食センターと連絡すること。 (23) 他の課の所管に属さない事務を処理すること。
施 設 課	(1) 学校その他教育機関の施設の用に供する土地の取得に関する こと。 (2) 学校の施設の保守管理及び修繕に関すること。 (3) 学校の用に供する教育財産（運動場の夜間照明設備を除く。）の 目的外使用を許可すること。 (4) 学校の施設及び設備の整備を計画し、及び工事を施行すること。 (5) 学校の施設及び設備に関する国庫補助金及び県費補助金に関 する事務を処理すること。 (6) 教育機関の施設の整備等に関する技術的調整をすること。

課 名 等	事 務 分 掌
学校指導課	(1) 学校教育について指導し、及び助言を与えること。 (2) 学校事務及びその共同実施について指導し、及び助言を与えること。 (3) 県費負担教職員の人事及び給与について内申すること。 (4) 県費負担教職員の服務を監督し、及び勤務成績の評定に係る事務を処理すること。 (5) 教科書その他教材の取扱いに関する事務を処理すること。 (6) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会の庶務を処理すること。 (7) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学の手続をすること。 (8) 通学区域を設定し、廃止し、及び変更すること。 (9) 就学援助に係る事務を処理すること。 (10) 学校保健について指導し、及び助言を与えること。 (11) 学校の環境衛生に関する事務を処理すること。 (12) 岡崎市立学校衛生委員会の庶務を処理すること。 (13) 就学児童の健康診断に係る事務を処理すること。 (14) 学校医等に関すること。 (15) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る事務を処理すること。 (16) 学校、岡崎市総合学習センター、岡崎市少年自然の家及び岡崎市教育相談センターと連絡すること。
社会教育課	(1) 社会教育に関する事業を計画し、及び実施すること。 (2) 社会教育に係る指導者を養成すること。 (3) 青少年に関する事務を処理すること。 (4) 文化財の保護及び活用に関すること。 (5) 文化財の調査及び研究に関すること。 (6) 文化財に関する講習会、講演会その他の催しを主催すること。 (7) 岡崎市視聴覚ライブラリー及び岡崎市旧本多忠次邸と連絡すること。 (8) 岡崎市社会教育審議会、岡崎市文化財保護審議会、岡崎市文化財保存活用地域計画協議会及び岡崎城跡整備委員会の庶務を処理すること。

■主な教育機関

課 名 等	事 務 分 掌
学校給食センター	小学校及び中学校の児童及び生徒に対し学校給食を実施する事業を行う。
総合学習センター	(1) 教育に関する専門的及び技術的な事項の調査研究を行うこと。 (2) 教育関係職員の研修を実施すること。 (3) 教育に関する情報及び資料の収集及び提供に関すること。 (4) 地域住民等の生涯学習活動のために施設を利用に供すること。
少年自然の家	(1) 少年の自然探究その他自然に親しむ諸活動の指導及び助言をすること。 (2) 少年の集団宿泊訓練及び助言すること。 (3) 少年団体の指導者の養成及びその資質の向上のため、講習会、研修会等を開催すること。 (4) 前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の設置の目的を達成すること。
教育相談センター	(1) 教育相談を行うこと。 (2) 教育相談に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供を行うこと。 (3) 長期欠席の児童及び生徒に対する教育支援センターを実施すること。
視聴覚ライブラリー	(1) 視聴覚教育に関する器材及び資料を収集し、及び利用に供すること。 (2) 視聴覚教育に関する講習会、研究会等を開催すること。 (3) 視聴覚教育の向上及び普及に関し指導すること。 (4) 前 3 号に掲げるもののほか、視聴覚ライブラリーの設置の目的を達成すること。
旧本多忠次邸	(1) 旧本多忠次邸に関する資料を展示すること。 (2) 文化財を通じた歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。 (3) 文化財を通じた歴史及び文化に関する資料の展示のために施設を利用に供すること。 (4) 前 3 号に掲げるもののほか、旧本多忠次邸の事業として教育委員会が適当と認める事業を実施すること。

7 事務の補助執行・委任

■市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
教育委員会の事務を補助する職員及び教育委員会の管理に属する機関の職員	(1) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の見積りを行うこと。 (2) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の執行計画、流用、充用、繰越しその他予算の執行管理を行うこと。 (3) 教育委員会の所掌に係る事項に関する歳入の徴収、減免及び還付を行うこと。 (4) 教育委員会の所掌に係る事項に関する支出負担行為の手續を行うこと。 (5) 教育委員会の所掌に係る事項に関して岡崎市決裁規程(昭和 56 年岡崎市訓第 9 号)に定めるところにより調定並びに支出負担行為及びこれに伴う支出命令を行うこと。 (6) 岡崎市奨学資金条例(平成 13 年岡崎市条例第 43 号)を実施すること。 (7) 教育委員会の所掌に係る事項に関する教育財産の取得(移築、改築、移設、改設、修繕及び模様替えを含む。)の手續を行うこと。

■教育委員会が市長部局の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
市民安全部の市民課及び支所の職員	学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、就学すべき小学校又は中学校を指定すること。
社会文化部(スポーツ振興課及び多様性社会推進課を除く。)の職員	文化に関すること(文化財の保護に関することを除く。)
社会文化部のスポーツ振興課の職員	(1) スポーツに関すること(学校における体育に関することを除く。) (2) 学校体育施設のスポーツ開放事業に関すること。
体育館の職員	体育館の管理及び運営に関すること。

I 総 説

第 3 教育行財政

補助執行させる職員	補助執行させる事務
岡崎市立中央図書館及び岡崎市立額田図書館の職員	(1) 図書資料を収集し、保存し、閲覧させ、及び貸し出すこと。 (2) 資料展示等を企画し、及び運営すること。 (3) 地域図書室と連絡し、及び運営を支援すること。 (4) 図書館運営に関し必要な事項を処理すること。
岡崎市美術博物館及び岡崎市美術館の職員	(1) 施設を管理し、及び運営すること。 (2) 美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び利用に供すること。 (3) 美術に関する作品その他の資料の調査研究を行うこと。 (4) 美術に関する展示会、講演会、講習会、研究会等を企画すること。

■教育委員会が市長部局の職員に委任させる事務

委任させる職員	補助執行させる事務
総務部情報システム課の職員で、情報セキュリティに関する事務に従事するもの	地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 6 第 1 項の規定により情報システムの利用に当たってのサイバーセキュリティを確保するための方針を定めること。

Ⅱ 学校教育

1 学校教育の視点

学校教育に求められているものは、児童・生徒が一人の人間として、生涯にわたり、心豊かに力強く生きていくための基礎となる資質・能力を育成すること、即ち、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図ることである。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視しつつ、個別最適な学び及び協働的な学びを実現することで、児童・生徒の個性豊かな資質・能力を伸ばすことが大切である。また、計画的かつ組織的に教育課程を編成して魅力ある教育を展開するとともに、全ての児童・生徒の学ぶ権利を保障しなければならない。

「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の教育理念のもと、児童・生徒と深い愛情で結ばれた関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

指導の重点

- 学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための
「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための
「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための
「健やかな体」を育む教育の推進

2 令和8年度研究発表会・授業公開

月日	曜	学校名	領域等	研 究 主 題	委嘱等
10/7	水	竜海中	全教科・領域 ・特別支援	未来を見つめ、 自己の創造に向かう生徒の育成 ～教科の学習内容の有用性を実感できる 授業の実現を通して～	自主
10/14	水	矢作南小	全教科	学びをデザインする子供の育成 ～学びの土台づくりと ファシリテーションの工夫～	岡崎市
10/21	水	南中	教育全般	よりよく生きるための、 生徒エージェンシーの育成 ～みなみサイクルを取り入れた 道徳・特活・総合を通して～	岡崎市
11/11	水	竜谷小	全教科・領域	「学ぶ力」を磨き合い、 未来社会の創り手となる子供の育成 ～情報活用能力を学習の基盤とする 取り組みを通して～	岡崎市

3 時代の要請に応える教育

近年、グローバル化、人工知能（ＡＩ）の活用などによる技術革新等、10年前では考えられなかったような大きな変化が起きている。このように社会の変化が目まぐるしく、予測困難な時代の中で、子供たちには、変化をおそれるのではなく、変化を前向きに受け止め、しなやかに自分の人生を舵取りできる力が求められる。

学習指導要領では、学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなる資質・能力をバランスよく育てていくことを目指している。

岡崎市教育委員会は、時代の要請を熟慮し、次代を生きる子供たちに必要な資質・能力として、自ら考え判断する力、仲間と協力し実行する力、多様性を理解し、互いを尊重し合って共に生きる力、新たな価値を創造する力が重要だと考え、これらの資質・能力を育成するキーワードとして「自立」「共生」「創造」を掲げた。

教育に真摯に向き合い、基礎的・基本的な内容を重視しつつ、教科・領域の本質に迫る学習活動の展開を通して、子供たちに学ぶことの意味を実感させるとともに、多様な特性をもつ子供たち一人ひとりに個別最適な学びを保障し、資質・能力をよりの確に育成できる教育を実現していく。さらに、地域社会・家庭と連携・協働しながら、ふるさとを愛する心を醸成することや、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を凝らした特色ある教育課程を編成すること等を通して、子供たちに確かな知性と豊かな感性を育てていく。

■重点努力事項■

今、私たちが取り組むべき事柄として、以下の三つを挙げる。

(1) 学び方改革

子供の多様性に応じた、一人一人を大切にしたい、個別最適化された教育を研究、推進する。また、一斉授業から脱却し、チーム学習を中心とした、共生の心を育てる教育活動を推進する。

(2) 子供支援改革

多様性を認める校内フリースクールを充実させ、長期欠席者等、すべての子供の学校生活を保障する。発達支持的生徒指導の考え方やF組の理念を教師に浸透させ、魅力ある学校づくりを推進する。いじめの未然防止や的確な対応の徹底、外国人児童生徒への支援の充実など、きめ細かな教育を推進し、温かい学校づくりを実現する。

(3) 部活動改革

部活動の教育的意義を継承し、将来にわたってスポーツや文化芸術活動に主体的に関わることができるよう、持続発展可能な形の部活動の地域移行を円滑に推進する。小学校の部活動についても、学校運営協議会において、今後の在り方、大会の持ち方等について検討する。

4 特色ある教育活動・取組

(1) 感性を育む心の教育

本事業は、芸術・文化活動の優れた作品などの鑑賞や体験活動を通して、資質と感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図ることを目的としている。

毎年、小学生を対象に観劇会を実施している。

年度	演 目	公 演 団 体
元	はだかの王様	劇団四季
2	ジョン万次郎の夢（中止）	劇団四季
3・4	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止	
5	人間になりたがった猫	劇団四季
6	エルコスの祈り	劇団四季
7	ふたりのロッテ	劇団四季
8	カモメに飛ぶことを教えた猫	劇団四季

(2) 教員補助者活用事業

本事業は、社会全体で学校を支え学校教育の一層の活性化を図ることを目的に、性別や教員免許の有無を問わず、生活経験が豊かで学校教育に理解ある社会人を教員補助者又は養護教諭支援員、特別支援学級支援員として採用し活用するものである。学校の指導計画の下、学級担任の行う指導補助、学校図書館の運営補助、障がいのある児童・生徒への指導補助、養護教諭の執務補助などを行う。

また、令和2年度からは、教員の事務作業などを支援する「教員業務支援員（旧スクール・サポート・スタッフ）」制度を新たに導入し、活用している。

(3) 新しい時代の教育に対応した学校教育環境の整備事業

AI や IoT 技術等の急速な進展に伴い、Society5.0 を生きる子供たちにふさわしい新たな学びが求められている。令和元年度に、文部科学省が「令和時代のスタンダードな学校像」として公表した「GIGA スクール構想」を受けて、本市では他市に先駆けて児童生徒と教員に一人一台端末の整備を完了し、授業等での活用を進めている。また、こうしてデジタル化された学習情報を一層効果的に活用できるよう、令和4年度から教室への電子黒板の導入を段階的に進めている。こうした ICT の日常的な活用を軸とする学び方改革を推進し、多様性をもつ全ての子供たちが、自らの特性を生かし、個別最適化された学習に取り組めるようにし、予測困難な未来社会をたくましく生き抜く資質・能力を育成する。

(4) 未来型教育推進事業

令和3年度に学術情報ネットワーク「SINET」を活用し、自然科学研究機構との連携によりオンライン・サイエンスセミナーを実施した。この実績を踏まえ、新規に「未来型教育推進事業」を立ち上げた。SINET によるオンラインや ICT を活用して、SDGs や STEAM、プログラミング等の未来につながる教育活動を通じ、特色ある学校づくりを推進する事業である。令和4年度よりオンライン・サイエンスセミナーの後継事業として全ての教科・領域を対象とした MIRAI オンラインセミナーとして一括募集型オンライン授業を実施している。また、各校が推進する未来型教育の実践を OK シェアを活用して集約・共有することで、新たな実践につながることを期待している。

5 ICT教育

本市では、これからの社会で求められる情報活用能力を子供たちに育成することを目的として、高速インターネット網の整備と児童生徒用コンピュータの導入を推進してきた。令和2年度には、1人1台のタブレット端末の整備を完了させ、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備を順次進めている。また、教員のICT活用指導力の向上を目指し、校務のデジタル化等の教育DXに積極的に取り組んでいる。

(1) ICT環境整備

現行の学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力と並んで「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている。小学校においては、プログラミングの体験的な学習機会を確保すること、中学校においては、計測・制御に加えて動的コンテンツなどに関するプログラムを学ぶことなど、積極的にICT教育が取り入れられている。こうしたICT教育の一層の充実により、これからの予測困難な未来社会を生きる子供たちに、情報を整理・分析し、他者との協働で思考を深めることにより、物事を多角的・多面的に捉え、主体的に新たな価値を生み出す力を育むとともに、情報モラルを身に付け、情報社会に参画し創造していこうとする態度を育んでいくことが期待されている。

令和2年度に始動した「GIGA スクール構想」において、本市は他市町村に先駆けて全ての児童生徒および教員に対して情報端末(iPad)の一人一台配付を実施し、授業等での運用を開始した。iPadの導入は「思考の可視化」「瞬時の共有化」「試行の繰り返し」といったデジタル特有の利点を学習活動にもたらし、各学校における授業改革を推進する大きな一助となっている。

また、こうしたICT教育環境のさらなる有効活用を目指し、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備を順次進めている。令和7年度においては、小学校1年生の普通教室に対して電子黒板を導入したほか、希望校への訪問研修を実施するなど、ハード面の整備と並行して活用支援体制の充実を図っている。これら一連の取り組みにより、令和7年度をもって小中学校の普通教室における電子黒板の配備は完了している。電子黒板の活用により、教材の視覚的な提示が容易になっただけでなく、インターネットを通じた交流や、一人一台端末で作成したデジタル情報の即時的な共有が可能となった。このように、学びのインターフェースとしての電子黒板と一人一台端末を一体的に活用することで、学習効果の更なる向上を実現している。

【整備内容等】

- ① 「岡崎 GIGA スクール 2.0」構想に基づいた「My タブレット」(iPad)の更新
- ② 授業における学びのインターフェースとして、教室への電子黒板の整備
- ③ 「岡崎 GIGA スクール 2.0」構想による校内高速ネットワークの活用
- ④ SINET(学術情報ネットワーク)への接続による基幹インフラの高速大容量化
- ⑤ 高速ネットワークを活用したオンライン授業の推進
- ⑥ 「Okazaki スマートワーク」による「OKアクセス」や高速プリンタの導入

⑦ Microsoft アカウントの利用によるオンライン会議やeラーニングの実施

⑧ 実践共有サイト「OKシェア」の導入による、主体的な教員研修の支援

(2) 教育DXの推進

令和4年度、オンラインを活用した教育活動推進のため「未来型教育推進事業」を立ち上げ、各学校における一人一台端末やICT機器等の活用を支援した。それぞれの学校では、特色ある教育活動の一つとしてWebカメラや、Bluetoothスピーカー、プログラミング学習で活用できるミニドローンを購入するなど、教育DXに向けてICT環境を充実させた。

また、学術情報ネットワーク（SINET）への接続による利点を生かした「MIRAI オンラインセミナー」も2～3回実施し、のべ4万5千人を超える市内小中学生が参加した。セミナーでは、世界的に有名な研究者や大学教授など、一流の講師が市内小中学生に向けて授業を行った。子供たちは、一人一台端末を使って講師が出題するクイズに答え、リアルタイムに感想を言い合えるなど、高速・大容量の通信環境を生かした学習を展開することができた。

さらに、現在は生成AIの活用に関する研究と体制整備を進めている。校務における効率化への活用検討に加え、教職員に対しては生成AIの理解を深めるための必修研修の実施を各学校に依頼している。これは、将来的に子供たちが生成AIを利用する場面が増えることを見据え、適切な指導ができる体制を整えることを目的としている。子供たちの健やかな成長に資するという観点から、今後も生成AIの適切な活用方法について探究を継続していく。

このように、一人一台端末等GIGAスクール構想で整備された機器や、日々生み出される新しい技術を、授業や校務等で活用する姿が日常的なものとなっており、ICTを活用した教育が各小中学校で展開されている。

(3) 教員のICT活用指導力、情報スキルの向上

児童生徒の情報活用能力を高めるために必要な教員のICT活用指導力及び教育DXに対応した情報スキルの向上を目指して、各種研修を行っている。大別すると、ICTの活用法や情報セキュリティ、情報モラル教育について学ぶ授業力アップセミナー、ブラッシュアップ研修、初任者研修、GIGAスクール環境の利用講習会、ネットワークやセンターサーバの更新に伴う操作講習会などがある。さらに、これらに加えて各学校における校内研修や教員グループによる自主研修も盛んに行われている。

令和7年度は、小学校の1年生に対し、電子黒板が導入されたため、希望校に対し訪問研修を行った。さらに、生成AIについては、その仕組みや利用する上での注意点について研修資料を作成し、各学校に配付した。こうした研修に合わせて、GIGAスクールアドバイザーによる、GIGAスクール環境の利活用やオンライン授業の実施方法、情報モラル指導、岡崎市プログラミング学習等の校内研修、管理職への相談活動等も引き続き実施し、学校の支援にあたっている。

■令和7年度実施研修

- ・授業力・教師力アップセミナー＜基礎編＞（学習情報部と連携）

Ⅱ 学校教育

- 【期日】 7月24日（木）
- 【内容】 教科書のQRコードを活用して学ぶ授業づくり
- 【講師】 学習情報指導員
- 【人数】 28名
- 【会場】 総合学習センター 小ホール
- ・ 授業力・教師力アップセミナー＜専門編＞
- 【期日】 7月29日（火）
- 【内容】 ICTを活用した学びを委ねる模擬授業の体験
- 【講師】 学習情報指導員 太田尚志、鈴木広樹
- 【人数】 約32名
- 【会場】 総合学習センター 多目的ホール1
- ・ 授業力・教師力アップセミナー＜推進編＞
- 【期日】 7月30日（水）
- 【内容】 教育における生成AIの利用および課題、生成AIの校務利用（実習）
- 【講師】 形埜小学校長 内田雅之
- 【人数】 29名
- 【会場】 形埜小学校
- ・ ブラッシュアップ研修
- 【期日】 7月25日（金）
- 【内容】 授業支援ツールとデジタルドリル・指導者用デジタル教科書の活用
- 【講師】 GIGAスクール戦略係長 杉坂和俊 指導主事 河合 泰宏
- 【人数】 20名
- 【会場】 総合学習センター 小ホール
- ・ 初任者研修
- 【期日】 8月5日（火）
- 【内容】 ICTを活用した授業改革、情報モラル・セキュリティ、教材づくり
- 【人数】 約112名
- 【会場】 岡崎市総合学習センター 小ホール、研修室1、研修室2
- ・ 現職研修委員会学習情報部主任研修
- 【期日】 4月10日（木）、4月18日（金）、10月7日（火）、2月13日（金）
- 【内容】 タブレット端末・授業支援クラウドの活用、ICT環境の整備
- 【人数】 のべ約270名
- 【会場】 総合学習センター、各小中学校（Teamsによるオンライン開催）
- ・ 組織マネジメント研修（新任教務研修）
- 【期日】 7月31日（木）
- 【内容】 GIGAスクール環境の教育のDX化
- 【講師】 指導主事 河合 泰宏
- 【人数】 29名
- 【会場】 総合学習センター 研修室2

■ ICT 機器及び校内 LAN 整備の現状

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
9	PC 教室に 11 台配備完了			
10		PC 教室に 42 台配備完了		インターネット導入
11	井田小、藤川小の PC 教室に 22 台配備		インターネット導入	
13	PC 教室に 42 台配備(10 校)		校内 LAN 整備工事(10 校)	
14	PC 教室に 42 台配備		校内 LAN 運用開始(10 校)	
15		PC 教室の PC 更新(18 校)		
16	PC 教室に 42 台配備(2校)		校内 LAN 整備工事(3校) " 運用開始(3校)	
17			校内 LAN 整備工事(1校) " 運用開始(2校)	校内 LAN 整備工事(2校) " 運用開始(3校)
18	PC 教室の PC 更新(10 校)			校内 LAN 整備工事(3校) " 運用開始(3校) 教職員用 PC 運用開始(8校)
19	PC 教室の PC 更新		教職員の PC 配備	校内 LAN 整備工事(4校) " 運用開始(4校) 教職員用 PC 運用開始
20		PC 教室の PC 更新(18 校)	校内 LAN 整備工事(2校) " 運用開始(2校) 教職員用 PC 運用開始(13 校)	
21	PC 教室の PC 更新(実施せず)	普通教室の PC 整備	校内 LAN 整備工事(8校) " 運用開始(8校) 教職員用 PC(20 校)	校内 LAN 整備工事(1校) " 運用開始(1校)
22	PC 教室の PC 更新(8校)		校内 LAN 整備工事(11 校) 地デジ対応工事(2校) 教職員用 PC 更新(2校)	校内 LAN 整備工事(4校) 改築による整備(1校) 教職員用 PC 更新(3校)
23			地デジ対応工事(1 校)	教職員用 PC 更新(11 校)
24	PC 教室の PC 更新(20 校)		地デジ対応工事(1校) 教職員用 PC 更新(10 校)	地デジ対応工事(6校) 教職員用 PC 更新(6校)
25	PC 教室の PC 更新(20 校)	翔南中 PC 教室設置 タブレット PC 導入(3 校)	教職員用 PC 更新(15 校)	
26		PC 教室の PC 更新(18 校) タブレット PC 導入(20 校)	教職員用 PC 更新(20 校)	
27	普通教室の PC 整備(47 校)	普通教室の PC 整備(20 校)	教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働	教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働

Ⅱ 学校教育

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
28	PC 教室の PC 更新(7校)	PC 教室の PC 更新(1校)	校務支援システム導入	教職員用 PC 更新(11 校) 校務支援システム導入
29		タブレット PC 補充(3 校)	校内 LAN 整備(5 校) 教職員用 PC 更新(10 校)	校内 LAN 整備(9 校) 教職員用 PC 更新(6 校)
30	PC 教室の PC 更新(40 校)	タブレット端末追加 整備(3 校)	校内 LAN 整備(14 校) 教職員用 PC 更新(15 校)	
R1		タブレット端末(iPad) 整備(20 校) 普通教室無線 LAN 環境 の常設化(20 校)	校内 LAN 整備(7 校) 教職員用 PC 更新(20 校) 校長用タブレット端末(iPad) 配備	校長用タブレット端末(iPad) 配備
R2	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末 (iPad)整備 (47 校) Microsoft アカウント配付	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末 (iPad)整備 (20 校) Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad) 整備(47 校) 校内 LAN 整備(21 校) Wi-Fi 常設化(47 校) 教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新・ ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad) 整備(20 校) 校内 LAN 整備(11 校) Wi-Fi 常設化(20 校) 教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新・ ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付
R3	オンライン配信用タブレッ ト端末配備(再利用)	オンライン配信用タブレッ ト端末配備(再利用)	SINET 接続(国実証事業)	SINET 接続(国実証事業) 教職員用 PC 更新(11 校)
R4		電子黒板整備 (20 校)	教職員用 PC 更新(10 校)	教職員用 PC 更新(6 校) 地域 BWA ルータ整備 (20 校)
R5	電子黒板整備(47 校) ※6 年～4 年教室 特別支援教室(一部)		地域 BWA ルータ整備(23 校) 教職員用 PC 更新(15 校)	
R6	電子黒板整備(47 校) ※2、3 年教室		校内 LAN 整備(5 校) 地域 BWA ルータ整備(24 校) 教職員用 PC 更新(20 校)	校内 LAN 整備(9 校)
R7	「岡崎 GIGA スクール 2.0」 構想 電子黒板整備(47 校) ※1 年教室 1人1台タブレット端末 (iPad)更新 (47 校) ※6 年生 ※竜谷小のみ全学年 Apple アカウント配付	「岡崎 GIGA スクール 2.0」 構想 1人1台タブレット端末 (iPad)更新(20 校) ※1 年生 Apple アカウント配付 電子黒板有線化(20 校)	教職員用 PC 更新(2 校)	教職員用 PC 更新(3 校)

6 国際理解教育

(1) 中学生三大陸国際理解教育推進事業

未来を担う児童生徒に夢と希望をもたせ、広い視野にたって郷土の発展を考え、国際親善・交流を深めている。昭和 55 年から、姉妹都市（アメリカ・ニューポートビーチ市、中学生 6 名派遣）と友好都市（中国・呼和浩特市、中学生 7 名派遣）との間で学校訪問、ホームステイ等を入れながら、相互訪問の形式をとり、実施してきた。

さらに、平成 16 年度から、この 2 つの事業に加えて、もう一つの姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市への訪問（中学生 6 名派遣）を始めた。

また、平成 18 年度から 3 年間に限って、旧額田町の交流事業として行ってきたマレーシア・クアラルンプール市への訪問（額田中学生 10 名派遣）を継続した。

平成 28 年度から、英語圏を中心とした「中学生三大陸国際理解教育推進業務」に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の向上と異文化理解を図ることにした。ニューポートビーチ市とウッデバラ市に加え、平成 29 年度からオーストラリアのウィトルシー市への訪問を始め、平成 30 年度は、ウィトルシー市からの派遣団を受け入れた。令和元年度は、オーストラリアのウィトルシー市をメルボルン市に変更して、派遣団を送った。令和 2 年度以降は実施していない。

(2) 外国語指導助手派遣事業

外国語指導助手（A L T）を市内の小中学校へ派遣し、英語教育、国際理解教育の推進に役立てている。平成 2 年度夏から市独自で A L T を採用した。平成 25 年度から 20 名に、平成 30 年度から 23 名に、令和元年度から 32 名に増員し、英語教育の一層の充実を図る。

(3) 小学校英語支援員派遣事業

小学校において効果的な英語活動の授業が実施できるように、英語が堪能で小学校英語に理解のある地域の人材を小学校英語支援員として派遣している。平成 22 年度から 18 名に、平成 30 年度には 25 名に増員し、英語活動の授業で A L T や学級担任と協同授業をしたり、教材作りの補助をしたりする。

Ⅱ 学校教育

(4) 帰国・外国人児童生徒教育支援業務

ア 日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」

令和元年度より、帰国・来日して間もなく、日本語をほとんど話せない中学生に対して、学校生活を送る上で最低限必要となる日本語と学校生活等のルールを教える日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」を、南中学校内に開設した。令和2年度より、入級対象を小学4年生以上とした。令和8年度は、室長1名、副室長1名、指導員2名、日本語教育講師4名（ポルトガル語2名、フィリピン語1名、中国語1名）が配置されている。

イ 日本語教育講師巡回訪問

市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な外国籍の児童生徒を中心に、日本語教育講師を派遣し、担当教員と共に、日本語教育及び生活適応相談を行っている。現在、日本語教育講師7名（ポルトガル語4名、中国語1名、フィリピン語2名）が、市内拠点校を巡回訪問している。その他、保護者との個人懇談会などに通訳が必要な場合にも随時対応している。

■ 国籍別児童生徒数

（令和8年5月1日現在）

国 籍	児 童 生 徒 数 (人)	
	小 学 校	中 学 校
ブ ラ ジ ル	291	146
フ ィ リ ピ ン	137	52
中 国	76	49
そ の 他	230	77

7 特別支援教育

特別支援教育は、元々通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への支援部会と特別支援学級に在籍する子供への支援部会があり、平成17年8月にそれらを統合し、外部機関との連携を図る特別支援教育連携協議会を設置した。連携協議会は、就学前から卒業後まで、何らかの支援を必要とする子供への具体的な支援を検討し、医療、福祉、労働、教育、行政等の関係機関から代表者を募り、横の連携を図っている。

また、校内教育支援委員会を立ち上げ、その運営の責任者として特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置している。関係機関との連携を図るとともに、発達障がい等のある子供への具体的な支援策を検討、実践、評価している。

特別支援学級の教育を担当する部会は、日常の教育内容を研究する部門と交流及び共同学習を推進する部門、就学や進路指導に関わる部門等に分かれている。

(1) 教育支援

ア 教育支援委員会・教育相談会

教育支援委員会は、医師、教師、発達障がいの専門家等で構成されている。障がいのある児童生徒や就学対象児の行動観察や面接、医師の診断、教育相談会等を通して、様々な視点から子供にとって必要な支援の内容及び適切な就学先について、総合的に調査・審議を行っている。

イ 「そよかぜ相談室」

新就学対象児の就学及び、通常の学級に在籍している子供の保護者を対象に、不安や悩みを気軽に相談できる窓口「そよかぜ相談室」を開設している。悩みや不安の解消に効果を上げている。

(2) 中学校特別支援学級進路指導

ア 中学校特別支援学級進路指導部会

進路希望状況や進路希望先など様々な情報交換を行い、生徒の適切な進路先を決定する。

イ 施設見学会

生徒・保護者・担当教師が福祉事業所等への見学会に参加し、就労の状況を直接見ることで進路選択の正しい情報を得る。

(2) 子どもと親の集いブロック交流会

昭和58年度から開催されてきた「子どもと親の集い運動会」に代わり、平成15年度から市内小中学校を10数ブロックに分け、ブロック単位の「子どもと親の集いブロック交流会」を実施している。令和7年度は18ブロックで、ゲーム大会、レクリエーション、運動会等、様々な内容の交流を行った。

■特別支援学級児童・生徒数

(令和8年5月1日現在)

	知的障がい	自閉症・情緒障がい	病弱・身体虚弱 (含院内)	弱視	難聴	言語障がい	肢体不自由	計
小学校	423	564	15	3	6	14	14	1039
中学校	146	173	5	0	1	4	7	304

8 教職員の研修

(1) 令和8年度初任者研修（校外研修）年間計画

※ 第1回，第17回（開・閉講式）は新規採用栄養教諭・新規採用事務職員も参加

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
1	4月22日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養 学級経営	〔開講式〕 ・講話 ・教育公務員の服務について （不祥事防止） ・危機管理 （熱中症、感染症、アレルギー対策） ・学級づくりの基本（保護者対応）
2	5月13日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養 教科指導 道徳 保健指導	・接遇演習（教職員としての1日） ・授業づくりの基本 （学習指導の基本・授業分析） （チーム学習の基本） ・道徳の授業の進め方 ・保健教育の実践、教員のメンタルヘル ス等
3	5月27日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 多目的ホール 教育図書室（見学） ハートピア上地 （見学）	基礎的素養 生徒指導	・子供理解の基本Ⅰ （アンガーマネジメント等） ・交通法規の遵守 ・生徒指導の実践Ⅰ（いじめ対応・防止） ・子供理解の基本Ⅱ（WEBQUの活用）
4	6月17日 6月24日	水 水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実践Ⅰ
5	7月22日 7月24日	水 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 小ホール他 ハートピア上地	生徒指導	・生徒指導の実践Ⅱ（長期欠席等） 岡崎の教育支援に関わる組織的な取組 について 支援を要する子供への対応策について
6	7月22日 7月28日 7月31日	水 火 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 市内小中学校 他	教科指導	・授業力アップセミナー【基礎編】 ・授業の進め方、教材研究等
7	8月4日	火	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	総合学習センター 小ホール 研修室1～4	教科指導 基礎的素養	・教育研究の方法（論文執筆） ・ICTを活用した授業改善、情報モラル 教育、情報セキュリティ、デジタル教 材づくり ・総合的な学習の進め方 ・キャリア教育の進め方
8 9	8月6日 8月7日	木 金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	岡崎市 少年自然の家	特別活動	【野外活動】 野外炊飯、ファイヤー実習、カヌー指導 法、落ち葉スキー、フィールドアスレチ ック、クラフト、テント設営等

Ⅱ 学校教育

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
10	8 月 28 日	金	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	市内小中学校 市内各教育施設 他	教科指導	・実践研究発表と研究協議
11	9 月 9 日 9 月 16 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実際Ⅱ
12	10 月 14 日	水	小学校初任者 中学校初任者	矢作南小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
13	10 月 21 日	水	小学校初任者 中学校初任者	南中学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
14	11 月 11 日	水	小学校初任者 中学校初任者	竜谷小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方(模範授業参観)
15	1 月 20 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭(中)	市内小学校 3 校 市内中学校 1 校	教科指導 (代表授業参観)	・小学校 初任者研究授業, 授業分析 ・中学校 初任者研究授業, 授業分析
16	2 月 10 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実際Ⅲ
17	2 月 17 日	水	小学校初任者 中学校初任者 新規採用養護教諭 新規採用栄養教諭 新規採用事務職員	総合学習センター 多目的ホール 研修室 1 ～ 4	基礎的素養	・1 年間を振り返って(グループ協議) 〔閉講式〕 ・挨拶 ・初任者代表挨拶

Ⅱ 学校教育

(2) 令和8年度中堅教諭等資質向上研修【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】(校外研修)年間計画

月日	曜	対象	時間	会場	領域	内容
5月12日	火	小中学校教諭 養護教諭① 5年経験者	15:00	総合学習 センター	共通研修	・開講式 ・講義「中堅教員の役割」
5月20日	水	小中学校教諭 養護教諭① 10・15年経験者				・開講式 ・講義「ミドルリーダーの役割」
6月から1月 (1日間)		小中学校教諭 養護教諭② 5年経験者	終日	異校種 各学校	異校種 体験研修	・異校種の授業に参加 ・研究協議会等に参加 ・生徒指導や教科指導に関する研修
7月22日 7月23日 7月24日 7月28日 7月29日 7月31日 (いずれか1日)	水 木 金 火 水 金	小中学校教諭 養護教諭③ 5・10・15年 経験者	9:00 13:30	各会場	選択研修	・授業力・教師力アップセミナーでの受講(1講座) ※ 5年経験者は【基礎編】 10年経験者は【専門編】 15年経験者は【発展編】
8月28日	金	小中学校教諭 養護教諭④ 5・10・15年 経験者	13:45	教育研究 大会会場	教科指導 研修	・実践研究発表と協議
1月27日	水	小中学校教諭 養護教諭⑤ 5年経験者	15:00	総合学習 センター	生徒指導 研修	・生徒指導総括講話 ・閉講式
2月10日	水	小中学校教諭 養護教諭⑤ 10・15年経験者				・これからの教師に求められるもの ・閉講式

(3) 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【応用編】【発展編】

及びブラッシュアップ研修

7月下旬から8月上旬に実施する。令和5年度から、【基礎編】、【応用編】、【発展編】を階層的に位置付け、段階的に授業力・教師力を高められるようにしている。また、ブラッシュアップ研修は、21年目から教員経験年数により決められた研修を受講するようにし、教員の力量向上を図る。なお、対象者を以下の通りとする。

- 【基礎編】 1～10年目、(必修) 初任者研修対象者
(必修) 教員3年目研修対象者、
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(5年経験者)
- 【応用編】 7～20年目
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ対象者(10年経験者)
(必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅲ対象者(15年経験者)
- 【発展編】 12年目～
- ブラッシュアップ研修 21年目～
- 研修A 20年経験者、30年経験者
研修B 22年経験者、32年経験者
研修C 24年経験者、34年経験者
研修D 26年経験者、36年経験者
研修E 28年経験者、38年経験者

■ 基礎編

(令和8年実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール1・2	○これですっきり！算数・数学科の授業づくり ◇講義：子供が主体的に動き出す授業づくりについて ◇実習：共通の題材をもとに、参加者が実際に授業づくりを実践 ○ちょっとした工夫で授業が変わる！ ◇講義：『アイデア集』『スクールタクト』を利用した授業実践の紹介
2	学習情報	総合学習センター 多目的ホール3	○初心者必見！ICT活用術 ◇実習：思考の可視化に役立つ「スクールタクト」の活用 ◇実習：授業に生かす「コラボノートEX」の使い方 ◇実習：電子黒板の活用方法
3	保健	総合学習センター 小ホール	○専門家から学ぶ救急処置～一人でも多くの命を守るためにあなたにできること～ ◇講義：救急処置の初期対応と心肺蘇生の重要性 【講師：竜美丘小児科 医師 鈴木 研史 様】 ◇実習：そのときあなたはどのように？救急処置の基礎的な技術習得 ◇協議：今日の学びを自校に発信
4	英語	総合学習センター 研修室2	○個の力を育む授業づくり ◇模擬授業：教科書を活用した知識・技能の定着を目指す授業展開の実演 ◇協議：模擬授業についての協議 ◇講義：①模擬授業の実践について、各活動のねらいの解説 ②GCTの効果的な実践方法
5	理科	(小学校講座) 矢作南小学校 理科室 (中学校講座) 愛宕小学校 理科室	○ここがポイント！理科授業の基礎基本 ～子供が主体的に学ぶ授業展開と実験・観察の工夫～ ◇講義：「こうすればいいの？」子供の「なぜ？」を学びの出発点にする 理科授業の進め方 ◇実習：「これはやってみたい」2学期からの授業に生かせる実験・観察の工夫
6	体育・ 保健体育	翔南中学校 体育館	○子供が「やった！できた！」と技能の高まりを実感できる授業づくりの工夫 ◇実習：各領域の実践例を基にした、技能の高まりにつながる授業アイデアの紹介 ◇実習：運動が苦手な子供への支援策
7	特別支援	総合学習センター 多目的ホール	○今、話題のこども専門の作業療法士と学ぶ 発達特性をもつ子供との関わり方 ◇講義：集団生活の困り感を理解する ◇体験：身体感覚向上から困り感を解決する！

Ⅱ 学校教育

			【講師：あそびLabo 作業療法士 市原 綾 様】 ○どうして？特別支援教育における授業づくり ◇講義：実践発表から学ぶ 授業をつくるための基礎基本 ◇グループワーク：子供の実態から考えよう 特別支援教育の授業づくり
8	特別活動	総合学習センター 研修室 1	○これからは特別活動が求められる時代！子供を育てる令和の学級経営 ◇講義：キャリアパスポートの活用方法について ◇チーム協議：清掃活動の現状と児童・生徒を育てるよりよい方法について ◇チーム協議・実習：係活動 こんな係で、学級の力をつけていく
9	道徳	総合学習センター 小ホール	○明日の授業に使える！～道徳科の基礎・基本～ ◇模擬授業を体験！子供の考えを可視化して議論 を深める！ ◇実習：模擬授業から考える、子供の思考に沿った授業展開 ◇講義：道徳の授業で大切にしたいこと！ ～子供に学びを委ねる道徳科の授業を目指して～ 【講師：金屋中学校 校長 田中 基明 様】
10	社会	男川浄水場	○教師も楽しむ授業づくり ～社会見学を授業につなぐ～ ◇フィールドワーク：男川浄水場で本物の「人・もの・こと」との出会い ◇講義：見学のねらいを見据えた事前指導のポイント ◇講義：見学を中心に据えた授業づくりのポイント ◇グループワーク：主体的な学びを引き出すためには
11	技術 （【応用編】含む）	新香山中学校 パソコン室	【応用編】の内容を含む ○子供の「知りたい」「やってみたい」を引き出す授業づくりと製図ソフトウェアを用いた授業力の向上 ◇講義：子供に学びを委ねる授業づくりに活用できる「生成AIとの関わり方」の実践より ◇実習：材料と加工の内容で使えるソフト体験 「CADを使った製図」のスキル取得
12	家庭	六ツ美北中学校 調理室	○調理実習のいろは ヒヤリハット0の実習を目指して ◇講義：子供も教師も安心・安全！調理実習の指導ポイント ◇実習：わが町「岡崎」と「旬」を味わう調理実習
13	国語・書写 図書館	総合学習センター 多目的ホール1・2 研修室1・2	【国語】※小中選択受講制 ○2学期からの授業が楽しみになる！文学的文章における授業づくり ◇講義：文学的文章の単元構想、授業づくりのポイント ◇実習：2学期以降の教材を基にした単元・授業づくり 【図書館】 ○「本 大好き」という子供を育てたい！図書資料の効果的な活用のすすめ ◇講義：図書資料を効果的に活用した授業の実践例 ◇実習：授業で使える読書活動の体験・実習
14	外国語	総合学習センター 多目的ホール3	○子供の「英語って楽しいな」を育てる授業づくり ◇講義：単語習得や新出表現の導入の仕方など基本的なテクニックの習得 ◇模擬授業：模擬授業を通して考える、STやALTとの基本的な授業づくり ◇協議：担当学年別「2学期からチャレンジした実践計画」
15	音楽	総合学習センター 小ホール	○子供の心が動き出す！ ～発達段階に応じた音楽活動の選び方・つくり方～ ◇講義：発達段階（小学校低学年、小学校高学年、中学校）に応じた音楽活動の指導ポイント ◇実習：歌唱指導・器楽指導などの基礎・基本 ◇実習：楽しむ学ぶための授業の導入や活動アイデアの紹介
16	総合	総合学習センター 小ホール	○総合な学習の時間『入門』 ～子どもの「やりたい」を引き出す3つのコツ～ ◇実習：【教材発掘のコツ】地域の「ネタ」から、子どもの「問い」を引き出す ◇実習：【単元構想のコツ】「自分事」が続く、学びのストーリーを描く ◇実習：【授業設計のコツ】子どもが自ら動き出す、具体的な「手だて」を練る
17	図画工作・ 美術	総合学習センター 研修室1・2	○授業改善！図画工作科の委ねる授業のつくり方！ ◇講義：「正解のない問い」を生み出す鑑賞の授業のつくり方 ◇実習：やってみたくなる鑑賞の授業の工夫 ◇講義：造形遊びや表現活動から考える、子供に委ねる授業のつくり方 ◇実習：子供に委ねる造形遊びの基礎・基本
18	生徒指導	総合学習センター 研修室5	○「させる」から「ささえる」生徒指導へ ◇講義：子供の心に寄り添う教師支援の在り方 【講師：中京大学 教職指導官 伊澤 勉 様】 ◇講義：子供の「問題行動」や「長期欠席」の背景や特性を捉えた対応について ◇グループワーク：「～な子供の姿」をどう捉える？どう支援する？
19	生活	北野小学校 理科室・体育館	○子供が輝く！「やってみたい」「もっと知りたい」があふれ出す生活科の授業づくり ◇実習：2学期以降の授業で生かせる教材教具のアイデアを紹介【自然や物を使った遊び】 ◇講義：どうしたら子供たちに思いや願いをもたせられるか、実現する授業展開のポイントを体験

■ 【応用編】

(令和8年度実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール1	○「深い学び」のある算数・数学の授業 講義と実践 ◇「深い学び」のある授業とは ◇「深い学び」のある授業を考えよう ①「分数」は「数」？ ②「証明」と「説明」の違いは？ 【講師：愛知教育大学 講師 石川 雅章 様】
2	国語・書写 図書館	総合学習センター 多目的ホール3	【国語】 ○「深い学び」を導く説明的文章の教材研究と発問づくり ◇講義：「深い学び」を導く説明的文章の教材研究と発問づくりのポイント ◇実習：2学期教材を用いた授業づくり 【講師：愛知教育大学 准教授 正木 友則 様】 【図書館】 ○「確かな学び」を支える学校図書館の効果的な活用方法 ◇体験：図書資料を活用した授業の体験
3	外国語	総合学習センター 研修室1	○S・T・A・L・Tと魅せる最高の授業づくり ◇模擬授業：S・T・A・L・Tと連携し、子供が英語を話したいと実感する模 擬授業の実演 ◇協議：S・T・A・L・TとのT・Tを成功させるポイント
4	英語	総合学習センター 小ホール	○英語で進める授業づくりについて学ぶ ◇模擬授業：知識・技能の定着を強化するための授業展開の実演（チーム の活用法、音読を活用したインプットの方法） ◇協議：模擬授業について、効果的なインプットの強化や、学びを委ねる ために準備することを協議する ◇講義：①模擬授業について各活動のねらいの解説 ②Our City OKAZAKI を活用したG・C・Tの実践 ③探求的な授業の実践
5	道徳	総合学習センター 研修室2	○考え議論する！子供が本音で語り合う道徳科の授業 ◇講義・実習：道徳科の本質を踏まえた発問構成と子供に学びを委ねる授 業づくり ◇実習：グループワークで授業展開を考える
6	理科	自然科学研究機構	○世界最先端の施設・研究者から学ぶ ◇ものづくり単元で使える実験実習（第136回国研セミナーを兼ねる） ◇日本の最先端科学を支える施設の見学 ○子供が自ら走り出す授業とは？ ◇子供に委ねる授業展開の検討
7	体育・ 保健体育	翔南中学校 体育館	○体育の授業で、教師は子供の学びをどのように見取るとよいか ◇実習：「球技」の模擬授業体験 ◇講義：子供の動き、発言、振り返り等の分析
8	社会	総合学習センター 多目的ホール1	○社会的な見方・考え方を働かせた上で、よりよい社会を創造する力を育む ための授業づくりについて学ぶ ◇社会科の本質に迫る目標の設定方法 ◇目標に迫るための単元を貫く課題（本時の課題）の設定方法 ◇主体的な学びを支える教師支援やI・C・Tの活用 ◇実際の授業を基にした授業改善の方法に関する協議
9	学習情報	総合学習センター 多目的ホール3	○レベルアップ！I・C・T活用術 ◇実習：「分析AI機能」を生かす「スクールタクト」の活用 ◇実習：教科の目標を達成するI・C・T活用研究 ◇実習：校務に生かす生成AIの活用法
10	特別活動	総合学習センター 研修室1	○これからの学校を支える“特活”！ 特別活動の今とこれから ◇講義・実践：主体的な取り組みで深める学級会のあり方 ◇チーム協議：各学校の実態から学ぶ、生徒会活動、児童会活動と学校行 事 ◇チーム協議：現在の課題から考える部活動の地域移行と特別活動
11	生活	総合学習センター 研修室2	○実践事例に学ぶ！子供の思いや願いを生かし、気付きの質を高める生活科 の授業づくり ◇講義：気付きの質を高める効果的な教師支援を探る ◇協議：活動や体験を視した授業実現に向けての各校の取組について ◇講義：生活科の新しい授業づくり 【講師：愛知教育大学 准教授 西野 雄一郎 様】
12	家庭	六ツ美北中学校 被服室	○授業が変わる！子供の思考と対話を軸とした授業づくり ◇講義：子供の作品構想を支えるチーム学習と教師の支援について ◇実習：「あったらいいな」を形にする 生活に役立つタブレットケース 製作
13	生徒指導	総合学習センター 研修室2	○専門家から学ぶ「発達支持的生徒指導」を基盤とした魅力ある学校づくり について ◇講義：「発達支持的生徒指導」を機能させた児童生徒支援について 【講師：名古屋学院大学 教授 天野 幸輔 様】 ◇グループワーク：明日からの児童生徒支援や保護者対応に生かす事例検 討
14	特別支援	総合学習センター 多目的ホール1・2	○明日から使える！子供に寄り添う授業のヒント ◇講義：専門家による教育のユニバーサルデザインと自立活動の視点を取り 入れた授業づくり 【講師：愛知教育大学 准教授 小倉 靖範 様】 ○こんなときどうする？！発達特性のある子供への対応 ◇グループワーク：子供の実態から考える対応の在り方について

Ⅱ 学校教育

15	図工・美術	総合学習センター 研修室2	○専門家と図工・美術の授業改善、指導力向上について考える ◇講義：図工・美術の子供に委ねる授業のつくり方 ◇実技：豊かで柔軟な発想力を養うものづくり ～土粘土を使っていろいろなスキルを探すワークショップ～ 【講師：愛知県教育大学 准教授 永江 智尚 様】
16	保健	総合学習センター 多目的ホール3	○スクールカウンセラーと考える子供のメンタルヘルス問題への対応！ ◇グループワーク：自分の強みと弱みを知る ◇協議：事例から考える校内外の連携の在り方 ～教職員一人一人のよさを生かして～ ◇講義：子供と保護者に寄り添うカウンセリングマインド 【講師：臨床心理士 後藤 智希 様 （岡崎市立北中学校・六ツ美北中学校SC）】 ◇質疑・応答：日々の「どうしよう？」をスクールカウンセラーに聞く
17	総合	総合学習センター 小ホール	○どうなる？どうする？総合的な学習の時間 ◇講義：総合的な学習の時間における今後の展望 【講師：中京大学 教授 久野 弘幸 様】 ◇実習：子どもに学びを委ね、探究の質を高める『2学期からの授業改善』
18	音楽	総合学習センター 研修室1	○楽しいだけで終わらない 「学び」につなげる音楽づくり ～教科書教材を中心とした創作活動～ ◇実習：カトカトーンの使い方 ◇講義：教科書教材を用いた創作実践例の紹介 ◇講義：子供が思考する創作活動について

■【発展編】

（令和8年度実施内容）

番	研修名	会 場	内 容
1	研究推進 研修	総合学習センター 多目的ホール3	◇学校全体で進める研究の意義、研究主任の役割・心構えの講話 ◇研究理論（目指す子ども像、研究主題、研究仮説、研究の手立て等）の 作り方の講話 ◇研究推進を通し、組織的な実践の進め方の講話、意見交換 ◇研究実践事例の紹介 ◇研究推進における不安や悩み、課題等に関する意見交換
2	授業指導 研修	総合学習センター 小ホール	○授業改善のリーダーとして、牽引力を発揮するために ◇授業づくり指導の視点についての講義と実習 ◇授業改善を目指す指導Ⅰ（指導案指導より）講義と実習 ◇授業改善を目指す指導Ⅱ（論文指導より）講義と実習 ◇教員チームでの授業改善に関するアイデア・情報交換
3	保健・衛生推進 研修	総合学習センター 研修室2	○児童生徒と教職員のメンタルヘルス ◇メンタルヘルスに関する講義と実習 ◇児童生徒への心の教育（ライフスキル教育を中心としたグループワー ク） ◇支え合う教職員集団についての意見交換
4	食育推進 研修	総合学習センター 研修室5	○「子供の食育」と「大人の食育」 ◇食育を通じて子供に身に付けさせたい力 ◇指導以前に大人も知らない、食と健康に関する知識あれこれ ○学校給食を活用した食に関する指導 ◇こんなにもおもしろい「生きた教材」としての学校給食 ◇各校における給食指導の現状と課題について意見交換
5	生徒指導推進 研修	総合学習センター 小ホール	○子供の成長、発達を支える生徒指導とは ◇生徒指導提要から考えるこれからの生徒指導について ◇生徒指導の実践上の4つの視点について ◇学習指導と生徒指導の一体化 ～だからチーム学習が有効～ ◇多様な子供への支援の在り方について ◇長期欠席対策の「未然防止」「初期対応」「自立支援」について ◇実践から学ぶ、いじめ・長期欠席等の未然防止策等について ～意見交換と対策案の作成を通して～
6	学年経営推進 研修	総合学習センター 研修室1	◇学年や教科部における「授業改善の推進役としての心構え」についての 講義と意見交換 ◇経験の浅い教職員をどう育てるか、中堅教諭に何を求めるかなど、「人 材育成と学年経営」についての講義と意見交換 ◇学校運営に参画する上での不安や悩み、現状抱えている課題等について の意見交換 ◇2学期からの学年経営計画書の作成
7	日本語教育推進 研修	総合学習センター 研修室2	○そうなんだ！多様な子供の背景をもとにした「日本語教育」 ◇外国人児童生徒教育の現状と課題 ◇日本語教育の基礎・基本（DLAとJSLカリキュラム） ◇授業づくりのステップと具体的な支援方法 ◇将来どのように生きていくのか
8	特別支援教育推進 研修	総合学習センター 多目的ホール1・2	○これで安心 特別支援教育・教育相談エトセトラⅡ ◇特別支援教育の視点を取り入れた、学校・学級・授業づくりについて、 経験の浅い教職員の相談や助言を行うための講義と演習 ◇教育相談でコーディネーターや役職者が困らないための心得について講 義と協議 ◇子供発達支援マネジメントについての講義と演習
9	ICT教育推進 研修	総合学習センター 小ホール	○ICT教育（生成AI 利活用）推進研修 ◇シニアリーダーとして知っておきたい、学校教育における生成AI 利活用 についての講義と実習

10	学習評価 研修	総合学習センター 研修室2	○「子供の学びを高める学習評価」研修 ◇学びを高める岡崎の子供たちのために―指導と評価の一体化― ◇何のために学習評価を行うのか（評価の魅力・価値・必要性） ◇子供も保護者も納得する学習評価とは ◇これからの学習評価の在り方を考える ◇子供の学びと成長につながる組織的かつ計画的な教育課程の編成と指導方法の改善
----	------------	------------------	--

■ブラッシュアップ研修

（令和8年度実施内容）

番	研修名	会 場	内 容
A	子どもの発達 や生活の変化 を踏まえた課 題	総合学習センター 多目的ホール1	○子どもの発達に関する脳科学と心理学についての講義 ◇脳のはたらきと心の育ち ◇発達障害児の理解と対応 ○子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題についての意見交換 ◇学校の抱える諸課題 ◇課題を予防する生徒指導 ◇カウンセリングマインド
B	国の教育政策 や世界の教育 の動向	総合学習センター 多目的ホール1	○国の教育政策について① ◇第4期「教育振興基本計画」に関する講義と意見交換 ○世界の教育の動向について ◇教育先進国の「ICT教育」を中心とした教育事情の講義と意見交換 ○国の教育政策について② ◇「令和の日本型学校教育」に関する講義と意見交換
C	学習指導要領 の改訂の動向 等	総合学習センター 多目的ホール1	○学習指導要領の改訂の動向に関する講義および、持参した学習指導案の見直しと、それを基にした話し合い ○今後、どのような授業をつくっていきたいかのレポート作成と発表
D	学校における 危機管理上の 課題	総合学習センター 研修室2	○直面している危機 ◇学校で起きている危機に関する事例検証 ○危機管理のあり方 ◇学校における危機管理上の課題や危機管理のあり方に関する講義 ○危機への対応と対策 ◇危機管理のポイントや対応の仕方についての意見交換
E	ICT研修	総合学習センター 研修室1	◇岡崎市が進める GIGA スクール構想についての講義 ◇授業支援ツールとデジタルドリル・指導者用デジタル教科書の活用 ◇職務に応じた ICT の活用

(4) 小学校教諭免許状取得研修

小学校教諭免許状取得研修は令和5年度より廃止となった。

なお、学校の管理職においては、中学校教員の資質の向上及び円滑な小中学校の人事交流に資するため、大学の通信課程を活用したり、愛知県教育委員会教育職員免許法認定講習を受講したりするなどにより小学校教諭2種免許状を取得できるよう各教員に呼びかけ等を行う。

(5) 現職研修事業

現職研修を推進し教職員の資質の向上に努めることを目的として、各小中学校でさまざまな取組が学校独自の年間計画のもとに行われる。計画とその結果は年度の初めと終わりにそれぞれ市教育委員会に報告される。事業内容には教職員に対する研修や研究発表に係わる活動及び研究成果のまとめ等がある。

(6) 新任教師の集い

次年度の新任教師が集い、1年目の教師が企画・運営する諸活動を通じて4月からの教育活動に生かす。研修内容は教師としての基礎・基本を学ぶための、学級開きの心得、授業の基礎・基本、板書の仕方、タブレットの活用法の他、先輩の体験談やフリートークなどがある。

(7) 中堅教諭等資質向上研修

令和3年度より愛知県が主催する研修の大幅な見直しが行われたことに伴い、これまでの「10年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」と改めた。さらに、令和7年度までの暫定的な措置として、5年経験者と10年経験者としていたものを、5年経験者・10年経験者・15年経験者の3つに分けることとした。

Ⅱ 学 校 教 育

中堅教諭等資質向上研修は在職期間が5年、10年、15年を経過した全教員を対象に、教育公務員特例法第24条に基づき、現職研修の一環として研修を実施し、教員の資質向上と使命感を養うと共に、専門性の向上、得意分野の伸長を図ることを目的として、研修を行う。

9 教育委員会特別委員会

市の計画に基づく委託事業等を円滑に企画・運営するために、教育委員会特別委員会が設置されている。それぞれの会の委員は各小中学校の校長・教頭・教諭によって組織され、委員の選出に当たっては、他の会の委員との重複を避け、同じ学校の職員に偏ることがないように配慮されている。

■特別委員会

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
月報「岡崎の教育」 編集委員会	・ 6 班編成の取材・編集 ・ 「岡崎の教育」 毎月配付 (P D F データ) ・ 月 1 回の定例編集会議 ・ 年 1 回市民への回覧 ・ 教育関係諸機関への送付	32 名
教職員の研修検討委員会 「教員研修 OK ポータル」	・ 「教員研修 OK ポータル」 の編集発行 (ダウンロード版を含む) ・ ダウンロードの仕方や使用方法、活用方法の周知	5 名
教職員の研修検討委員会 「新任教師の集い企画・運営」	・ 「新任教師の集い」 の企画運営	5 名
教職員の研修検討委員会 「新たな教師の学び」	・ 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【応用編】【発展編】、ブラッシュアップ研修に向けた準備と運営 ・ 新たな教師の学びに向けた調査研究	9 名
特色ある学校づくり推進委員会 「コミュニティ・スクール」	・ コミュニティ・スクールの導入が円滑に進むための研究と研修会等の実施 ・ コミュニティ・スクールの理解促進	6 名
特色ある学校づくり推進委員会 「未来型の教育」	・ 市内全校が参加できるオンライン授業の企画、運営	9 名
部活動地域移行検討委員会	・ ブロック部活動実施状況の把握及び成果・課題の周知 ・ 子供や教員の部活動地域移行に関する実態調査の実施	10 名
I C T 教育推進委員会	・ 生成 AI の校務での利活用に関する研究	12 名
郷土読本編集委員会	・ 小学校向け「おかざき」 3 年 4 年 6 年・中学校向け「岡崎」の改訂	12 名
授業改善委員会 「教育課程研究」	・ 柔軟な教育課程の編成やカリキュラムマネジメントの研究 ・ ミニ探究の実践研究	12 名
補助教材検討委員会	・ 公費負担補助教材の検討	5 名
英語が話せる おかざきっ子研究委員会	・ 小学校英語動画 (OK English) の改訂 ・ Our City OKAZAKI デジタル版作成	12 名
いのちの教育推進委員会	・ 「いのち」を大切にできる子供の育成に向けた実践研究 ・ 「S O S の出し方」教育等の研究、発信	6 名
教職員の倫理観向上委員会	・ 教職員の倫理観を向上し、不祥事を未然防止するための研修計画の作成と資料提供	6 名

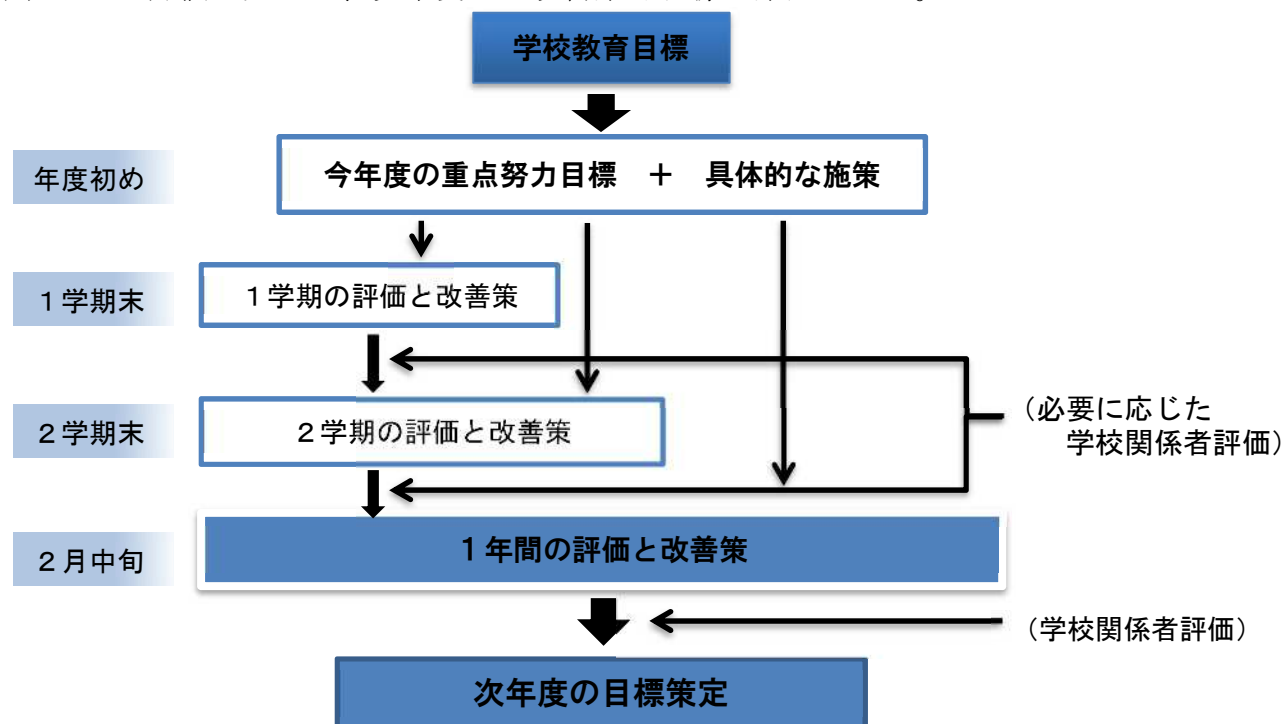
Ⅱ 学校教育

■その他の関係委員会等

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
教育支援委員会	・ 年長児保護者対象就学説明会 ・ 「そよかぜ相談」による就学相談 ・ 教育支援（就学指導）委員会の開催 ・ 教育相談員による教育相談	23 名
特別支援教育 連携協議会	・ 特別な支援を必要とする子供について、教育、医療、福祉、労働等の関係諸機関の連携を図る会を開催 ・ 「みどりファイル」を軸に連携のあり方を検討	24 名
岡崎市いじめ問題 対策連絡協議会	いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携、その他、いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関する情報交換、連絡及び協議	10 名
岡崎市長期欠席等 対策連絡協議会	長期欠席の未然防止と初期対応をはじめとした児童生徒への指導の適正化を図り、将来的な社会的自立を実現するための効果的な対応を検討	11 名
アレルギー対応検討 懇談会	医師・学校関係者で、学校におけるアレルギー対応について必要な事項を検討	10 名
学校事務共同実施 運営委員会	共同学校事務室において事務を円滑に実施するため、学校事務と共同実施の支援、ブロック間の調整のための情報交換及び協議	13 名

10 学校評価（学校経営評価）

岡崎市立の小中学校を対象に、学校評価は実施されている。年度ごとに教育目標を設定し、その成果を評価することで、教育内容の質の向上を図ることを目的としている。各小中学校では、年度初めに、学校教育目標を基本として、重点努力目標が策定される。同時に、目標達成のための具体的な施策が策定され、学校関係者評価委員会に対して説明されるとともに、市教育委員会に報告される。1学期末と2学期末は、それぞれの学期における目標の達成状況について、校長の教員評価（学校経営評価）が行われる。また、学校関係者評価委員会は、授業や学校行事の参観、教職員や児童生徒との対話を行い、中間評価を実施することもある。3学期には、各小中学校長を中心として、全職員が、「教育活動診断票」に基づき保護者や児童・生徒による外部アンケートを実施し、成果の見られた点や反省点を洗い出すとともに、自己評価を実施する。そして、自己評価の結果及び今後の改善方策についてまとめた上で、学校関係者による評価を実施し、次年度への改善策や目標が策定される。



■学校関係者評価委員会

市内 67 校に設置される。委員会は、各小中学校長・学校評議員 5 名以内（学区有識者、社会教育委員代表、民生児童委員代表、PTA の代表等）、担当教諭 1 名、児童生徒の代表（各校 10 名程度）、その他委員長が必要と認める者で構成され、学校の教育活動に対して、地域や保護者だけでなく、子供の声を取り入れることができる組織作りがなされている。

学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し、意見を述べる。

学校関係者評価委員会は、1 年間に 3 回開催される。1 学期は、各小中学校長が、教育方針、目指す子供像、重点努力目標等を学校評議員に説明する。2 学期は、学校の様子などについて、子供と学校評議員を交えて話し合う。3 学期は、学校評議員による学校関係者評価を行う。

11 開かれた学校づくり

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携

幼稚園等の「遊び」を通して学ぶ、幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校の教育活動への円滑な移行を目指し、交流や連携（情報の連携・行動の連携）をさらに一層深めることが求められている。

ア 交流・連携推進の目的

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を幼保小で共通認識し、その視点をもって、子供たちに様々な気付きや思いやりの心を育む。
- ・幼児・児童の発達段階を学習することで、教師の子供理解を高める。
- ・幼小の滑らかなカリキュラムの連携を推進する。
- ・小学校入学当初における生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実させ、小1プロブレムを乗り越える力を身につけさせ、小学校生活への適応を円滑にする。

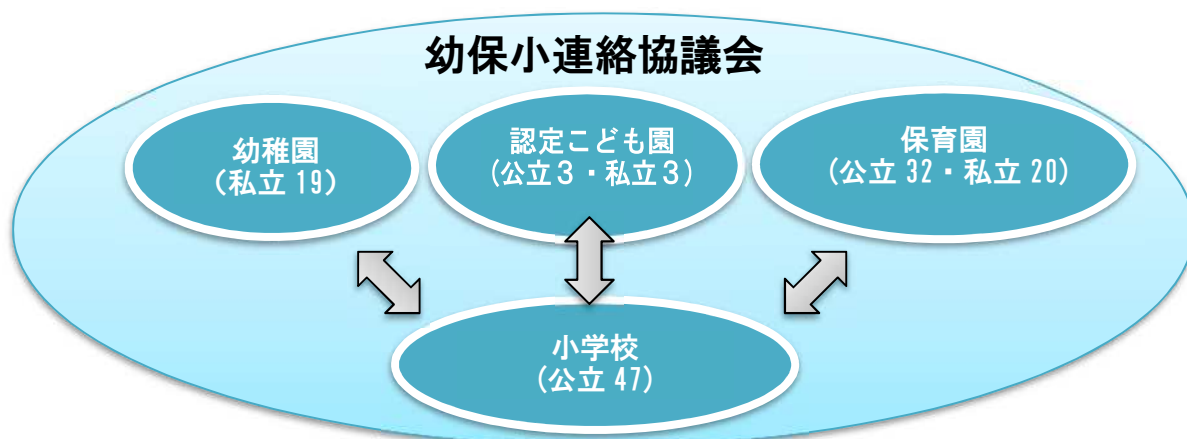
イ 組織的・計画的な取組

岡崎市幼保小連絡協議会を年4回開催する。第3回の拡大会議については、全小学校と、幼稚園・保育園・認定こども園の担当者が参加し、連携活動を推進する。

(2) 岡崎市幼保小連絡協議会

ア 活動の概要

平成17年度、岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼保小連絡協議会〈準備会〉を立ち上げ、平成18年度は、それをさらに充実し、正式に発足した。平成21年度からは、会の事務局を岡崎市教育委員会学校指導課とこども部に置き、事業にあたっている。



この協議会は、岡崎市の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校が、それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携を図ることにより、子供の生きる力を伸ばし、すこやかな育ちを支えることを目的とする。

イ 主な取組

- (ア) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の推進
- (イ) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- (ウ) 講演会・研修会等の啓発活動
- (エ) 関係諸機関との連携

ウ 組織の構成員

- (ア) 学識経験者
- (イ) 岡崎市小学校長会の代表者
- (ウ) 岡崎市私立幼稚園の代表者
- (エ) 岡崎市公立保育園長会の代表者
- (オ) 岡崎市私立保育園長会の代表者
- (カ) 小中学校教諭、私立幼稚園教諭、私立保育園保育士、公立園保育教諭または保育士

子供たちが豊かな心を育み、健やかに成長するためには、家庭・地域社会との連携もさることながら、学校間の連携（相互交流）も不可欠である。

幼児教育から義務教育の9年間を見通しての幼保小間の連携教育は、一人一人の子供の特性を理解し、発達段階に応じたきめ細かな指導に取り組むことが可能で、その効果も大きい。また、幼保小間の連携は、子供たちの「他を思いやる心」や「自立心」の育成に大いに役立っている。

子供の健全育成に向け、地域や家庭を基盤にした市民総参加による子育てのネットワーク化を図るとともに、幼保小の教師の共通理解のもと、授業参観や行事参観等を通して様々な異年齢交流を展開している。

(3) 中学校区児童生徒健全育成協議会

中学校区児童生徒健全育成協議会は、中学校区のPTAが中心となり、関係諸団体との密接な連携を深め、児童生徒の健全育成を推進するために平成13年度に組織づくりが開始された。小学校、中学校及び関係諸団体と連携を密にして運営することにより、小中一貫した生徒指導と児童生徒及び学区住民の防犯に対する意識高揚を図った。平成15年度には15中学区で組織化された。その後、携帯電話の普及等による問題行動の広域化や変質者被害の多発等を踏まえて、市内全中学校区の校長と地域の代表が集まる情報交換会を2回開催した。平成16年度は、市内の全ての中学校区で組織化を図り、その代表者と校長を集めて、中学校区児童生徒健全育成連合協議会が発足した。平成18年度は、全国で起きた「いじめ自殺」を受け、その対応策を協議した。平成19年度は、「いのちの教育」アクションプランの推進に向けて、子供たちの健全育成に向けた活動を展開した。平成20年度からは、「いのちの教育」アクションプラン推進協議会の地域部会として活動を継続した。平成23年度以降、各中学校区の協議会では、学校・家庭・地域・関係諸団体との連携をより一層確かなものとし、児童生徒の健全育成を地域全体で支える体制が強化されている。

Ⅱ 学校教育

(4) コミュニティ・スクール

岡崎市では、令和５年度からのモデル校への学校運営協議会設置を目指し、令和３年度に特別委員会「岡崎版コミュニティ・スクール推進委員会」を発足し、先行導入地域の調査・研究をはじめ、モデル校の委嘱に向けた準備をすすめた。

令和４年９月には、モデル校として六ツ美中部小学校を学校運営協議会設置校として指定し、翌年の設置に向けて準備をすすめ、令和５年４月、６名の学校運営協議会委員を任命し、市内初の「コミュニティ・スクール」が誕生した。第１回の学校運営協議会では、校長が学校運営の基本方針を説明し、各委員による協議の後、承認された。

その後、令和６年４月に下山小学校が、令和７年４月には大門小学校、上地小学校、北野小学校において、学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなった。そして、５校のモデル校による先行実施を経て、予定通り令和８年度より小学校全４７校へ設置する運びとなった。

今後、コミュニティ・スクールの導入を契機に、育てていきたい子供たちの姿を、学校と地域がさらに共有するとともに、これまで展開されてきた活動を地域学校協働活動として改めて意識することで、その質の高まりや新たな活動への発展等が期待される。また、本市において、これまで紡がれてきた、子供たちの健やかな成長を心から願う学校、保護者、地域の絆が、さらに強くなることも期待しており、学校がその拠点になることが、地域総がかりの令和の新たな学校モデルの構築につながるものと考えている。

12 いじめ・長期欠席対策

(1) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会

岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会を設けて、いじめや長期欠席に関するそれぞれの事業の連携を図り、児童生徒へ一層きめ細かな支援を行うために、臨床心理士、医療機関、専門機関の代表等の助言を得て健全育成推進事業、長期欠席対策推進事業を推進する。

(2) いじめ・長期欠席相談室事業

臨床心理士の資格を有する者及び子供の発達段階を理解し、子供の実態を把握する力量があり、人格・行動において社会的信望を有し、職務遂行に必要な熱意をもつ社会人を活用し、悩みを抱える児童生徒及びその保護者へのカウンセリング、担任及び関係教職員への指導助言等を行い、児童生徒の支援につなげる。

ア 長期欠席にかかわる「そよかぜ相談室」

【臨床心理士】

- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後6時と土曜日の午前9時から正午の中で、教育相談センターにおいて、相談活動・ケース会議等を行う。
- ・学校からの派遣要請があり、教育委員会が派遣の必要があると認めた場合、学校現場との連携を基にした緊急派遣を行う。(学校や家庭を訪問、教育相談センターでの教育相談や支援)

イ 実績（平成26年度に心理士を2名から3名に増員）

■臨床心理士による相談にかかった人（延べ人数）（令和8年3月末現在）

	本人	保護者	教員等	合計
平成27年度	854人	1,958人	292人	3,104人
平成28年度	850人	1,977人	321人	3,148人
平成29年度	894人	2,009人	320人	3,223人
平成30年度	788人	1,874人	360人	3,022人
令和元年度	807人	1,939人	286人	3,032人
令和2年度	950人	1,816人	333人	3,099人
令和3年度	686人	1,734人	351人	2,771人
令和4年度	635人	1,818人	289人	2,742人
令和5年度	713人	1,644人	232人	2,589人
令和6年度	719人	1,575人	295人	2,589人
令和7年度	672人	1,523人	256人	2,451人

Ⅱ 学校教育

(3) 「キッズ岡崎こころの電話」

ア 概要

昭和 56 年度に始まった全ての市民を対象にした「心の電話おかざき」を、平成 23 年度から「キッズ岡崎こころの電話」とし、小中学校及びその保護者に対象をしばって教育的援助を行う。保護者や先生、友達にも相談できない悩みや問題を、電話で話し合うことにより、多感な時期である小中学生やそれを支える保護者が明るい生活を送れるようにする。また、相談内容によっては専門機関、専門家を紹介して相談者の問題解決を助ける。市内小中学校新入生を対象に、電話番号等の入ったシールを配布した。

【電 話】 8 3 - 5 6 6 0

【受付時間】 火曜日～金曜日 正午～午後 7 時 00 分
土曜日 正午～午後 4 時 30 分

【休 日】 日曜日、月曜日、国民の祝日
12 月 28 日～翌年 1 月 4 日

イ 相談件数 (令和 7 年度)

小学生	中学生	保護者	計
0	2	6	8

(4) メンタルサポートクラブ事業

心の支援者を組織し、長期欠席の児童生徒の家庭を訪問し、良き相談者としての立場から側面的に援助する事業である。

(5) スクールカウンセラー

全中学校 20 校(小中連携型配置校 3 校を含む)及び全小学校 47 校(拠点校 10 校、対象校 38 校)にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員の悩み事相談や長期欠席相談に応じる。

(6) 登校支援員

各学校の要請により、長期欠席児童生徒、保護者への支援を行う。また、長期欠席対策主任との連携による校内教育支援センター巡回指導・支援を実施する。

(7) スクールソーシャルワーカー(アドバイザーを含む)

教育相談・支援体制の充実のため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉士等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて、支援を行う。現在、学校勤務経験者を 5 名、社会福祉士を 5 名、アドバイザーを 1 名、合計 11 名を配置している。

(8) 校内フリースクール（F組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じていたり、集団生活が苦手で不安を抱えたりする児童生徒が、教室復帰だけでなく、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和2年度に3校、令和3年度に5校、令和4年度に6校、令和5年度に6校の中学校に段階的に設置し、市内全中学校へ校内フリースクールを開設した。小学校にも、令和6年度に3校、令和7年度に2校、令和8年度に1校に設置した。担任と支援員を配置し、児童生徒への指導・支援を行っている。

(9) 夜間学級（S組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じており、他の生徒が学校にいる時間帯は登校できないが、夕刻以降であれば登校できる生徒や、家から出ることができない中学校の生徒を対象としている。夕方以降の時間帯で、週1回程度開設し、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和6年度に5校、令和7年度に5校設置し、担任と支援員を配置し、生徒への指導・支援を行っている。

13 危機管理対策

平成 13 年 6 月 8 日に起きた大阪教育大学教育学部附属池田小学校における児童等殺傷事件を受け、学校における危機管理体制の確立が急務となった。岡崎市では、防犯ブザーや、防犯ホイッスルを配布するとともに、直ちに岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを作成した。以後、各校はそれに基づいて各校（園）に危機管理マニュアルを作成し、教職員の対応や役割分担の確認を毎年 4 月に行ってきた。

平成 15 年 12 月 18 日には京都府宇治市宇治小学校に不審者が侵入し、小学校 1 年生が負傷する事件が発生した。そこで、市内の不審者被害の多発の現状を踏まえて、岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを改訂すると共に、平成 16 年 1 月には不審者対策の避難訓練研修会を岡崎警察署の全面協力を得て市内の校務主任が全員参加して行われた。この研修会を踏まえて自校の危機管理マニュアルの見直しを図り、防犯教室を実施すると共に、児童生徒一人一人に引き渡しカードを作成し、参観日などの機会に保護者への引渡し訓練を実施した。また、警察、少年愛護センター、市防犯交通安全課などの専門機関や地域住民との連携も進んでいる。そのひとつに、児童生徒の登下校の安全ボランティアを中心とした S S V（スクール・サポート・ボランティア）の拡充がある。平成 16 年度の中学校区児童生徒健全育成連合協議会の立ち上げもあり、その後、学校・家庭・地域の確かな行動連携が加速した。平成 17 年度には、小 1 児童の下校時を狙った痛ましい事件が広島、栃木で発生し、平成 20 年 5 月には、豊田市で女子高生が殺害される事件も発生した。さらに、平成 23 年 3 月 11 日には、東日本大震災が発生した。

危機管理マニュアルや防犯・防災マップの改善を図るとともに、児童生徒が自ら身を守るという安全意識を育てていくことが急務である。

(1) 携帯用警報ブザー（防犯ブザー）の配布

ブザーは岡崎警察署生活安全課が斡旋するものを選定し、平成 13 年 6 月に小中学校に各 1 個、さらに、9 月には小中学校に職員数＋5 個を配布した。

(2) 夜間反射材付き防犯ホイッスル・防犯ブザーの活用

防犯ホイッスルは、交通安全にも役立つように、夜間反射材のついた首下げ式のホイッスルを選定した。首にかける紐は、安全のために少し強く引くと二つに分かれるものを採用した。平成 16 年 2 月に市交通安全課が小学校 1、2 年生に配布した。また、市安全安心課から平成 16 年度に新 1 年生を含め、小学生全員に配布され、その有効活用を図っている。

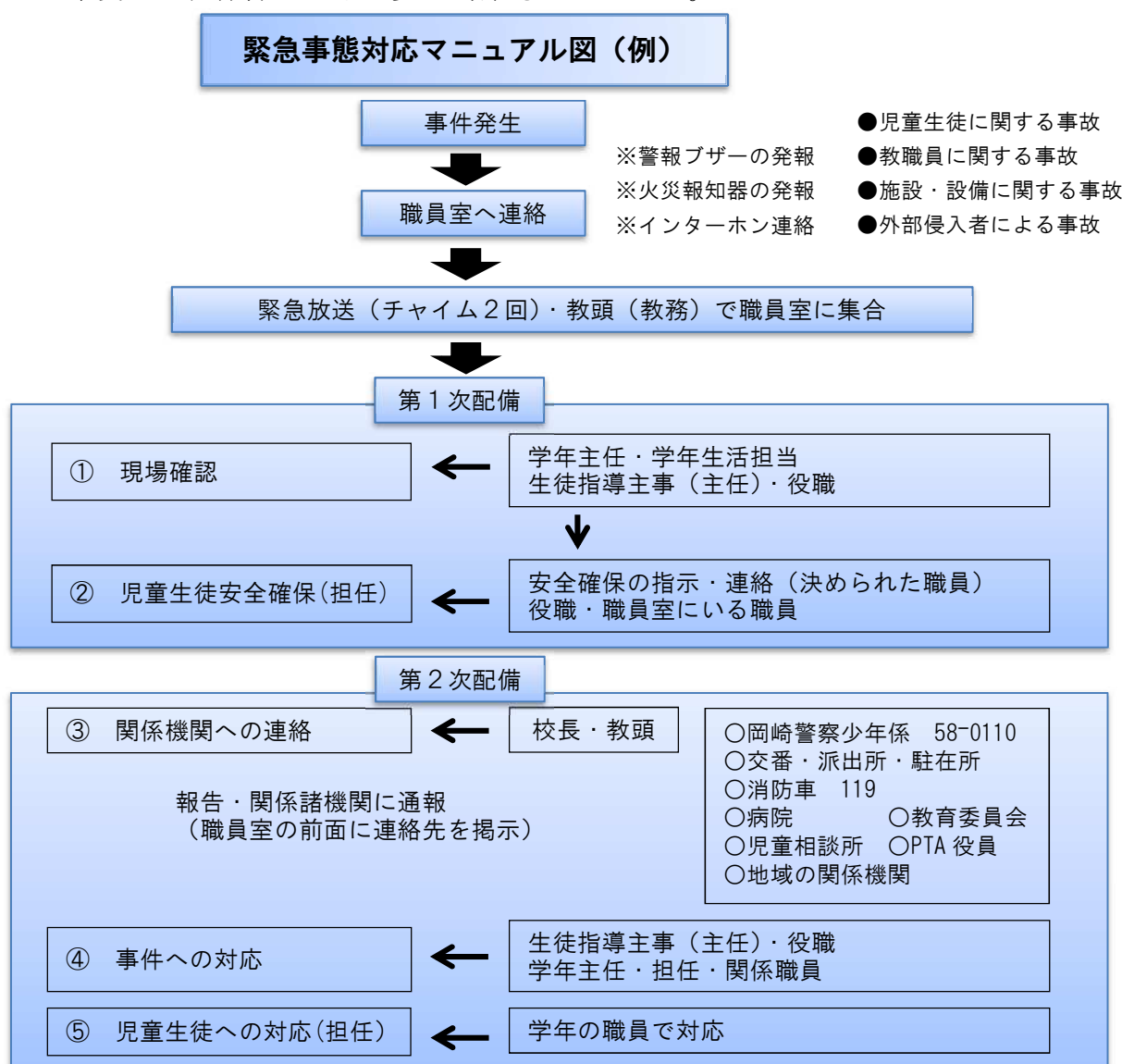
平成 17 年度には、市内全中学生に防犯ブザーを 5 月中旬に配布して、児童・生徒の安全確保に努めている。平成 18 年度以降毎年 4 月、新小学校 1 年生と、新中学校 1 年生に防犯ホイッスル、防犯ブザーを配布している。平成 27 年度は、小学生全児童に対して防犯ブザーを配布した。

なお、平成 28 年度からは、新小学校 1 年生のみに防犯ブザーの配布を行い、平成 29～令和 2 年度は民間から寄贈された防犯ホイッスルも市内全小学生に配付した。

令和3～8年度は以前のとおり、新小学校1年生への防犯ブザーの配付を行った。

(3) 危機管理マニュアル作成

岡崎市小中学校危機管理マニュアルは、「日常の安全確保」「緊急時の安全確保」「家庭や地域社会の協力を得て取り組むべき事項」を骨子として事件の予防策と事故発生時の対応が定められ、実際に取り組むことができるように具体的な内容を明記している。毎年4月当初に各学校においてマニュアルを作成し、その内容について、実際に避難訓練や教職員のみによる訓練を行い、教職員に十分周知するようにしている。また、平成19年度から学校情報メールシステムが確立され、市内全小中学校が緊急時の連絡手段として活用している。平成27年度から校外学習に対する安全管理、平成28年度から組体操における安全対策も加えている。



Ⅱ 学校教育

市立小中学校における大規模地震についての対応

1 児童生徒の安全対策

- (1) 地震に対する危機管理マニュアルの作成や通学路の安全マップの作成等を行い、日ごろから地震における対策をしっかりとっておく。
- (2) 「南海トラフ地震に関する情報（臨時）」が発表された場合は、落ち着いて行動し、テレビ・ラジオ等から正確な情報を収集するよう努めるとともに、児童生徒の安全確保を行う。
- (3) 事前に情報がない状態で地震が発生した場合は、危機管理マニュアルに沿って行動し、児童生徒の安全確保に努める。児童生徒の在宅時は、臨時休校や授業再開の時期など、必要に応じて保護者に連絡する。

2 防災教育

児童生徒に対する防災教育は、教育活動の一環として行うものとし、具体的実施内容は、年間教育計画で定めるところによる。

○地震発生時の非常配備体制

ア 事前の地震情報がない状態で地震が発生したとき

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	①震度3の地震が発生した時	管理職を中心に情報の収集・交換
第1非常配備	①震度4の地震が発生した時	管理職と必要に応じた教職員若干名の配備（市教委への電話連絡）
第2非常配備	①震度5弱の地震が発生した時	教職員の半数程度の配備
第3非常配備	①震度5強以上の地震が発生した時	全教職員の配備

*上記の場合以外においても、各学校の自主的判断により非常配備につく。

*被害の状況に応じて、校長判断で配備を解く。（市教委へ電話連絡必要なし）

*震度5強以上の場合は、全小中学校の避難所が開設されるので、必要に応じて対応する。

イ 南海トラフ地震に関連する情報が出た場合

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	南海トラフ地震臨時情報（調査中）の発表	管理職を中心に情報収集・交換 「南海トラフ地震臨時情報」に注視し、配備について検討する。
第1非常配備	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表	管理職の配備 「南海トラフ地震臨時情報」に注視し、対応について検討する。（市教委へ電話連絡）

第2 非常配備	南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒）の発表	管理職の配備 「南海トラフ地震臨時情報」 に注視し、準備を行う。
---------	----------------------------	--

* 配備については、原則勤務時間内とする。ただし、状況に応じては、この限りではない。

14 就学・奨学制度

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(令和 8 年 3 月現在)

区 分		準要保護	要 保 護	計	備 考
小学校	人員	1,435 人	58 人	1,493 人	小学校全児童数 20,462 人
	対全児童	7.01%	0.28%	7.30%	
中学校	人員	920 人	39 人	959 人	中学校全生徒数 11,100 人
	対全生徒	8.29%	0.35%	8.64%	
計	人員	2,355 人	97 人	2,452 人	31,562 人
	対全児童	7.46%	0.31%	7.77%	

(%は小数点第 3 位四捨五入)

(2) 特別支援教育就学奨励制度

学校教育法施行令第 22 条の 3 に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(令和 8 年 3 月実績)

区 分	対象 児童・生徒数	扶助者数※	扶助率
小学校	967 人	651 人	67.32%
中学校	314 人	189 人	60.19%
計	1,281 人	840 人	65.57%

※ 扶助者数は辞退者（就学援助制度によって扶助している者等）と費用の支弁を受けなかった者を除いた数。

(3) 奨学資金制度

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付けを行う。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

ア 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

イ 貸付実績

年度	人数	金額
令和2年度	37人	14,800,000円
令和3年度	54人	21,600,000円
令和4年度	57人	22,800,000円
令和5年度	59人	23,600,000円
令和6年度	51人	20,400,000円
令和7年度	45人	18,000,000円

(4) 私立高等学校等授業料補助金概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者のうち、公私立学校間における授業料負担の格差是正を図り、もって教育の機会均等の原則を確保し、あわせて市立学校教育の振興に寄与するために、予算の範囲内において、授業料の補助を行う。

ア 補助金額

年額上限12,000円

※ 実質授業料負担額が12,000円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

イ 補助金交付実績

年度	人数	金額
令和元年度	1,869人	22,394,000円
令和2年度	842人	9,952,000円
令和3年度	772人	9,153,000円
令和4年度	695人	8,289,000円
令和5年度	715人	8,506,000円
令和6年度	1,017人	9,002,000円
令和7年度	1,176人	12,803,000円

15 全市的行事

(1) 中学生総合体育大会

市内の全中学生を一堂に集め、スポーツの実践や理解の機会を提供することにより、各ブロック間の親睦とスポーツ精神を養うことを目的とする。昨年度まで実施していた中学校総合体育大会では、令和元年度まで岡崎市中央総合公園・市民球場において総合閉会式を開催し、市内全中学校から約1万1千人の生徒及び教職員が参加した。しかし、令和2、3年度は、愛知県に緊急事態宣言が発令されたことを受け、大会は中止となった。その後も総合開会式は実施していない。令和7年度の秋からはブロック部活動に伴い、大会名称等も新たに変更した。これを踏まえ、令和8年度の競技については、全12種目を15会場で実施している。なお、大会名称は、以下の通り。

- ・Autumn CUP（新人戦）
- ・Spring CUP（春大会）
- ・FINAL CUP（夏大会）

(2) 中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を考え、聞き手に伝えることを意識して文章化することを通じて、自分の考えを認知する能力や論理的思考力を高めるとともに、社会の一員としての自覚を高めることを目的として実施されている。令和2年度までは、夏季休業中に市内各中学校の代表者21人が発表し、市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加してきた。令和3年度からは、会場に一堂が介しての主張コンクールではなく、各学校において主張作文に取り組み、学級や学年、全校の場で発表する場を設定する形で取り組んでいる。自分の主張を分かりやすく書く力とともに、話す聞く力も高めていく。

(3) 岡崎市小中学校書き初め展

優れた書写の作品を鑑賞し、書写技能を高めることができるようにすること、日常の書写指導の成果を表すことを目的として実施されている。各校から代表者の作品が岡崎市美術館に展示され、毎年6000人近くの来場者がある。平成30年度から2日間開催となっている。令和2年度より、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止や人数制限等の対応が取られたが、令和5年度以降は、従来どおり岡崎市美術館にて開催されている。

(4) 岡崎のハーモニー

市内全小中学校の代表児童生徒が参加して、日頃の練習の成果を発表し合う。岡崎市民会館あおいホールを会場とし、その年のテーマをもとにステージ案を構想し、合唱、オーケストラ、吹奏楽等、多彩な音楽を演奏する。

令和7年度は、4ブロックのステージがつながりをもちながらも、各ブロックのステージ内容に個性が見られた。オープニングが1ブロック、エンディングはオーケス

トラ伴奏と3ブロックによる歌唱の形態を踏襲し、伝統と新しさ、それぞれのよさを感じられるステージとなった。

令和8年度はテーマを新たに「音楽でつむぐ 彩りあふれる世界」とし、それぞれのブロックがもつ色を意識した舞台とする。また、ブロックをオープニング担当とエンディング担当に分け、さまざまな彩りの充実を目指す。特にエンディングは吹奏楽伴奏と3ブロックによる歌唱で、新たな彩りを届ける「岡崎のハーモニー」としたい。

＜プログラム＞

- ・「岡崎讃歌」
- ・「夢 ふくらませ」
- ・北ブロック・東ブロック
- ・西ブロック・南ブロック
- ・吹奏楽ステージ
- ・エンディング



〈ブロックステージの様子〉

合同合唱と吹奏楽による「夢 受け継いで」「さようなら」

(5) 理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。児童生徒の出品作品は、冊子「理科の研究」としてまとめられる。平成11年度から優れた作品に対して木村資生科学賞が、平成18年度から自然科学研究機構から未来の科学者賞が授与されている。また、自然科学研究機構研究員による「自然科学研究機構コーナー」などを設置している。

令和2年度は、Webによる写真での作品公開を行い、令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度からは、再び岡崎中央総合公園武道館に移して開催している。

(6) 技術・家庭科作品展

昭和49年から続いている技術・家庭科作品展。岡崎市内の児童生徒のものづくり意欲の向上と市民の理解を深めるために、小学校の家庭科の授業やクラブ活動、中学校の技術・家庭科の授業や部活動等で製作した作品を展示する。

令和2年度は、12月18日から年度末まで、Webによる写真での公開とした。令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度より、中央総合公園にて、おかざきっ子展、理科作品展とともに同日開催としている。令和8年度も同日開催の予定である。

(7) 生徒市議会

昭和48年に生徒模擬市議会としてスタートし、昭和58年に生徒市議会へと名前を変えた生徒市議会は、岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う今年度で52回目を迎える行事である。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学

Ⅱ 学校教育

習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。同時に、市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会にもなっている。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となったが、翌令和4年度は、3年ぶりに開催することができた。そして、令和6年度は50回を迎え、記念誌「生徒市議会のあゆみ」を刊行した。



〈生徒市議会〉

(8) 造形おかざきっ子展

児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展も、本年度で第63回展を迎えようとしている。

令和元年度から展示会場を岡崎中央総合公園内とし、認定こども園・小中学校（附属3校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示している。令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、Web上での開催とした。

令和8年度（第63回展）のテーマは、「ようこそ！ワクワクみらいパークへ」である。岡崎の町をベースに、未来のテクノロジーや自然との共生を子供の自由な発想で表現できるアプローチを可能にした。



〈造形おかざきっ子展〉

家族や友達と一緒に、作品を直接鑑賞できる野外展のよさを再確認できる機会としたい。

(9) おかざきッズ プログラミング・フェスタ

令和の時代にふさわしい新しい学びの場を岡崎の子供たちに提供し、未来に向かって自己実現できる子供の育成を支援するという目的のもと、子供たちのプログラミングに対する興味や技能を高められるように、令和元年度より実施している。令和5年度より、岡崎市総合学習センターを会場として実施している。各ブースでは、授業での活動よりも一歩進んだプログラミング体験に取り組むことで、プログラミングに対する興味・関心を一層高める機会となった。また、企業等にも依頼して講師や教材を提供いただいたことで、普段は体験できないようなプログラミング活動も紹介することができた。

令和8年度も、総合学習センターにて実施する。引き続き、企業等に協力を依頼し、最先端のプログラミングを体験できる場として開催予定である。

16 教育関係表彰

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人又は団体の優れた業績及び現に続けている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人からの申請又は関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成 30 年度の応募状況は個人の部が 10 点、団体の部が 25 点あり、その中から個人の部で 1 点と団体の部で 2 点が表彰された。

なお、教育文化賞はこれまでに多くの個人・団体を顕彰してきたが、平成の終わりとともにその役割を果たしたと捉え、平成 30 年度をもって休止することとした。

17 総合学習センター

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、体育室などの施設がある。

また、教育相談センター分室「ハートピア上地」を設置している。

所在地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1 （電話：54-1115）		
開設	平成 23 年 8 月		
建築年度	昭和 57 年度（平成 22 年度・27 年度・令和 2 年度に部分改修）		
敷地面積	15,822.92 m ² （県有地を県から無償貸与）		
構造規模	延床面積	4,922.23 m ² （県から無償譲渡）	
	研修棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	
	多目的ホール棟	鉄骨造平家建	
	体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平家建	
駐車場	約 270 台		
利用時間	午前 9 時～午後 9 時		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		

■生涯学習部門

- ・多目的ホール（多目的ホール棟：定員 410 人）
- ・小ホール（研修棟 2 階：定員 120 人）
- ・体育室（体育館棟：アリーナ面積 701.76 m²）

※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 12 面



【利用状況（稼働率）】

	多目的 ホール	小ホール	体育室	平均
令和 5 年度	37.0%	24.8%	67.1%	48.2%
令和 6 年度	35.6%	25.8%	72.3%	50.0%
令和 7 年度	37.8%	26.0%	79.3%	53.9%

■教育研究部門（教育研究所）

(1) 施設内容

ア 研修棟 2 階

研修室 1（42 人） 研修室 2（72 人） 研修室 3（30 人） 研修室 4（30 人）
研修準備室（8 人）

イ 研修棟 3 階

I C T 室（36 人） 研修室 5（36 人）
リサーチセンター
教育図書室（相談室・視聴覚資料室を含む）
教育研究所事務室

(2) 業務内容

ア 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、中堅教諭等資質向上研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点

イ 教育研究

教育に関わる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究

ウ 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営に関わる問題に対して随時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

エ 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有効に活用するための体制を整える。

(3) 会場利用状況（令和 7 年度）

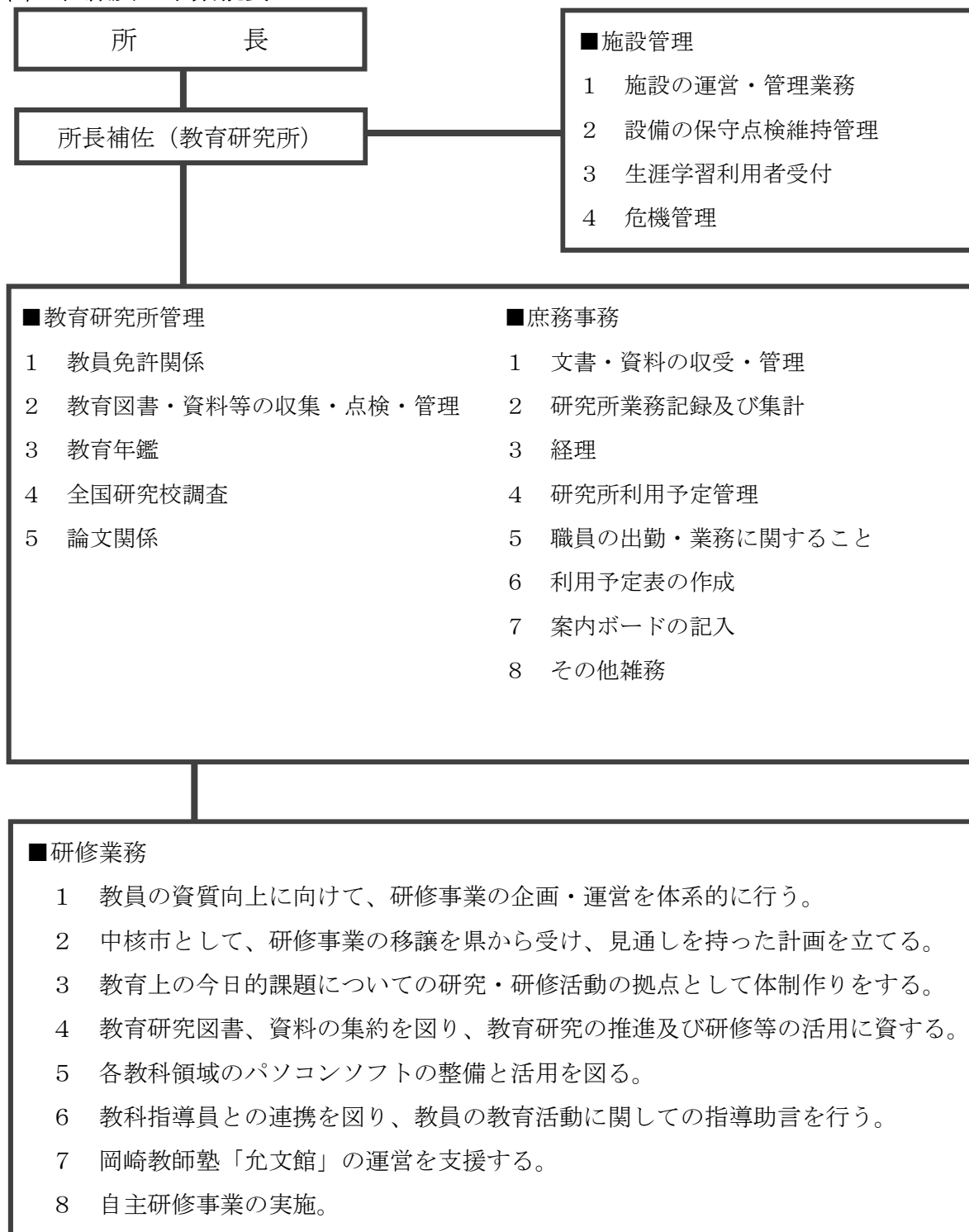
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1,113	1,095	1,509	1,317	1,250	912	858	1,323	696	1,306	1,516	788	13,683

(4) 教育資料利用状況（令和 7 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	266	375	345	481	248	259	191	196	213	221	256	185	3,236

Ⅱ 学校教育

(5) 組織及び事業概要



18 教育相談センター

教育研究所の相談部門と長期欠席児童生徒のための校外フリースクールであるハートピア岡崎が合併して、平成 22 年 1 月 4 日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して、将来の社会的自立を見据えて支援を行っている。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。平成 27 年 9 月には、これまでのハートピア岡崎を「ハートピア竜美」とし、新たに「ハートピア上地」を開所した。

所在地	岡崎市竜美北二丁目 6 番地 1	教育相談センター	電話	71-3201
		ハートピア竜美	電話	71-3207
	岡崎市上地三丁目 12 番地 1	ハートピア上地	電話	58-4831
電話予約 受付時間	月曜日～金曜日 午前 9 時から午後 4 時 30 分（新規、時間変更） 土曜日 午前 9 時から午後 12 時（時間変更のみ）			
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）			

(1) 業務内容

■「そよかぜ相談室」

ア 長期欠席に関する相談

- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
- ・ ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

イ 就学に関する相談

- ・ 就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
- ・ 在籍する子供の就学先に関する学校からの相談

※ その他、特別に教育支援の必要な子供に関する保護者・教師からの相談

ウ 特別支援教育に関する相談

- ・ 家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 児童生徒の指導に悩む教師からの相談

■「ハートピア岡崎（竜美・上地）」

ア 通所指導

- ・ 社会的自立支援や学校復帰支援
- ・ カウンセリング

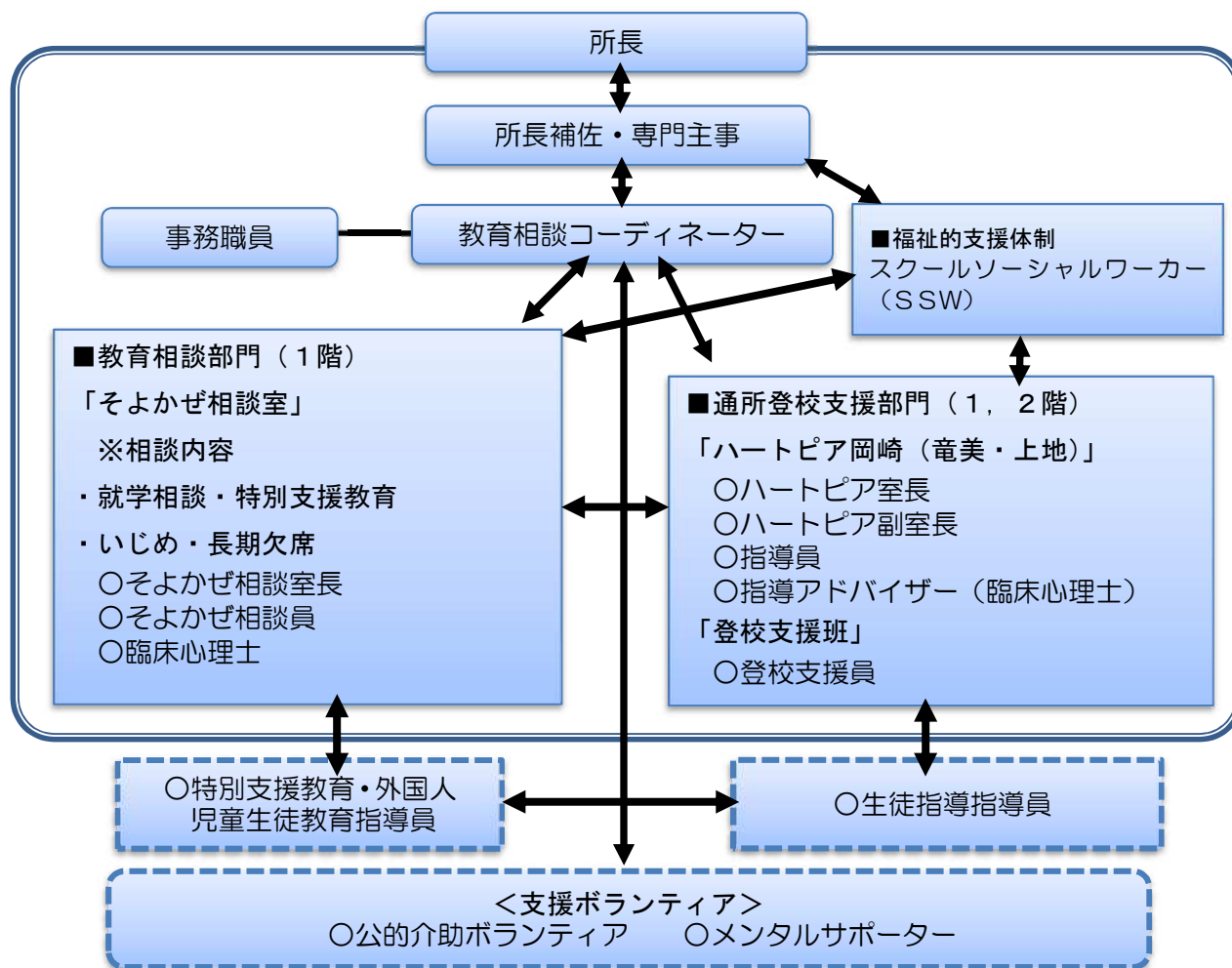
イ 登校相談支援活動

- ・ 学校を休みがちな児童生徒に対する相談と支援
- ・ 学校現場との連携を基にした登校支援活動



Ⅱ 学校教育

(2) 組織



(3) 教育相談の状況（令和７年度）

月	相談・支援状況										ハートピア利用状況			
	ハートピア指導員		臨床心理士		そよかぜ相談員		登校支援員		SSW		登録生徒	通所数	面談	見学
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
4	60	65	155	230	30	59	43	122	311	390	1	7	1	0
5	89	95	171	233	78	206	47	120	324	441	4	34	1	1
6	157	168	162	236	72	178	54	128	354	443	7	76	4	3
7	51	54	186	263	68	150	41	86	404	496	9	83	0	1
8	8	8	134	201	38	88	19	38	307	372	8	12	0	0
9	122	129	148	199	28	47	77	193	470	583	10	84	1	2
10	126	154	151	222	18	33	85	202	457	630	14	141	3	3
11	110	129	144	199	16	35	75	183	445	572	15	111	15	1
12	108	125	126	162	14	17	79	186	481	614	15	130	1	0
1	109	128	135	187	9	19	88	169	423	537	16	101	1	0
2	105	109	116	150	20	35	78	194	477	567	16	119	2	0
3	84	94	127	169	18	42	65	191	480	602	15	72	6	0
合計	1,129	1,258	1,755	2,451	409	909	751	1,812	4,933	6,247		970	35	11

19 学校給食

(1) 学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北 部	平成 19 年 4 月 1 日	11,691 m ²	5,391 m ²
東 部	平成 27 年 9 月 1 日	12,282 m ²	6,537 m ²
西 部	令和 7 年 1 月 1 日	9,639 m ²	5,032 m ²
南 部	昭和 57 年 4 月 1 日	4,604 m ²	2,021 m ²

(2) 学校給食センター関係職員

(令和 8 年 5 月 1 日現在)

	市		県	協 会							合計
	所長	所長代理	栄養教諭	事務局長	事務員	栄養士	汽かん員	業務職員Ⅰ	業務職員Ⅱ	用務員	
北部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	82	4	95
東部センター	1	1	3	1	12	2	0	1	102	4	127
西部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	2	0	1	89	4	101
南部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	1	53	3	64
計	1	1	12	1	18	6	2	5	323	15	387

※理事長は含まず。副理事長が事務局長と兼務。

(3) 年度別実施状況

年度	給 食 回 数			年 間 給 食 数			
	※こども園	小学校	中学校	※こども園	小学校	中学校	合 計
1	173	173	172	74,281	3,938,920	1,905,357	5,918,558
2	164	164	164	73,142	3,842,941	1,812,652	5,728,735
3	68	190	190	32,094	4,288,289	2,068,117	6,388,500
4	0	190	190	0	4,297,280	2,116,458	6,413,738
5	0	187	187	0	4,113,358	2,111,280	6,224,638
6	0	187	187	0	4,075,178	2,137,441	6,212,619
7	0	182	182	0	3,866,077	2,079,448	5,945,525

※令和元年度 3 月及び令和 2 年度 4～5 月は、新型コロナウイルス感染症により学校休業のため、実施回数等が減少している。

※こども園は令和 3 年 7 月で終了

Ⅱ 学校教育

(4) 年度別 1 日当たりの給食数

年度	※こども園	小学校	中学校	合計	年度	※こども園	小学校	中学校	合計
1	453	24,067	11,963	36,483	5	0	23,314	12,460	35,774
2	462	24,019	11,946	36,427	6	0	22,924	12,524	35,448
3	486	23,857	12,090	36,433	7	0	22,289	12,476	34,765
4	0	23,785	12,263	36,048					

(5) センター別給食実施状況（1 日当たり）

（令和 8 年 5 月 1 日現在）

センター名	区分	こども園	小学校	中学校	その他	合計
東 部	校 数	0	19	7	2	28
	学級数	0	246	118	18	382
	食 数	0	6,211	3,821	565	10,597
北 部	校 数	0	13	6	1	20
	学級数	0	204	94	2	300
	食 数	0	5,456	3,117	48	8,621
西 部	校 数	0	8	3	1	12
	学級数	0	177	74	1	252
	食 数	0	5,173	2,544	39	7,756
南 部	校 数	0	7	4	1	12
	学級数	0	159	72	1	232
	食 数	0	4,548	2,232	35	6,815
合 計	校 数	0	47	20	5	72
	学級数	0	786	358	22	1,166
	食 数	0	21,388	11,714	687	33,789

(6) リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食習慣の実践への意欲の高揚を図っている。募集対象校は 1 年で 19 校あり、各学校は、給食実施献立の中から料理を組み合わせ、1 食分の献立を応募する。採用された献立はリクエストランチとして、次年度の献立に反映させている。

令和 7 年度のリクエストでは、主食はごはんやパン、中華めん、白玉うどんが挙げられ、食缶のおかずは、豚骨ラーメンのつゆ、カレーシチュー等が多くみられた。フライバットのおかずは、いかフライやハムとチーズのはさみ揚げ等の揚げ物や、ハンバーグなど多く、保冷バットやタッパーのおかずはげんきサラダやフルーツゼリーミックス等に人気が集まった。

(7) 学校給食費における無償化の実施

市立小学校の児童においては、令和 8 年度から新設された国の「給食費負担軽減交付金」を活用し、令和 8 年度全期間無償化を実施する。市立中学校の生徒においては、

令和8年度も昨年度同様に、4月分および12月分の無償化を実施する。

(8) 食育授業の実施

児童生徒の食に関する指導及び管理を目的として、希望する小中学校に対し食育授業を実施している。令和7年度は小学校43校306クラス、中学校12校70クラスに実施した。特別活動や家庭科等の時間を通じて、「食べ物のはたらき」や「バランスの良い食事」、「箸の使い方」「朝食」等の授業を行い、児童生徒の食に関する総合的な思考力・判断力を養うことができた。

◀ MEMO ▶

Ⅲ 生涯学習

第 1 生涯学習

第 2 社会教育施設等

第 3 文化財

第 4 社会体育

第1 生涯学習

1 生涯学習事業

生涯学習市職員出前講座

市職員が講師として、市民で構成される団体が主催する集会等に出向き、市政の説明や職員の持つ専門的な知識・技術を提供することにより市民に多様な学習機会を提供するとともに、市民の市政に対する理解と協力を求め、市民と行政とが一体となってまちづくりへの参加意識の高揚を図ることを目的とする。

(令和7年度実績)

講座名称		出席回数	参加人員
まちづくり	一度使ってみませんか？～岡崎市の公共交通～	2	21
	男女共同参画及び多様な性の尊重に関する取組	2	46
	岡崎市の農業	2	40
	都市計画	1	25
	集落維持	2	36
	QURUWA 戦略による公民連携まちづくり	2	48
	景観の見方・楽しみ方	1	80
	岡崎市の歴史まちづくり	1	30
	狭あい道路	1	20
	これで解決！空き家の適正管理術	2	20
	小計 10 講座	16	366
市民生活・ 環境・自然	ペットの災害対策（ペット同伴不可・講義のみ）	1	15
	動物園と一緒に学ぶ命の大切さ	3	175
	誰が守る？生物多様性	2	68
	わたしたちと水	3	57
	カーボンニュートラル	2	43
	資源のゆくえ	2	59
	資源とごみの出し方①ーごみの分別再確認ー	2	30
	資源とごみの出し方② ーもう一工夫 目指せごみゼロー	2	265
	【小学生対象】おかざきの森	4	158
	みんなで考える雨水対策と河川愛護活動	1	80
	上下水道あれこれ	2	38
	わたしのくらしと下水道	2	152
	小計 12 講座	26	1,140

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講 座 名 称		出席回数	参加人員
交流・地域	親善都市・ゆかりのまち	1	5
	多文化共生	3	520
	岡崎市の観光	2	50
	小計 3 講座	6	575
福祉 ・ 健康	岡崎市災害時避難行動要支援者支援制度	2	110
	つながる地域づくり	3	68
	終活のすすめ ～スゴロクで第二の人生を考えよう～	13	281
	成年後見制度	1	10
	障害者総合支援法	4	88
	ヘルプマークを知っていますか？	2	112
	障がいについて知ろう	4	185
	高齢者在宅福祉サービス	2	38
	高齢者虐待の防止	1	15
	「認知症サポーター」養成講座	3	74
	【高齢者対象】認知症を予防しよう	6	110
	【高齢者対象】健康長寿を目指そう	29	837
	【高齢者対象】介護予防体操	4	77
	フレイルについて知ろう	9	304
	介護保険制度	4	129
	【概ね 20～60 歳代対象】 働き盛りのかたのメタボ予防	1	13
	はやね・はやおき・あさごはん～子ども向け～	12	659
	「食育」って何だろう？	3	118
	食中毒予防	6	101
	食中毒予防（啓発ソング）	8	338
	食品表示	2	62
	食品の安全・安心	2	49
	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	1	81
	感染症を予防しよう	13	232
	健康づくりと栄養・食生活	5	118
	健康づくりと栄養・食生活～乳幼児～	1	20
	歯と口の健康づくり	13	1, 147
	災害時の歯と口の健康づくり	3	68
	【幼児・小中高生対象】生と性の健康教育	16	2, 265

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	たばこについて知ろう	2	188
	【小学生から保護者対象】 子どもたちに知ってほしいがん予防	2	70
	【事業所等対象】 メンタルヘルス講座（セルフケア・ラインケア）	6	250
	災害時のメンタルヘルス	3	46
	こころの病気について知ろう	3	44
	みんなが誰でもゲートキーパー	1	74
	【小中学生対象】 気づいて よりそい つながるいのち	1	1,150
	【高校生・大学生対象】こころのトリセツ	2	825
	発達障がいを抱える子どもについて考える	1	74
	上手な医療のかかり方 ～岡崎市民病院の役割とかかりつけ医～	1	28
	がん基礎知識 もしもがんになったら…	4	63
	認知症予防運動コグニサイズ	4	70
	元気な心臓でいるために	1	18
	こんな感染症には気を付けましょう	5	113
	糖尿病を予防して「ぴんぴんころり」	1	29
	糖尿病の運動	3	74
	「糖尿病の気がある」言われたら	2	38
	あなたの腎臓大丈夫？	1	38
	一緒に考えよう！人生最後の過ごし方	3	61
	心臓病の基礎知識	2	53
	助産師が行う命の教育	1	13
	小計 50 講座	222	11,028

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講 座 名 称		出席回数	参加人員
教育・文化	ニュースポーツの紹介	4	180
	人生が豊かになる学び～生涯学習ってなに？～	1	24
	多様な読書の提案	2	64
	矢作川流域の歴史と文化（原始・古代）	1	7
	矢作川流域の歴史と文化（近世）	1	9
	アートと福祉を考える	2	35
	美博の美術コレクション	1	33
	三河の秋葉信仰	2	40
	中世の山中郷	2	33
	岡崎城	2	70
	岡崎の文化財	4	251
	情報モラル・セキュリティ講座	7	234
	小計 12 講座	29	980
防災・安全	防犯講座	19	470
	消費者トラブル未然防止講座	11	389
	【福祉関係者などの地域の見守り者対象】 消費者トラブル未然防止講座～見守り編～	4	80
	交通安全教室	26	850
	防災・減災講座～巨大地震・風水害への備え～	43	3,194
	避難所の運営を考えよう ～運営方針と避難者への配慮～	13	671
	避難所運営ゲーム（HUG）	10	276
	ファーストミッションボックスを知ろう	8	436
	災害リスクに備える！地震に負けない家づくり	1	20
	災害と水道・下水道	7	262
	初期消火訓練	17	813
	消防車両の見学	13	334
	小計 12 講座	172	7,795
	合 計 99 講座	471	21,884

2 家庭教育事業

(1) わいわい子育て講座

岡崎子育てネットワークの会と共催で、市民センター 4 館において子育て講座（各 1 講座 2 回）を開催した。

（令和 7 年度実績）

場所	回数	日 時	講師名（所属）	演 題	参加人数
中央市民センター	第 1 回	9 月 5 日（金） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	伊藤 典子 人形劇団 ひよっこ	人形劇を楽しもう	保護者 18 幼児 21 合計 39
	第 2 回	10 月 3 日（金） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	西村 えみ 言語聴覚士	ことばの先生の あそびやさん	保護者 17 幼児 19 合計 36
岩津市民センター	第 1 回	9 月 9 日（火） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	望月 貴子 （公社）日本 3B 体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 33 幼児 35 合計 68
	第 2 回	10 月 14 日（火） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	青山 尚子 音楽教室講師	楽しいリトミック	保護者 26 幼児 30 合計 56
大平市民センター	第 1 回	9 月 10 日（水） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	安藤 千枝 劇団 チャチャチャ	親子で楽しむ 劇団チャチャチャ	保護者 25 幼児 28 合計 53
	第 2 回	10 月 8 日（水） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	志村 貴子 子育てネットワーク	親子ふれあい遊び	保護者 21 幼児 24 合計 45
南部市民センター分館	第 1 回	9 月 11 日（木） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	山根 美貴 はっぴーdo ファミリー	子どもの事故と 親子遊び	保護者 14 幼児 16 合計 30
	第 2 回	10 月 9 日（木） 午前 10 時 30 分～11 時 45 分	市川 水青 愛知県健康づくりリーダー	親子ふれあい遊び	保護者 13 幼児 26 合計 29

第2 社会教育施設等

1 市民センター

本市における生涯学習拠点施設として、8つの市民センターが設置されている。

市民センターでは、学びのきっかけとなる教養・趣味等の入門講座である「市民センター講座」が実施されている。さらに、市民自らが団体をつくり、講師を招いて行う「自主講座」も多く実施されている。また、南部（分館）を除く7つの市民センターに設置されている地域図書室では、図書の貸出及び返却ができるほか、時季に応じた企画展示も行っており、市民が気軽に学ぶことができる生涯学習の地域拠点となっている。

施設概要

名称	所在地	敷地面積	延床面積	電話番号	開設年月日
中央	上六名三丁目3番地7	2,636 m ²	1,176 m ²	55-8066	平成3年4月23日
南部	羽根二丁目2番地2 岡崎市シビックセンター内	5,657 m ²	7,891 m ²	51-1579	平成14年4月22日
南部 (分館)	羽根西新町5番地3	3,815 m ²	1,182 m ²	53-7831	昭和56年4月20日
大平	大平町字皿田6番地	3,984 m ²	1,135 m ²	22-0162	昭和55年4月28日
東部	山綱町字天神2番地9	3,341 m ²	1,181 m ²	48-2922	昭和54年4月16日
岩津	岩津町字檀ノ上26番地2	4,705 m ²	1,142 m ²	45-2512	昭和52年4月25日
矢作	宇頭町字小薮80番地1	5,162 m ²	1,121 m ²	31-3202	昭和53年4月24日
六ツ美	下青野町字天神64番地	1,531 m ²	1,110 m ²	43-2510	昭和51年4月26日

2 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、社会教育と学校教育における視聴覚・情報教育の推進を目的に昭和29年設立された。それから令和の今日まで、教材センターとして、また研修センターとして、中心的教育施設であることが求められ、その役割を果たしてきた。現在、教材・教具（機材）の貸出しを中心に、映像・情報に関する様々な教育サービスの提供を行っており、幼稚園、保育園、小中学校、庁内各部署をはじめ、青少年団体、高齢者団体、法人事業所等幅広く積極的に利用されている。

教材については、16ミリフィルムからDVDまで約5千2百点の作品を収蔵し、社会教育・学校教育合わせて年間約10万2千人に視聴されている。

教具（機材）については、プロジェクター、ビデオカメラ、スクリーン、DVDプレーヤー等、様々な視聴覚機器を保有し、それらを独自に保有することが難しい公共・民間各種団体を対象に貸出を行っている。貸出数は、年間2～3千点にのぼる。

研修センターとしては、「動画編集サポート」「情報モラル出前講座」などの各種研修・講座を、年間を通じて行っている。うち「情報モラル出前講座」は、情報化社会の中で、年代を問わず講座の申込がある。講座内容は、希望団体に合わせて行っているが、SNSでの人間関係のトラブル問題、メール等によるフィッシング詐欺等、便利になってきた情報ツールが新たな問題を起こしていることに対して、どう関わっていくのが良いのかを、講座を通じて情報提供している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市菅生町1丁目3番地1（岡崎市役所西庁舎南棟2階） 電話 23-6789 FAX 23-6794
業務時間	午前9時～午後5時（木曜日は、午後7時まで）
休業日	土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 主な事業

ア ふるさと岡崎メディアコンクール

生涯学習・学校教育・児童生徒の3部門でビデオ・デジタルコンテンツ教材を募集している。優良賞以上の作品は教材として貸出し、又は配信に供することで学校教育及び生涯学習における活用を行っている。

イ ビデオ編集サポート

平成16年1月から、ライブラリー所有のノンリニア編集機を用いて、市民を対象に動画や音声編集の支援を随時実施している。

ウ 親子映画会

例年7～8月に、市内市民センターと額田センターで出前映画会を行っている。昔ながらの16ミリフィルム映画の視聴を通じて、子供たちの感性を育み、親子のふれあいを深める場を提供するとともに、家庭教育の推進に努めている。

(3) 貸出教材視聴者数

年度	区 分	視聴者数 合計 (人)	割合	内 訳 (人)		
				DVD	VHS	16ミリ・その他
3	学校教育	34,457	81.1%	31,661	1,064	1,732
	社会教育	8,017	18.9%	7,681	126	210
	計	42,474	100.0%	39,342	1,190	1,942
4	学校教育	137,545	90.0%	136,999	28	518
	社会教育	15,261	10.0%	12,771	468	2,022
	計	152,806	100.0%	149,770	496	2,540
5	学校教育	15,969	46.2%	15,969	0	0
	社会教育	18,567	53.8%	15,512	115	2,940
	計	34,536	100.0%	31,481	115	2,940
6	学校教育	21,887	60.0%	21,540	2	345
	社会教育	14,556	40.0%	11,413	270	2,873
	計	36,443	100.0%	32,953	272	3,218
7	学校教育	75,086	73.5%	75,086	0	0
	社会教育	27,069	26.5%	16,105	350	10,614
	計	102,155	100.0%	91,191	350	10,614

(4) 貸出教具（機材）点数

年度	区 分	貸出点数 合計 (点)	割合	内 訳 (点)		
				プロジェクター	プレーヤー	その他
3	学校教育	513	21.7%	42	1	470
	社会教育	1,854	78.3%	353	74	1,429
	計	2,367	100.0%	395	75	1,899
4	学校教育	551	18.3%	44	2	505
	社会教育	2,455	81.7%	498	83	1,874
	計	3,006	100.0%	542	85	2,379
5	学校教育	451	19.4%	30	2	419
	社会教育	1,878	80.6%	382	99	1,397
	計	2,329	100.0%	412	101	1,816
6	学校教育	434	17.6%	38	2	394
	社会教育	2,031	82.4%	419	90	1,522
	計	2,465	100.0%	457	92	1,916
7	学校教育	280	13.3%	19	1	260
	社会教育	1,826	86.7%	363	63	1,400
	計	2,106	100.0%	382	64	1,660

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

(5) 親子映画会参加者数

年度	参加者数（人）
4	294
5	585
6	615
7	343

※令和4年度は募集人数を会場定員の半分に設定
令和7年度から冬にも親子映画会を上映開始



〈16ミリフィルム映写機〉

(6) 教材・教具（機材）保有状況

（令和8年4月1日現在）

教 材	保有数	機 材	保有数
購入映像作品（DVD）	1,197	プロジェクター	18
購入映像作品（VHS）	1,838	〃（教材提示装置付）	1
寄贈映像作品（DVD）	211	ビデオカメラ	26
寄贈映像作品（VHS）	453	DVDプレーヤー	8
寄贈（CD-ROM）	62	VTR（VHS+DVD再生機含む）	3
自作映像作品	299	ワイヤレスアンプ	7
自作デジタルコンテンツ	35	ワイヤレス・有線マイク	8
16ミリ映画（資料映画含）	794	パソコン（MacBook）	7
スライド（組）	13	ビデオ編集システム	1
録音教材	97	ノンリニア編集機（ビデオ編集用ノートPC）	19
コンパクトディスク	204	デジタルハイビジョン 配信システム	1
		レコードプレーヤー	1
		16ミリフィルム映写機	8
		モニターテレビ	10
		スライド映写機	2
		OHP	2
		テープレコーダー（ラジカセ）	2
		暗 幕	8
		スクリーン	14
		フィルム巻取機	1
		フィルム接合機	1
		フィルム検査機	1

〈所蔵するDVD教材〉

3 図書館交流プラザ 愛称:Libra(りぶら)

「岡崎市図書館交流プラザ」は、図書館を核とした「楽・習・交流」を育む魅力ある生涯学習拠点の形成をメインテーマに、市民の知的・文化的ニーズへの対応による自己実現と自主的な活動及び岡崎らしさの発信により、多様な交流機会を創出することを目的として、平成20年11月1日に開館した。

約100万冊の収蔵能力を持つ中央図書館を始め生涯学習・市民活動・国際交流・男女共同参画の各センター機能を統合した市民活動総合支援センター、ホール、スタジオ、ジャズコレクション展示室、歴史資料展示室など、従来の図書館という枠を超えて幅広い分野にまたがり、知的交流を楽しむ施設となっている。

また、施設の設計や運営計画の検討に当たっては、平成16・17年度の2年間にわたる設計段階における市民検討ワークショップやその後のサポーター支援会議に寄せられた、市民の願いが生かされている。

開館後も、ワークショップ等に参加した市民が中心となって、りぶらサポータークラブを設立し、市民主導の生涯学習活動を支えるサポーターとして活躍している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地	
事業年度	平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18～19年度 本体工事 平成19～20年度 外構工事	
開館日	平成20年11月1日(土)	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	約18,000㎡(屋内駐車場除く)	
主要施設	中央図書館、市民活動総合支援センター(市民活動センター、国際交流センター)、岡崎むかし館(歴史資料展示室)、内田修ジャズコレクション展示室、ホール(可動席最大292席)、スタジオ(大1、中2、小3計6室)会議室6室、和室、創作室、調理室	
駐車場	約450台	
利用時間	午前9時～午後9時	
休館日	水曜日(祝日に当たる場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

(2) 生涯学習

生涯学習活動支援のため、情報提供・相談人材育成などを行う。

- ア 生涯学習相談
- イ 生涯学習情報の収集・提供
- ウ 生涯学習成果の発表・交流
- エ 生涯学習関係講座

(3) 市民活動

自主的な市民活動を応援し、団体の交流促進と市民活動の活性化を進める。

- ア 市民活動に関する相談
- イ 市民活動情報発信
- ウ 活動場所や印刷機器の利用提供
- エ ボランティア活動の相談

(4) 国際交流

外国人と日本人の相互国際理解を促進するセミナー・講座・ボランティア事業を開催することにより、外国人と日本人との市民交流を推進する。

- ア 言語スタッフによる生活・手続き等の各種市民相談
- イ 多言語情報の提供
- ウ 国際理解セミナーの開催
- エ ボランティア事業補助

(5) 男女共同参画

男女共同参画推進のため、意識啓発・交流・相談・活動支援などを行う。

- ア 弁護士による女性のための法律相談
- イ 相談員による配偶者等からの暴力に関する相談及び女性相談
- ウ 男女共同参画関係講座
- エ 女性活躍推進関係講座
- オ 男女共同参画意識啓発

4 中央図書館

中央図書館は、戦災で焼失してから移転を重ね、昭和46年に明大寺町に設置された。以来30年以上にわたり市民に親しまれてきたが、時代の新しいニーズに対応するため、康生地区の再活性化拠点として建設された生涯学習複合施設「岡崎市図書館交流プラザ」の核として、平成20年11月移転リニューアルした。施設の大規模化、ＩＣタグによる自動貸出や自動出納書庫の導入のほか、ブックスタートの実施、ティーンズコーナー設置、ビジネス支援などサービス向上に努めている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地（岡崎市図書館交流プラザ内）
電話	23-3111
構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造3階建
延床面積	7,895 m ² （建物全体約18,000 m ² 、屋内駐車場除く）
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館）、特別整理休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	1階 レファレンスライブラリー 地域資料・参考図書・分類別一般図書、専門雑誌コーナー、レファレンスカウンター、閲覧席（198席）、インターネット席（6席）、データベース席（6席）、持込パソコン利用席（18席）、研究個室（5席）、グループ室（1室）
	2階 ポピュラーライブラリー テーマ別一般図書、視聴覚資料・視聴覚ブース、点字図書・録音資料、新聞雑誌コーナー、ティーンズコーナー、ティーンズルーム、外国語資料コーナー、グループ室（2室）、対面朗読室（2室）、閲覧席（430席）
	2階 子ども図書室 児童書、絵本、紙芝居、閲覧席（80席）、インターネット席（1席）、おはなしのへや、授乳室



Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

(2) 蔵書状況

(令和8年3月31日現在)

区分		令和6年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和7年度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	515,056	10,330	1,020	16,140	-4,687	103	510,369
	大活字	3,418	151	28	373	-172	22	3,246
	洋書	5,253	40	1	371	-331	-1	4,922
	小計	523,727	10,521	1,049	16,884	-5,190	124	518,537
児童書	児童書	46,287	1,764	105	3,614	693	2,438	46,980
	絵本	28,214	1,288	223	2,145	-148	486	28,066
	紙芝居	2,118	83	1	462	-370	8	1,748
	小計	76,619	3,135	329	6,221	175	2,932	76,794
ティーンズ資料		8,763	717	33	1,210	-44	416	8,719
参考図書		28,127	262	22	199	188	103	28,315
郷土資料		89,387	163	632	17	764	-14	90,151
視覚障がい用	点字	1,611	11	3	0	18	4	1,629
	録音図書	5,508	29	107	11	137	12	5,645
	小計	7,119	40	110	11	155	16	7,274
視聴覚資料	ビデオテープ	1,413	0	0	1,402	-1,406	-4	7
	DVD	6,215	27	1	79	-43	8	6,172
	CD	9,562	29	438	17	478	28	10,040
	CD-ROM	40	0	0	115	-33	82	7
	AV他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	17,230	56	439	1,613	-1,004	114	16,226
中央図書館 合計		750,972	14,894	2,614	26,155	-4,956	3,691	746,016
児童読書活動支援		51,035	483	34	19,155	-22,526	-3,888	28,509
地域図書室		117,712	3,240	234	8,961	-5,502	-15	112,210

(3) 貸出状況

ア 貸出人数

(令和7年度実績)

月	中央図書館 開館日数	一般(団体、郵送貸出含む)	児童読書活動支援	児童	計	地域図書室	合計
4	25	21,882	6	4,480	26,368	12,376	38,744
5	27	23,845	39	4,786	28,670	12,368	41,038
6	26	22,925	17	5,039	27,981	11,933	39,914
7	26	23,297	14	6,219	29,530	13,249	42,779
8	26	24,270	17	6,646	30,933	12,650	43,583

9	26	23,047	32	4,948	28,027	11,642	39,669
10	26	22,755	22	4,881	27,658	10,282	37,940
11	26	22,381	23	4,971	27,375	9,841	37,216
12	24	20,705	11	4,262	24,978	9,272	34,250
1	17	18,480	28	3,865	22,373	10,506	32,879
2	25	21,168	4	4,500	25,672	11,417	37,089
3	27	22,511	0	4,962	27,473	11,936	39,409
計	301	267,266	213	59,559	327,038	137,472	464,510

イ 貸出冊数

(令和7年度実績)

月	入館者数	一般書	児童書 (児童読書活動支援含む)	計	地域図書室	合計
4	73,045	71,916	36,438	108,354	44,803	153,157
5	85,491	77,595	40,367	117,962	44,283	162,245
6	87,267	73,654	42,254	115,908	42,427	158,335
7	93,612	74,549	47,124	121,673	48,096	169,769
8	102,548	79,406	48,865	128,271	45,183	173,454
9	86,766	73,812	41,728	115,540	41,378	156,918
10	83,240	72,856	41,628	114,484	32,145	146,629
11	86,543	71,584	42,051	113,635	31,356	144,991
12	71,185	69,976	35,900	105,876	31,331	137,207
1	63,791	62,480	33,367	95,847	37,944	133,791
2	79,123	69,447	37,496	106,943	39,736	146,679
3	75,481	72,617	39,408	112,025	42,020	154,045
計	988,092	869,892	486,626	1,356,518	480,702	1,837,220

※ 団体貸出を含む。

(4) 地域図書室

南部・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美・中央の各市民センター、岡崎げんき館

(5) 物流システムによる図書館、地域図書室の連携

図書館及び地域図書室で借りた図書資料は、いずれの施設窓口でも返却できる。また、図書資料の貸出予約をする際には、利用者は受け取る施設窓口を指定することができる。

(6) 児童読書活動支援

児童の読書活動の推進を目的とし、各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援するため、市内小学校等を対象に平成25年度から実施している。実施内容としては、各校の申込みに応じて教科・単元の資料を配送している。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

(7) 額田図書館

額田図書館は、額田町立図書館として昭和 52 年 3 月に開館した。平成 7 年 3 月に増築し、開架室、閲覧室、子ども図書室、新聞・雑誌コーナー等を備えた施設となった。平成 18 年 1 月、岡崎市と額田町の合併により岡崎市立額田図書館に名称変更し、同年 10 月には中央図書館とシステム統合をした。平成 27 年 10 月から本館に続いてブックスタートの定期開催を行う。平成 30 年 2 月、額田支所周辺施設整備基本計画によって、額田支所や額田会館などの機能を集約した複合施設である額田センター（こもれびかん）内へ移設するにともない、施設規模は縮小となった。書架や閲覧机は地元産材の木材を使用している。地域に根ざした図書館サービスの提供を行っている。

ア 施設概要

所在地	岡崎市榑山町字山ノ神 21 番地 1（岡崎市額田センター内）
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建・一部木造平屋建
延床面積	216 m ² （建物全体 1,976 m ² ）
開館時間	午前 9 時～午後 7 時
休館日	月曜日（祝日に当たる場合は開館し、翌日以後の最初の休日でない日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
施設内容	一般図書、児童図書、地域資料、参考図書、新聞雑誌コーナー、おはなしコーナー、閲覧席（一般 15 席、児童 6 席）

イ 蔵書状況

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

区分		令和 6 年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和 7 年度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	12,195	693	62	559	26	-170	12,221
	大活字	54	0	0	0	0	0	54
	洋書	0	0	0	0	0	0	0
	小計	12,249	693	62	559	26	-170	12,275
児童書	児童書	4,307	152	12	894	-105	625	4,202
	絵本	4,291	234	15	302	-18	35	4,273
	紙芝居	553	7	0	0	6	-1	559
	小計	9,151	393	27	1,196	-117	659	9,034
ティーンズ資料		0	0	0	0	0	0	0
参考図書		204	0	0	4	-5	-1	199
郷土資料		856	2	42	29	-14	-1	870
合計		22,460	1,088	131	1,788	-82	487	22,378

ウ 貸出状況

■ 貸出人数

(令和7年度実績)

月	開館日数	一般（団体貸出 含む）	児童	計
4	26	763	151	914
5	27	791	169	960
6	25	724	177	901
7	27	835	249	1,084
8	27	839	254	1,093
9	25	702	128	830
10	27	774	155	929
11	26	740	142	882
12	24	655	136	791
1	23	669	136	805
2	24	768	152	920
3	26	709	154	863
計	307	8,969	2,003	10,972

■ 貸出冊数

(令和7年度実績)

月	一般書	児童書	計
4	2,107	1,641	3,748
5	2,183	1,777	3,960
6	1,951	1,603	3,554
7	2,139	2,197	4,336
8	2,227	2,322	4,549
9	1,756	1,338	3,094
10	1,969	1,498	3,467
11	1,763	1,709	3,472
12	1,804	1,407	3,211
1	1,737	1,440	3,177
2	1,940	1,732	3,672
3	1,983	1,370	3,353
計	23,559	20,034	43,593

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

(8) 図書館開催講座等

図書館では、館内で活動するボランティアの育成を図るとともに、市民の文化・教養を深める手助けをし、さらに読書意欲の向上を促すために各種講座等を開催している。

ア 中央図書館

(令和7年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
古文書翻刻ボランティア	館内地域資料の古写本について、利用者の利便性向上を図るため翻刻を行う。	12	毎月第3月曜日
ブックスタートボランティア養成講座	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。	3	5、6月
読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。	5	9、10、11月
おはなし会	ボランティアによるおはなし会。年3回（春・夏・冬）テーマのおはなし会実施 午前10時30分から10時50分／ 11時から11時20分（火・木曜日） 午後2時30分から3時（土曜日）	144	毎週火曜日 木曜日 土曜日
おはなしと紙しばいの会	図書館スタッフによるおはなし会。年2回（春・冬）テーマのおはなし会実施 午後4時から4時30分	101	毎週月曜日 木曜日
ストーリーテリングにおいてよ！	絵本を使わずにお話をする、ボランティアによるおはなし会。年3回（春・夏・冬）テーマのおはなし会実施 午前11時から11時30分	7	偶数月 第4土曜日
絵本作家 高畠那生さんワークショップ	「ワークショップ 絵本のだるまをつくっちゃおう！」ワークショップと読み聞かせ	1	7月
絵本作家 とよたかずひこさん講演会	「ももんちゃんとあそぼう in おかざき～絵本と紙芝居の世界を親子で楽しみましょう！～」講話と読み聞かせ	1	11月
絵本館編集長 有川裕俊さん講演会	「子どもが本好きになるには・・・」講話	1	1月
子ども図書館司書体験	図書館司書となって、図書館の仕事を体験する。	5	4、8月
夏休み読書・自由研究相談	読書や自由研究調べの相談に応じる。	4	7、8月

第23回岡崎図書館まつり	おはなし会やワークショップ、マンドリンコンサートなど、様々なイベントを行う。	9	7月
ハロウィンイベント	ハロウィンをテーマとしたおはなし会と館内装飾の実施	1	10月
手話と声のおはなし会	ネイティブ・サイナー（手話を母語とするかた）と職員による手話と声のおはなし会	2	4、12月
ティーンズビブリオバトルin りぶら	市内高校生・短大生のバトラーたちが紹介する図書の中から観客が読んでみたいと思った一冊を選び、「チャンプ本」を決める書評合戦	1	12月
市民病院連携展示関連「命をつなぐ現場～救急救命の現場で市民を守るチーム医療～」	「命をつなぐ現場～救急救命の現場で市民を守るチーム医療～」各医療職からの講話とAEDの実演	1	2月
岡崎むかし館 季節のおはなし会	図書館職員によるおはなし会。岡崎むかし館でいつもと違う雰囲気の中で季節のイベントにあわせた読み聞かせをする。	6	5、7、10、 12、2、3月
法律セミナー 「やさしい相続税・生前贈与」	税理士による法律解説と有料データベース「TKCローライブラリー」の活用セミナー	1	10月
図書館活用セミナー 「岡崎城と徳川家康公」	岡崎城の地理と歴史や近年の発掘調査の成果についての解説。図書館「家康文庫」の紹介及び家康文庫出張展示ワゴンでの図書資料の展示。	1	8月
図書館活用セミナー 「終活のすすめ」	岡崎シニアゴールデンゲームの実施と終活ノートの書き方の説明。 図書館「健康情報コーナー」「医療情報コーナー」の紹介及び図書リストの配布。	1	2月

イ 額田図書館

(令和7年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
おはなし会	図書館スタッフによるおはなし会 午前10時30分から11時（土曜日） 午後4時から4時30分（金曜日）	24	毎月第2土曜日 第3金曜日

5 美術館

岡崎市美術館は、美術文化の振興を目的として昭和47年8月に開館した。以来、市民の美術・文化活動の発表・鑑賞の場として、年間約110の美術団体等に利用されている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市明大寺町字茶園11番地3（電話 51-4280）		
構造	本館：鉄筋コンクリート造2階建（延床面積 1,802.53㎡） 東館：鉄筋コンクリート造3階建（延床面積 2,580.29㎡）		
施設内容	本館	1階	展示室2・収蔵庫・事務室・ロビー・常設展示室・荷解室等
		2階	展示室2・収蔵庫2・ロビー・荷解室等
	東館	1階	展示室2・ロビー・デッサンスペース・休憩スペース・控室等
		2階	岡崎アートヴィレッジ（アトライブラリー・ラーニングスペース A.B・岡崎アーティストアーカイブ等）
		3階	資料室等
開館時間	午前10時～午後5時 （入場時間は午後4時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）		

(2) 令和7年度展示室利用状況

	利用状況							計	展示 延日数 (日)	入場者 延人数 (人)	各催事 1日平均 入場者数 (人)
	市 等 主 催	総 合	絵 画	書 道	写 真	工 芸	そ の 他				
令和7年4月	0	0	4	0	1	1	0	6	31.0	3,737	120.5
5月	0	2	3	1	2	1	0	9	44.0	4,260	96.8
6月	0	5	2	0	2	2	0	11	56.0	6,181	110.4
7月	0	1	2	3	0	1	0	7	34.0	3,270	96.2
8月	1	1	0	1	0	1	0	4	36.0	2,598	72.2
9月	0	2	3	1	2	2	0	10	54.0	4,436	82.1
10月	2	1	3	1	3	0	0	10	56.5	8,673	153.5
11月	0	3	7	2	2	1	0	15	75.5	6,809	90.2
12月	0	2	3	0	1	1	0	7	32.5	1,801	55.4
令和8年1月	2	3	0	2	3	0	0	10	46.0	11,165	242.7
2月	1	2	1	2	0	0	0	6	34.5	2,873	83.3
3月	1	0	4	4	2	2	0	13	60.0	7,183	119.7
計	7	22	32	17	18	12	0	108	560.0	62,986	112.5

6 美術博物館

岡崎中央総合公園の一角に位置する美術博物館は、平成8年7月6日の開館以来、美術をはじめ歴史・民俗など幅広いテーマを視野に入れた展覧会を年間5本程度開催している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内（電話 28-5000）	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	6,468 m ²	
施設内容	地下1階	特別収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、くん蒸室、工作室、スタジオ、作業室
	1階	展示室、セミナールーム、学芸員室、会議室
	2階	レストラン、ミュージアムショップ
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	
休館日	月曜日（祝日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日） 年末年始（12月28日～1月3日）	

(2) 令和7年度展覧会

改修工事のため休館。

7 少年自然の家

少年が、自然の中での集団生活（宿泊を伴うものを含む）、集団活動等を通して、情操や社会性を豊かにするとともに心身を鍛錬し、健全な少年の育成を図ることを目的とする。

(1) 施設概要

所在地 岡崎市須淵町字屋名平 44 番地 1 （電話 47-2357）

施設 敷地面積 211,200.26 m²

名 称	構 造 等	延床面積	収容人数
管 理 棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	990 m ²	
宿 泊 棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,087 m ²	208 人
体 育 館	鉄骨造 2 階建	649 m ²	250 人
創 作 棟	鉄筋コンクリート造木造平屋建	273 m ²	96 人
毛 布 小 屋	軽量鉄骨造 2 階建て	65 m ²	
天 体 観 測 所	鉄筋コンクリート造 2 階建	56 m ²	
丸 太 小 屋	8 棟	187 m ²	100 人
管 理 小 屋	1 棟	36 m ²	10 人
炊 事 場	3 か所	83 m ²	
そ の 他 建 物	倉庫、トイレ等	226 m ²	
キ ャ ン プ 場	2 か所		250 人
炊 飯 場	3 か所	83 m ²	
雨天ファイヤー場	1 か所		60 人
落 葉 ス キ ー 場	2 コース		
遊 戯 施 設	9 基		
カ ヌ ー 場	15 艇		
そ の 他	オリエンテーリングコース（28 ポイント）、ハイキングコース、広場、旗掲揚塔、火文字塔、遊歩道、避雷針等		

(3) 宿泊施設利用状況

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

	2 年度		3 年度		4 年度		5 年度		6 年度		7 年度	
	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
小 学 校	39	3,394	48	4,249	47	7,819	49	7,958	50	7,885	47	7,772
中 学 校	1	31	3	93	2	226	3	511	1	171	3	323
少年団体	10	365	9	427	12	497	8	563	13	1,081	12	753
一 般	15	363	19	697	36	2,057	42	2759	37	1,717	43	2,590
合 計	65	4,153	79	5,466	97	10,599	102	11,791	101	10,854	105	11,438

8 子ども・若者総合相談センター

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。

(1) 施設概要

岡崎市十王町二丁目9番地（福社会館内） 電話 64-6665
分室：岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内）

(2) 相談員 計11人

(3) 主な取り組み

ア 一般相談

社会生活を営む上での困難を抱えている子ども・若者（39歳以下）に関する悩みについて、本人や家族から相談を受け、支援先となる窓口や制度を案内するなど解決策を提案する。

イ 専門相談

一般相談において継続的な相談が必要と認められた方に対し予約制で実施。豊富な知識や経験を有する相談員がカウンセリングを行い、支援計画を作成した上で、継続的に助言や指導を行う。

ウ アウトリーチ

センターへの来所が困難と認められた方に対し、相談員が自宅等へ訪問し相談に応じたり、関係機関等へ同行したりする。

エ 初期支援（居場所づくり）

社会に出ることを難しいと感じている若者への初期支援として、生活習慣や社会生活の基本を身につけるためのセミナーを開催する。

（令和7年度実績）

■ 相談の状況

延べ相談件数 (件)	実人数 (人)	うち新規相談 (人)
2,175	532	198

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設

■ 新規相談の内訳

【性別】

男性	女性	その他
106	90	2

【相談者】

本人	本人と保護者	母	父	父と母	その他親族
56	34	73	12	10	9
友人	学校	地域	支援機関	その他	
0	0	0	4	0	

【相談内容】（重複項目あり）

不登校	ひきこもり	いじめ	親子関係	学業進路	虐待	暴力	非行犯罪	発達障がい
48	23	2	53	60	6	2	5	39
精神疾患	生活困窮	就労仕事	対人関係	LGBT	ヤングケアラー	ケアリーバー	その他	
52	16	77	36	0	4	0	52	

《少年愛護部門》

青少年の健全育成の推進と非行防止のための活動を行う。

街頭補導において、センター職員、地域指導員などが市内中心部や各学区を巡回し、少年への声掛けや必要に応じて現場指導等を行う。また、センター職員が市内中学校の校内フリースクールへの訪問を行い、義務教育期間中からの早期対応を行う。

(1) 指導員 計 130 人 (令和8年4月現在)

岡崎警察署少年係	10 人	少年補導職員	6 人	地域指導員	80 人
中学校教員	20 人	児童相談センター	1 人	社会教育課職員	8 人
子ども・若者総合相談センター職員			5 人		

(2) 街頭補導

街頭補導は、ぐ犯少年・不良行為少年の早期発見・指導をし、少年非行の早期防止を目的とする。また少年の愛護善導を行う。

ア センター補導 月～金：1日1回（午前または午後）

市内中心部・繁華街等巡回

イ 学区補導 月1回（午後）、20 中学校区

各小中学校指導教員と地域指導員が集まり情報交換と併せて実施
（令和7年度結果）

		未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	合計
行 為	家 出	0	0	0	0	0	0	0
	怠学・怠業	0	0	0	0	0	0	0
	喫 煙	0	0	0	0	0	0	0
	飲 酒	0	0	0	0	0	0	0
	はいかい	0	27	81	100	3	0	211
	危険行為	0	0	0	0	0	0	0
	不良交友	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	111	240	73	0	1	425
	刑罰法令に 触れる行為	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	138	321	173	3	1	636

(3) 少年相談

少年非行や問題行動について、面談又は電話による相談業務を行う。

令和7年度実績

面接相談	111 件	計 131 件
電話相談	20 件	

第3 文化財

1 文化財保護

市内に点在する歴史上・学術上の価値の高い文化財の適切な保護・保存と文化財の持つ意義と大切さを啓発するとともに、常に十分な調査研究を行う。

(1) 文化財保護の主要事務・事業

- ア 文化財の保存・管理の指導助言
- イ 文化財の調査・研究及び指定

(2) 岡崎ゲンジボタル増殖事業

国指定天然記念物「岡崎ゲンジボタル発生地」、及び岡崎市指定天然記念物「ゲンジボタル」についてその発生地である矢作川水系、乙川、山綱川、鉢地川、男川等の河川敷の環境浄化活動並びにホタルの保護・増殖事業を、地元の岡崎ゲンジボタル河合保存会（河合中学校生徒協力）と生田蜚保存会（美合小学校児童協力）、鳥川ホタル保存会に委託して実施

(3) 指定文化財及び登録文化財

ア 指定文化財数 (令和8年3月31日現在)

種 別	国 指 定	県 指 定	市 指 定	計
建 造 物	13	2	16	31
絵 画	6	8	57	71
彫 刻	5	10	45	60
工 芸 品	3	11	40	54
書 跡・典 籍・古 文 書	1	1	21	23
考 古 資 料	0	2	2	4
歴 史 資 料	0	0	4	4
無 形 民 俗 文 化 財	1	1	7	9
有 形 民 俗 文 化 財	0	2	7	9
史 跡	3	3	25	31
天 然 記 念 物	1	6	28	35
計	33	46	252	331

イ 登録文化財数

国登録建造物 20 件 県登録天然記念物 1 件

ウ 新たに指定・登録された文化財

指定	名 称	所有者
市指定無形民俗文化財 令和 7 年 11 月 20 日指定	能見神明宮大祭	能見神明宮 祭礼保存会
市指定史跡 令和 7 年 7 月 28 日追加指定 令和 8 年 3 月 27 日追加指定	岩津城跡	岡崎市・個人



能見神明宮大祭



岩津城跡

(4) 指定文化財保存事業に対する補助

- ア 国指定文化財滝山東照宮本殿ほか 2 棟保存修理事業
- イ 国指定文化財瀧山寺木造日光月光菩薩立像ほか 12 軀保存修理事業
- ウ 国指定文化財防災設備等保守点検事業
- エ 県指定文化財大樹寺絹本著色二十五菩薩来迎図保存修理事業
- オ 市指定文化財矢作三区祭礼山車保存修理事業
- カ 無形民俗文化財保存育成活動事業

(5) 文化財看板の設置・修繕

文化財説明看板（岡崎城跡龍城堀）の設置

(6) 文化財施設管理運営事業

- ア 六ツ美歴史民俗資料室の管理運営・展示
- イ 悠紀斎田広場の管理を六ツ美悠紀斎田保存会に委託
- ウ 藤川宿資料館・本陣跡の管理を藤川まちづくり協議会に委託
- エ 西大平藩陣屋跡の管理を大平西町史跡保存会に委託
- オ 万足平の猪垣の管理を万足平を考える会に委託
- カ 旧本宿村役場の管理を旧本宿村役場運営委員会に委託
- キ 旧額田町の民具（旧大雨河小学校）・文書（美術館）の保管
- ク その他史跡等（16 箇所）の直接管理または清掃を地元に依頼

(7) 埋蔵文化財調査事業

市内遺跡の発掘・試掘調査

(8) 文化財保存活用地域計画の推進

文化庁長官の認定を受けた「文化財保存活用地域計画」事業を推進

(9) 旧額田郡公会堂及物産陳列所の保存・修理

「旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画」に基づき、旧額田郡物産陳列所看守人室の曳家及び修復工事を実施

(10) 岡崎城跡整備業務

- ア 岡崎城跡整備委員会の開催
- イ 岡崎城跡龍城堀石垣整備工事
- ウ 石垣毀損樹木伐採
- エ 石垣測量
- オ 石垣変位計測



龍城堀に整備された展望デッキ

2 旧本多忠次邸

旧本多忠次邸は、旧岡崎藩主本多家（本多忠勝系）の末裔にあたる本多忠次（1896-1999）が昭和7年（1932）に東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したものである。2階建ての建物は、屋根にフランス瓦を葺き、1階の西側には車寄せをつけた玄関、南側中央には三連アーチのアーケード・テラス、東端には2階までの半円形のボウ・ウインドウを配置している。内部は日本間と洋間を共存させた住宅形式となっており、当時流行したステンドグラスやモザイクタイルの装飾、照明器具や家具などをオリジナルのままに設置している。また、前庭では、日本のスパニッシュ建築様式には欠かせないといわれる壁泉を見ることができる。

岡崎市では、建築や意匠等に価値がある旧本多忠次邸を保存し、その活用を通じて、文化財の保護についての関心や理解を深めることを目的として一般に公開している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市欠町字足延 40 番地 1（電話 23-5015）
利用時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 展示替期間
用途	建物展示、館内での常設・企画・季節展示や講座の開催等、有料貸ギャラリー
入場料	通常無料、企画展示は有料の場合あり
開館日数	308 日
入場者数	10,006 人



(2) 令和 7 年度開催の展示

・イベント

イベント名	会期	日数	参加者数
開館 13 周年記念「涼月祭」	7 月 4 日～7 月 6 日	3 日	328 人

・企画・季節展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
旧本多忠次邸の端午の節句（五月人形の展示）	4 月 22 日～5 月 6 日	14 日	643 人
あいちの“折り紙”たてもの展 in 旧本多忠次邸	11 月 1 日～11 月 9 日	8 日	349 人
旧本多忠次邸のひなまつり with 岡崎市美術博物館「春～桃の節句を祝う」	2 月 3 日～3 月 8 日	30 日	2,444 人

・貸ギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
尾野久雄作陶展（陶芸作品）	4 月 18 日～4 月 20 日	3 日	431 人
広見窯&出貝津窯の仲間展（陶芸作品）	11 月 13 日～11 月 16 日	4 日	403 人

Ⅲ 生涯学習

第 3 文化財

(3) 令和 7 年度開催の講座

開催日	講座名	講師	参加者数
7 月 4 日～7 月 6 日	「筆文字アート！己書体験」講座	竹田素子	128 人
11 月 8 日	旧本多忠次邸特別公開建物講座	村瀬良太	34 人

第4 社会体育

1 体育振興

(1) スポーツ推進委員

ア 人数 119 人

イ 選出母体

各小学校区（原則人口 9,000 人以上 3 名、人口 9,000 人未満 2 名）

ウ スポーツ推進委員連絡協議会事業

（令和 7 年度実績）

期 日	事 業 内 容	会 場	参 考
4 月 4 日	総 会	岡崎市福祉会館	全員
4 月 7 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
4 月 22 日	新任研修会	岡崎市福祉会館	新任
5 月 14 日	新任スポーツ推進委員ソフトミニバレーボール審判講習会	岡崎市体育館	新任
5 月 29 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
6 月 7 日	全体研修会	岡崎市体育館	全員
6 月 29 日	東部ブロック研修会	本宿小学校	研修部
8 月 30 日	パラスポーツ研修会	岡崎中央総合公園	全員
9 月 6 日	愛知県スポーツ推進委員研修会	東海市	希望者
9 月 25 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
10 月 26 日	パラスポーツ・ニュースポーツ大会体験会	岡崎中央総合公園	理事、事業部 広報・事業部
11 月 8 日	西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	知立市	希望者
11 月 6 日 ～ 9 日	ラリージャパン	岡崎中央総合公園周辺・額田地区	ボランティア
11 月 13 日 ～ 14 日	全国スポーツ推進委員研究協議会	長野県長野市	希望者
12 月 7 日	学区交歓スポーツレクリエーション大会	岡崎中央総合公園	理事、事業部 広報・事業部
12 月 18 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
1 月 18 日	岡崎市民駅伝競走大会	市内一円	3 人学区 2 名 2 名学区 1 名
2 月 13 日 ～ 14 日	東海四県スポーツ推進委員研究大会	岐阜県下呂市	希望者
3 月 7 日	岡崎市スポーツ推進委員研修会	岡崎市体育館	全員
3 月 11 日	理事会	岡崎市役所分館	理事

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(2) スポーツ大会等開催事業

期日	行 事 名	会 場	参加者数
4 月	第 62 回岡崎市民春季総合ソフトボール大会	岡崎中央総合公園 球技場他	575
	第 27 回岡崎市民グラウンド・ゴルフ大会	岡崎中央総合公園 球技場	351
	第 52 回岡崎馬術大会	羽根乗馬場	13
	令和 7 年度岡崎市民射撃大会	藤川射撃場	24
	第 54 回岡崎市アーチェリー大会	岡崎中央総合公園 アーチェリー場	45
	第 60 回岡崎市民サッカー大会	渡橋河川緑地運動場他	480
	第 71 回岡崎市民総合バレーボール大会	岡崎市体育館他	432
	第 53 回岡崎市民ボウリング大会	サンボウル・グランドボウル	88
	第 55 回グライダー市民体験飛行の会	グライダー練習場	13
	令和 7 年度岡崎市民テニス大会	岡崎中央総合公園 テニスコート	272
	第 62 回岡崎市民弓道大会	岡崎中央総合公園 弓道場	293
5 月	第 23 回岡崎市民オリエンテーリング大会	岡崎中央総合公園 運動広場	142
	第 42 回岡崎市民ゲートボール大会	渡橋河川緑地 ゲートボール場	71
	第 71 回岡崎市民総合バレーボール大会 ソフトバレーの部	岡崎市体育館	130
6 月	第 60 回岡崎市空手道大会	岡崎中央総合公園 武道館	136
8 月	令和 7 年度夏季岡崎市民総合卓球大会	岡崎中央総合公園 体育館	603
	第 46 回岡崎市民バスケットボール選手権大会	岡崎中央総合公園 体育館	454
9 月	第 78 回岡崎市民水泳大会	愛知産業大学三河高等学校室内プール	169
	第 57 回岡崎市民陸上競技選手権大会	岡崎市龍北総合運動場 陸上競技場	656
	第 20 回岡崎市サイクリング大会	おかざき世界子ども美術博物館スタート・ゴール	251
	第 45 回岡崎市小中学生すもう選手権大会	岡崎中央総合公園 相撲場	38
	令和 7 年度少林寺拳法岡崎大会	岡崎市六ツ美体育館	69
	第 3 回岡崎市パドルテニス大会	岡崎中央総合公園 武道館	96
10 月	第 66 回岡崎市総合剣道大会	岡崎中央総合公園 武道館	273
	第 8 回岡崎レクリエーションバドミントン大会	岡崎市体育館	128
	第 62 回岡崎市総合ソフトテニス大会	岡崎中央総合公園 テニスコート	286
	第 41 回岡崎市総合ハンドボール選手権大会	岡崎市体育館	381
	第 23 回健康ウオーク 21 岡崎大会	吹矢橋公園 スタート・ゴール	51
	第 54 回岡崎市カヌー大会	岡崎市カヌー練習場	52
	第 5 回岡崎ミニテニス市民交歓会	岡崎市体育館	66
	令和 7 年度秋の市民ラグビー祭り	岡崎市龍北総合運動場 陸上競技場 サッカー・ラグビー場	200
11 月	第 110 回岡崎市ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	700
	第 10 回岡崎市民マレットゴルフ大会	大門河川敷マレットゴルフコース	79
	第 23 回 Let's インディアカ大会	岡崎市六ツ美体育館	130
12 月	第 50 回岡崎なぎなた選手権大会	岡崎中央総合公園 第 1 錬成道場	47
	第 43 回岡崎市居合道大会	岡崎中央総合公園 武道館	79
	第 27 回岡崎市民綱引き大会	岡崎市体育館	183
	第 45 回岡崎市民柔道大会	岡崎中央総合公園 第 1・2 錬成道場	130
	第 8 回岡崎市民スポーツウエルネス吹矢大会	岡崎中央総合公園 第 1 錬成道場	76
1 月	第 41 回合気道演武大会	岡崎中央総合公園 第 2 錬成道場	51
2 月	第 66 回岡崎市民スキー大会	平湯温泉スキー場	23
	第 7 回岡崎市フルコンタクト空手道選手権大会	岡崎中央総合公園 第 1・2 錬成道場	52
合 計			8,388

(3) 学校体育施設スポーツ開放事業

ア 学校体育施設利用状況

(令和7年度)

開放時間数	学 校 名	備 考
400 時間	梅園根石 男川美合緑丘 羽根岡崎 六井田三島竜美丘 連尺広幡 山井田愛宕福岡 竜谷藤川 常磐東常磐本宿生平 秦梨常磐 津大樹寺恵田奥殿 細川岩 作津大矢作東 矢作北 矢作西南矢作南六美中部六美北部 六美南部 城西南上地小豆坂北野 六美西部 豊富夏山宮崎形埜 下山	小学校 46 校
	甲山美川 南 竜海葵 城北福岡 東海常磐岩津 矢作六ツ美 矢作北新香山 北六美北額田翔南	中学校 19 校
300 時間	河合	中学校 1 校
	常磐南	小学校 1 校
45 時間	岡崎盲	県立学校 1 校

イ 学校運動場（夜間照明設備）

(令和7年度)

学 校 名	開設年月日	内 容
連尺小学校	(照明 S 55. 8. 17)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 204Lx
大樹寺小学校	H14. 4. 1 (移設)	3,500 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 373Lx
矢作北中学校	(照明 S 59. 4. 1)	6,200 m ² ◎軟式野球 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 60 灯平均 555Lx
根石小学校	(照明 S 59. 7. 25)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 330Lx
竜美丘小学校	(照明 S 59. 7. 26)	4,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 281Lx
城南小学校	(照明 S 59. 7. 27)	4,700 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 291Lx
梅園小学校	(照明 S 59. 7. 29)	4,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 348Lx
羽根小学校	(照明 S 60. 4. 1)	4,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 344Lx
大門小学校	(照明 S 60. 8. 6)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 363Lx
小豆坂小学校	(照明 S 60. 8. 8)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 293Lx
岡崎小学校	(照明 S 60. 8. 9)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 276Lx
上地小学校	(照明 S 61. 9. 27)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 307Lx
緑丘小学校	(照明 S 61. 9. 28)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
井田小学校	(照明 S 62. 9. 4)	5,300 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 218Lx
細川小学校	(照明 H 1. 4. 1)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
本宿小学校	(照明 H 2. 4. 14)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 319Lx
三島小学校	(照明 H 2. 10. 7)	5,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 147Lx
六ツ美中部小学校	(照明 H 3. 9. 29)	5,130 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 171Lx
男川小学校	(照明 H 4. 9. 26)	5,454 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 177Lx
豊富小学校	(照明 S 53. 3. 29)	7,035 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 48 灯平均 402Lx
福岡小学校	(照明 R 6. 3. 5)	6,250 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 LED 投光器

2 公益財団法人岡崎市スポーツ協会

(1) スポーツ協会加盟団体

(令和8年3月31日現在)

加盟競技団体	人数	加盟競技団体	人数
岡崎弓道会	143	岡崎飛行クラブ	32
岡崎市サイクリング協会	38	岡崎市居合道連盟	30
岡崎水泳協会	51	岡崎市アーチェリー協会	62
岡崎市相撲連盟	39	岡崎市合気道連盟	100
岡崎卓球協会	1,118	岡崎バドミントン協会	674
岡崎ソフトテニス協会	312	岡崎なぎなた連盟	25
岡崎軟式野球協会	1,100	少林寺拳法岡崎連合会	86
岡崎バスケットボール協会	2,817	岡崎市ゲートボール協会	94
岡崎市バレーボール協会	1,122	岡崎市グラウンド・ゴルフ協会	241
岡崎陸上競技協会	103	岡崎市綱引連盟	99
岡崎市剣道連盟	873	岡崎市インディアカ協会	158
岡崎射撃協会	77	岡崎オリエンテーリング協会	28
岡崎市柔道会	118	岡崎市ウォーキング協会	59
岡崎乗馬会	5	岡崎市マレットゴルフ協会	74
岡崎市スキー協会	93	岡崎市フルコンタクト空手道連盟	120
岡崎ソフトボール協会	933	岡崎市スポーツウエルネス吹矢協会	96
岡崎ハンドボール協会	413	岡崎ミニテニス協会	74
岡崎テニス協会	724	岡崎パドルテニス協会	24
岡崎市空手道連盟	364	加盟スポーツ団体	
岡崎サッカー協会	670	婦人スポーツ教室	341
岡崎市カヌー協会	72	六名公園ラジオ体操会	30
岡崎市ボウリング連盟	70	混合ソフトミニバレー愛好会	240
岡崎ラグビーフットボール協会	210	合計（44団体）	14,152

(2) スポーツ教室開設状況

(令和7年度)

種 目	対 象	参加人員 (延人数)		期 間	回 数	活動時間
カヌー	中・高校生	10	人	6 月	1 回	420 分
居合道	一般	15	人	6～7 月	8 回	105 分
弓道	一般	28	人	6～7 月	15 回	120 分
相撲	小・中学生	25	人	4～11 月	32 回	180 分
柔道	小学生～一般	70	人	4～3 月	192 回	130 分
バドミントン	小学生～一般	175	人	4～2 月	60 回	120 分
ソフトテニス	小学生～一般	180	人	4～7 月	58 回	120 分
テニス	一般	20	人	4～7 月	15 回	90 分
バレーボール	一般女性	120	人	4～3 月	31 回	150 分
なぎなた	一般	25	人	4～9 月	48 回	120 分
サッカー	小学生	120	人	4～3 月	41 回	120 分
婦人スポーツ（バス ケ・卓球・エアロダ ンス・水泳・テニ ス・ボウリング・ゴ ルフ）	一般女性	341	人	4～2 月	30 回	120 分
合計（12 教室）		1,129 人				

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(3) スポーツ少年団活動状況

(令和8年3月31日現在)

区 分	対 象	団員数	指導者数
岡崎こども体育教室	小1～小6	33	7
岡崎子供バスケットボール	小4～小6	107	6
岡崎乗馬	小3～高2	9	2
岡崎なぎなた	小3～高3	6	4
少年空手道市体育館	年中～高3	33	7
岡崎子ども女子体操	年少～小4	21	2
岡崎子供バレーボール教室	小1～小6	16	6
岡崎ラグビー	年少～小6	20	4
岡崎市ソフトボール	小1～小6	22	4
福岡サッカー	小4～小6	26	3
福岡剣道	小2～中3	5	3
福岡バレーボール	小3～小6女	10	2
福岡バスケットボール	小2～小6	81	5
福岡バドミントン	小3～小6	18	2
矢作バレーボール	小2～小6	83	7
岡崎西少年サッカー	年長～小6	138	13
岡崎ハッピー乗馬	年少～高2	4	2
岡崎ボウリング	小1～高3	16	4
岡崎少年野球教室（軟式野球）	年少～小6	11	3
矢南アローズ（軟式野球）	小1～小6	24	2
矢作バンビーズ（軟式野球）	年長～小6	10	8
岡崎南少年野球クラブ（軟式野球）	小1～小6	46	9
六ッ美JVC（バレーボール）	小1～中3	2	2
六南クラブ（バレーボール）	小1～小6	9	3
岡崎ジュニアバドミントンクラブ	年長～小6	32	4
岡崎北バドミントンクラブ	小3～小6	10	3
上地クラブ（バレーボール）	小1～小6	10	3
岡崎市組討道	3歳～高3	107	14
岡崎竜の子JVC	小3～中3	20	2
岡崎JVC	小1～小6	10	4
常磐JVC	小1～小6女	15	3
松涛館流空手道教室	年中～中3	42	3
少年空手道大樹寺	年長～中3	29	9
龍城会少年空手道六名城南	年長～中3	14	2
少年空手道矢作	小1～高3	4	2
花園こども空手教室	年少～高3	40	6
少年空手道六ッ美	小1～小6	7	1
美川バレーボール	小1～小6女	15	4
Bondsクラブ	小2～小6	35	8
羽根バレーボールクラブ	小1～小6	25	7
少年空手道美合	年長～高3	9	1
幼児体育教室	年少～年長	67	4
子ども体育トレーニング	年少～小3	109	1
LinkJVC	年中～小6	2	1
合 計 (40団体)		1,197	173

《 MEMO 》

IV 資 料

第 1 教育委員会関係

第 2 学校関係

第 3 体育施設

第 1 教育委員会関係

1 歴代教育委員会委員

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
石 川 亮	S 27. 11. 1				地方教育委員会制度の改正により S 31. 9. 30 退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1				〃
本 間 淳 治	S 27. 11. 1				〃
河 合 正 男	S 27. 11. 1				〃
浅 沼 か つ	S 27. 11. 1				〃
石 川 小一郎	S 31. 10. 1	S 33. 10. 1	S 37. 10. 1	S 41. 10. 1	S 45. 9. 30 退任
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1				S 33. 9. 5 退任
服 部 貞 弘	S 31. 10. 1				S 35. 9. 30 退任
佐々木 静 江	S 31. 10. 1	S 32. 10. 1	S 36. 10. 1	S 40. 10. 1	S 44. 9. 30 退任
三ツ井 源四郎	S 33. 6. 23	S 34. 10. 1			S 38. 9. 30 退任
内 藤 潮 邦	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1		S 47. 9. 30 退任
志 貴 彦 人	S 38. 10. 1	S 42. 10. 1			S 46. 9. 30 退任
永 屋 満	S 44. 10. 1	S 48. 10. 1			S 52. 9. 30 退任
内 田 克 治	S 45. 10. 1	S 49. 10. 1			S 53. 9. 30 退任
石 川 巖 夫	S 46. 10. 1	S 50. 10. 1			S 54. 9. 30 退任
松野尾 潮 音	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1			S 55. 9. 30 退任
中 西 か づ	S 52. 10. 1				S 56. 9. 30 退任
稲 葉 浅 吉	S 53. 10. 1				S 57. 9. 30 退任
岩 瀬 敬 司	S 54. 10. 1				S 58. 9. 30 退任
天 野 一 太	S 55. 11. 17				S 59. 11. 16 退任
矢 田 香 子	S 56. 10. 1	S 60. 10. 1			H 1. 9. 30 退任
糟 谷 正 孝	S 57. 10. 1	S 61. 10. 1			H 2. 9. 30 退任
後 藤 朋 美	S 58. 10. 1				S 62. 9. 30 退任
深 田 三太夫	S 59. 11. 17	S 63. 11. 17			H 4. 11. 16 退任
前 川 修	S 62. 10. 1				H 3. 9. 30 退任
内 藤 美智子	H 1. 10. 1	H 5. 10. 1			H 9. 9. 30 退任
太 田 清 美	H 2. 10. 1	H 6. 10. 1			H10. 9. 30 退任

Ⅳ 資 料

第1 教育委員会関

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
築 瀬 正 邦	H 3 . 10 . 1				H 7 . 9 . 30 退任
杉 山 光	H 4 . 11 . 17	H 8 . 11 . 17			H12 . 11 . 16 退任
杉 浦 壽 康	H 7 . 10 . 1	H11 . 10 . 1			H15 . 9 . 30 退任
仲 井 さ ち	H 9 . 10 . 1	H13 . 10 . 1			H17 . 9 . 30 退任
鈴 木 聰 一	H10 . 10 . 1	H14 . 10 . 1			H18 . 9 . 30 退任
寺 部 暁	H12 . 11 . 17	H16 . 11 . 17			H20 . 11 . 16 退任
大 原 憲 一	H15 . 10 . 1	H19 . 10 . 1			H23 . 9 . 30 退任
畔 柳 美奈子	H17 . 10 . 1	H21 . 10 . 1			H25 . 9 . 30 退任
平 野 有 行	H18 . 10 . 1				H22 . 9 . 30 退任
櫻 井 敬 子	H20 . 11 . 17	H24 . 11 . 17			H28 . 11 . 16 退任
土 屋 武 志	H22 . 10 . 1	H26 . 10 . 1			H30 . 9 . 30 退任
小 出 義 信	H23 . 10 . 1	R 1 . 10 . 1			R 5 . 9 . 30 退任
福 應 謙 一	H25 . 10 . 1	H29 . 10 . 1			R 3 . 9 . 30 退任
岡 田 京 子	H28 . 11 . 17	R 2 . 11 . 17			R 6 . 11 . 16 退任
上 原 三 十 三	H30 . 10 . 1	R 4 . 10 . 1			
千 野 智 子	R 3 . 10 . 1				
小 森 保 生	R 5 . 10 . 1				
田 口 千 代	R 6 . 11 . 17				

※ 教育長を除く。

2 歴代教育委員会委員長

氏名	就任	退任	氏名	就任	退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1	S 29. 10. 31	深 田 三 太 夫	S 61. 10. 1	S 62. 9. 30
本 間 淳 治	S 29. 11. 1	S 31. 9. 30	矢 田 香 子	S 62. 10. 1	S 63. 9. 30
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	糟 谷 正 孝	S 63. 10. 1	H 1. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 32. 10. 1	S 33. 9. 30	前 川 修	H 1. 10. 1	H 2. 9. 30
服 部 貞 弘	S 33. 10. 1	S 34. 9. 30	深 田 三 太 夫	H 2. 10. 1	H 3. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 34. 10. 1	S 35. 9. 30	太 田 清 美	H 3. 10. 1	H 4. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 35. 10. 1	S 36. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 4. 10. 1	H 5. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 36. 10. 1	S 37. 9. 30	杉 山 光	H 5. 10. 1	H 6. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 37. 10. 1	S 38. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 6. 10. 1	H 7. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 38. 10. 1	S 39. 9. 30	太 田 清 美	H 7. 10. 1	H 8. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 39. 10. 1	S 40. 9. 30	杉 山 光	H 8. 10. 1	H 8. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 40. 10. 1	S 41. 9. 30	杉 山 光	H 8. 11. 17	H 9. 11. 16
志 貴 彦 人	S 41. 10. 1	S 42. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 9. 11. 17	H 10. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 42. 10. 1	S 43. 9. 30	仲 井 さ ち	H 10. 11. 17	H 11. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 43. 10. 1	S 44. 9. 30	杉 山 光	H 11. 11. 17	H 12. 11. 16
志 貴 彦 人	S 44. 10. 1	S 45. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 12. 11. 17	H 13. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 45. 10. 1	S 46. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 13. 11. 17	H 14. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 46. 10. 1	S 47. 9. 30	仲 井 さ ち	H 14. 11. 17	H 15. 11. 16
内 田 克 治	S 47. 10. 1	S 48. 9. 30	寺 部 暁	H 15. 11. 17	H 16. 11. 16
石 川 巖 夫	S 48. 10. 1	S 49. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 16. 11. 17	H 17. 11. 16
松野尾 潮 音	S 49. 10. 1	S 50. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 17. 11. 17	H 18. 9. 30
内 田 克 治	S 50. 10. 1	S 51. 9. 30	大 原 憲 一	H 18. 10. 5	H 19. 9. 30
石 川 巖 夫	S 51. 10. 1	S 52. 9. 30	寺 部 暁	H 19. 10. 1	H 20. 9. 30
松野尾 潮 音	S 52. 10. 1	S 53. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 20. 10. 1	H 21. 9. 30
石 川 巖 夫	S 53. 10. 1	S 54. 9. 30	平 野 有 行	H 21. 10. 1	H 22. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 54. 10. 1	S 55. 9. 30	大 原 憲 一	H 22. 10. 1	H 23. 9. 30
岩 瀬 敬 司	S 55. 10. 1	S 56. 9. 30	櫻 井 敬 子	H 23. 10. 3	H 24. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 56. 10. 1	S 57. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 24. 10. 1	H 25. 9. 30
天 野 一 太	S 57. 10. 1	S 58. 9. 30	土 屋 武 志	H 25. 10. 1	H 26. 9. 30
矢 田 香 子	S 58. 10. 1	S 59. 9. 30	小 出 義 信	H 26. 10. 1	H 27. 9. 30
糟 谷 正 孝	S 59. 10. 1	S 60. 9. 30	福 應 謙 一	H 27. 10. 1	H 28. 3. 31
後 藤 朋 美	S 60. 10. 1	S 61. 9. 30			

※ 平成 28 年 4 月 1 日から新教育委員会制度への移行により委員長職を廃止

3 歴代教育長

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
桑 子 好 次	S 27. 11. 1				S 31. 9. 30 退任
羽 田 洋	S 31. 10. 1	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1	S 47. 9. 30 退任
鈴 村 正 弘	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1	S 55. 11. 21		S 55. 9. 30 退任 S 55. 11. 17 教育委員会委員就任 S 57. 3. 31 退任
横 井 滋	S 57. 4. 1	S 59. 11. 17			S 63. 3. 31 退任
伊 豫 田 壽 夫	S 63. 4. 9	S 63. 11. 17	H 4. 11. 17	H 8. 11. 17	S 63. 4. 1 教育委員会委員就任 H 12. 11. 16 退任
藤 井 孝 弘	H 12. 11. 17	H 16. 11. 17			H 12. 11. 17 教育委員会委員就任 H 19. 3. 31 退任
江 村 力	H 19. 4. 2	H 20. 11. 17			H 19. 4. 1 教育委員会委員就任 H 24. 11. 16 退任
高 橋 淳	H 24. 11. 17				H 24. 11. 17 教育委員会委員就任 H 28. 3. 31 退任
	H 28. 4. 1				H 28. 4. 1 新教育委員会制度移行 H 30. 3. 31 退任
安 藤 直 哉	H 30. 4. 1	H 31. 4. 1	R 4. 4. 1	R 7. 4. 1	

《 M E M O 》

第2 学校関係

1 市内学校数

区分	国立法人	県立	市立	私立	計
大 学	0	0	0	4	4
短期大学	0	0	0	3	3
高等学校	0	7	0	4	11
中 学 校	1	0	20	0	21
小 学 校	1	0	47	0	48
幼 稚 園	0	0	0	22	22
盲 学 校	0	1	0	0	1
聾 学 校	0	1	0	0	1
特別支援学校	1	2	0	0	3
計	3	11	67	34	115

2 進路別卒業生数の推移(中学校)

区分	総数	高等学校	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)	就職 その他	高等学校 進学率
平成 20 年 3 月卒業	3,632	3,538	2	1	91	97.4%
〃 21 〃	3,722	3,634	1	4	83	97.6%
〃 22 〃	3,672	3,578	0	1	93	97.4%
〃 23 〃	3,614	3,544	2	3	65	98.1%
〃 24 〃	3,652	3,566	0	3	83	97.6%
〃 25 〃	3,639	3,560	0	1	78	97.9%
〃 26 〃	3,766	3,705	0	2	59	98.4%
〃 27 〃	3,680	3,617	1	2	60	98.4%
〃 28 〃	3,753	3,707	2	3	41	98.8%
〃 29 〃	3,675	3,630	1	1	43	98.8%
〃 30 〃	3,698	3,655	3	2	38	98.8%
令和元 〃	3,548	3,500	4	4	40	98.9%
〃 2 〃	3,554	3,512	4	0	38	98.8%
〃 3 〃	3,508	3,446	11	1	50	98.2%
〃 4 〃	3,664	3,618	7	0	39	98.7%
〃 5 〃	3,607	3,565	10	2	30	98.8%
〃 6 〃	3,601	3,555	8	1	46	98.7%
〃 7 〃	3,741	3,675	12	4	49	98.2%
〃 8 〃	3,774	3,712	12	1	49	98.3%

3 児童・生徒定期健康診断

区分	性 別	男										
	小・中別	小 学 校							中 学 校			
	年 齢	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
受 検 者 数		1,600	1,708	1,668	1,806	1,825	1,859	10,466	1,856	1,855	1,927	5,638
裸眼視力	1.0 未満 0.7 以上	133	157	166	131	172	151	910	227	174	176	577
	0.7 未満 0.3 以上	85	136	149	195	195	173	933	204	221	199	624
	0.3 未 満	12	32	56	63	71	71	305	104	98	106	308
眼	アレルギー性結膜炎	35	38	35	23	41	45	217	31	26	30	87
	結 膜 炎	5	5	9	12	2	10	43	16	24	14	54
	他 の 眼 疾 患	33	28	36	41	39	40	217	47	45	44	136
耳	難 聴 の 疑 い	34	33	20	10	11	6	114	18	10	28	56
	中 耳 炎	12	13	3	5	5	2	40	6	2	2	10
	他 の 耳 疾 患	67	183	32	25	123	18	448	93	14	23	130
鼻・咽喉	副 鼻 腔 炎	9	22	8	7	23	4	73	20	13	8	41
	扁 桃 肥 大	10	15	2	6	6	3	42	1	0	0	1
	鼻炎（アレルギー含）	117	252	124	130	274	138	1,035	148	60	60	268
	他の鼻・咽喉疾患	6	11	7	6	8	6	44	18	4	12	34
歯	う 歯 の な い 者	1,216	1,145	1,046	1,158	1,198	1,335	7,098	1,344	1,353	1,384	4,081
	処 置 完 了 者	129	213	291	306	298	214	1,451	213	197	235	645
	未処置歯保有者	174	255	217	232	210	167	1,255	104	93	74	271
	他 の 口 腔 疾 患	26	66	91	104	120	75	482	145	113	81	339
尿	蛋 白 陽 性	0	1	2	5	4	17	29	36	53	46	135
	潜 血 陽 性	2	8	5	5	9	7	36	5	8	5	18
	糖 陽 性	1	2	5	2	1	4	15	4	1	5	10
その他の	肥 満 傾 向	13	24	33	49	58	53	230	42	28	29	99
	脊 柱 側 わ ん	17	18	13	43	39	27	157	38	38	51	127
	その他の脊柱異常	2	1	2	1	3	0	9	3	2	2	7
	四 肢 の 異 常	16	5	14	12	10	14	71	14	17	24	55
	アトピー性皮膚炎	30	41	28	46	52	51	248	33	36	42	111
	他 の 皮 膚 疾 患	23	26	30	19	25	23	146	8	10	10	28
	心 臓 疾 患	12	14	8	13	13	10	70	42	26	19	87
	ぜ ん 息	52	50	40	45	30	26	243	30	23	16	69
	腎 臓 疾 患	2	1	2	1	1	2	9	4	4	1	9
	糖 尿 病	2	1	1	1	1	2	8	1	0	1	2
	貧血（中1・中2の一部は血液検査実施）	0	4	3	1	0	0	8	25	5	1	31

IV 資 料

第 2 学校関係

(令和7年度)

女											性 別	区 分
小 学 校							中 学 校				小・中別	
6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計	年 齢	
1,488	1,616	1,695	1,803	1,673	1,741	10,016	1,776	1,834	1,839	5,449	受 検 者 数	
163	158	156	164	132	158	931	171	176	154	501	1.0 未満 0.7 以上	裸 眼 視 力
77	134	155	191	163	186	906	204	219	188	611	0.7 未満 0.3 以上	
9	26	36	64	64	58	257	106	101	85	292	0.3 未 満	
32	24	25	32	18	23	154	15	14	15	44	アレルギー性結膜炎	眼
15	9	5	9	2	8	48	13	15	5	33	結 膜 炎	
40	44	28	39	32	37	220	38	34	26	98	他 の 眼 疾 患	
36	23	24	12	16	5	116	18	9	25	52	難 聴 の 疑 い	耳
6	5	1	5	4	0	21	2	2	2	6	中 耳 炎	
40	137	27	27	78	16	325	69	8	11	88	他 の 耳 疾 患	
3	6	4	4	3	2	22	8	6	0	14	副 鼻 腔 炎	鼻・ 咽 喉
8	8	3	1	4	2	26	0	0	0	0	扁 桃 肥 大	
59	146	70	75	119	75	544	78	22	31	131	鼻炎（アレルギー含）	
6	6	1	1	0	2	16	6	7	16	29	他の鼻・咽喉疾患	歯
1,128	1,145	1,124	1,136	1,129	1,299	6,961	1,252	1,310	1,232	3,794	う 歯 の な い 者	
114	190	221	313	261	197	1,296	247	214	286	747	処 置 完 了 者	
172	186	229	232	159	123	1,101	98	91	80	269	未処置歯保有者	尿
34	63	61	97	80	52	387	105	60	58	223	他 の 口 腔 疾 患	
2	5	7	9	8	22	53	29	23	20	72	蛋 白 陽 性	
8	11	13	15	18	21	86	50	48	39	137	潜 血 陽 性	そ の 他
1	0	1	1	1	5	9	3	0	4	7	糖 陽 性	
8	19	15	29	21	28	120	19	18	35	72	肥 満 傾 向	
11	8	18	22	31	25	115	34	36	47	117	脊 柱 側 わ ん	そ の 他
3	0	1	2	2	1	9	2	3	3	8	その他の脊柱異常	
9	8	5	16	17	10	65	8	14	12	34	四 肢 の 異 常	
24	34	30	36	35	40	199	40	35	28	103	アトピー性皮膚炎	そ の 他
27	33	43	25	25	12	165	12	12	11	35	他 の 皮 膚 疾 患	
10	13	19	11	5	9	67	42	31	35	108	心 臓 疾 患	
38	32	24	31	17	20	162	21	8	13	42	ぜ ん 息	そ の 他
0	2	0	0	1	3	6	2	2	0	4	腎 臓 疾 患	
0	0	2	0	0	3	5	3	0	1	4	糖 尿 病	
0	2	1	0	0	0	3	85	34	9	128	貧 血	

4 学校事故

(日本スポーツ振興センター統計情報) 令和7年度)

(1) 場所別事故発生件数

区分	学 校 内									学校外	合計
	校 舎 内					校 舎 外					
	教室	体育館	廊下	昇降口 階段	他	運動場 校庭	体育遊 戯施設	プール	他		
小学校	120	142	33	35	22	315	0	3	7	71	748
中学校	33	230	10	15	17	183	0	2	3	122	615
合計	153	372	43	50	39	498	0	5	10	193	1363

(2) 場合別事故発生件数

区 分	各 教 科	特 別 活 動	学 校 行 事	課 外 指 導	休 憩 時 間	通 学 中	そ の 他	合 計
小学校	207	78	29	71	316	47	0	748
中学校	246	41	46	195	50	37	0	615
合 計	453	119	75	266	366	84	0	1,363

(3) 月所別事故報告件数

区 分	小 学 校			中 学 校		
	発 生	継 続	計	発 生	継 続	計
4 月	74	44	118	45	43	88
5 月	54	52	106	36	43	79
6 月	46	38	84	38	69	107
7 月	83	45	128	63	46	109
8 月	74	35	109	60	58	118
9 月	4	5	9	25	30	55
10 月	44	60	104	50	51	101
11 月	80	41	121	57	64	121
12 月	71	32	103	73	53	126
1 月	79	40	119	62	46	108
2 月	44	40	84	39	54	93
3 月	95	41	136	67	53	120
計	748	473	1,221	615	610	1,225

IV 資 料

第 2 学校関係

(4) 傷害別事故発生件数

区 分		挫創	骨折	捻挫	挫傷・打撲	その他	計
小学校	件数	62	219	96	245	81	703
	割合	8.82%	31.15%	13.66%	34.85%	11.52%	100.00%
中学校	件数	23	203	114	173	58	571
	割合	4.03%	35.55%	19.96%	30.30%	10.16%	100.00%
合 計	件数	85	422	210	418	139	1,274
	割合	6.67%	33.12%	16.48%	32.81%	10.91%	100.00%

(5) 体育的活動時の種目別事故発生件数

区 分	水 泳	体 操	器 械 操	陸 上	ド ッ ジ ボ ー ル	サ ッ カ ー	テ ニ ス	ソ フ ト ボ ー ル	野 球	ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バスケットボール	卓 球	柔 道	剣 道	他	合 計
小学校	3	0	59	34	3	14	0	14	0	0	16	38	0	0	0	54	235
中学校	2	0	31	56	8	48	13	6	20	21	36	100	4	8	7	53	413
合 計	5	0	90	90	11	62	13	20	20	21	52	138	4	8	7	107	648

(6) 学校医

区 分	人 員	区 分	人 員	区 分	人 員
内 科 医	49 人	耳 鼻 科 医	14 人	薬 剤 師	55 人
眼 科 医	17 人	歯 科 医	70 人		

5 学校保健

児童・生徒の平均体位

(令和7年度)

区 分	年 齢	性 別	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			岡 崎 市	(令 和 7 年 度) 愛 知 県	(令 和 7 年 度) 全 国	岡 崎 市	(令 和 7 年 度) 愛 知 県	(令 和 7 年 度) 全 国
小 学 校	6	男	115.5	116.6	116.6	20.8	21.4	21.4
		女	115.5	115.3	115.6	20.7	20.6	21.0
	7	男	121.8	121.8	122.7	23.6	23.4	24.2
		女	121.0	121.2	121.6	23.1	23.3	23.6
	8	男	127.8	127.9	128.3	26.9	27.0	27.4
		女	126.8	126.7	127.5	26.1	26.0	26.8
	9	男	133.4	134.0	134.0	30.9	31.0	31.2
		女	133.1	133.2	133.8	30.2	30.2	30.4
	10	男	138.8	139.5	139.5	34.3	34.8	35.1
		女	140.1	140.3	140.9	34.4	34.4	34.9
中 学 校	11	男	145.0	145.7	146.1	38.6	39.3	39.6
		女	147.1	146.7	147.4	39.0	38.7	39.8
	12	男	153.0	153.6	153.8	44.0	44.6	45.2
		女	151.8	152.6	152.4	43.4	45.0	44.4
	13	男	160.2	161.1	161.1	49.8	50.8	50.4
		女	154.6	154.7	155.0	46.9	47.1	47.5
	14	男	165.0	165.6	166.1	53.5	54.4	55.0
		女	155.9	156.0	156.4	49.4	49.0	49.7

6 学校施設

(1) 令和 7 年度主要工事（実績）

区分	学 校 名	内 容
小学校	根石小学校、美合小学校	校舎大規模改修
	美合小学校	エレベーター設置
	連尺小学校	給水設備改修、受変電設備改修
	竜谷小学校ほか 9 校	防犯カメラ設置
	美合小学校ほか 11 校	L E D 照明取替
中学校	矢作中学校、岩津中学校	校舎大規模改修
	矢作中学校、岩津中学校	エレベーター設置
	全 20 校	屋内運動場・柔剣道場空調設備等整備
	美川中学校ほか 2 校	L E D 照明取替

(2) 令和 8 年度主要工事（予定）

区分	学 校 名	内 容
小学校	矢作北小学校	校舎大規模改修
	竜美丘小学校、北野小学校	消火管改修
	生平小学校	給水設備改修
	井田小学校	外部改修
	本宿小学校、六ツ美中部小学校	便所改修
	常磐南小学校	急傾斜地法面改修
	井田小学校ほか 12 校	L E D 照明取替
中学校	矢作中学校ほか 2 校	校舎大規模改修
	矢作中学校ほか 2 校	エレベーター設置
	福岡中学校	テニスコート夜間照明設備設置
	全 20 校	屋内運動場・柔剣道場空調設備等整備
	葵中学校ほか 2 校	L E D 照明取替

7 市立小学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	梅 園	M2. 9	22-3566 (3567)	稲熊町四丁目 68 番地 1	444-0071	後田 和紀	616	23
2	根 石	M5. 5	22-3646 (3647)	欠町字石ヶ崎 1 番地 2	444-0011	稲垣 祐嗣	537	28
3	男 川	M6. 4	22-1159 (1285)	大平町字中道 17 番地	444-0007	小田 幸子	567	26
4	美 合	M26. 1	51-1020 (1019)	岡町字南石原 30 番地	444-0005	鈴木 正統	256	13
5	緑 丘	S50. 4	51-5693 (5506)	美合町字沢渡 12 番地	444-0802	西田 貴子	661	28
6	羽 根	S10. 5	51-1795 (1667)	岡崎市羽根北町 6 丁目 29 番	444-0813	永井 利昌	705	39
7	岡 崎	M6. 7	51-1252 (1315)	針崎町字フロ 1 番地	444-0827	松坂 禎文	719	36
8	六 名	S11. 4	51-3536 (3537)	六名三丁目 2 番地 1	444-0856	青木 貴之	793	40
9	三 島	M6. 3	51-0568 (0569)	明大寺町字池上 1 番地	444-0864	河合由起子	450	18
10	竜 美 丘	S51. 4	52-1275 (1285)	竜美台一丁目 1 番地	444-0873	本郷 一毅	602	26
11	連 尺	M4. 2	22-6574 (6575)	城北町 4 番地	444-0064	長坂 博子	414	21
12	広 幡	M7. 4	21-0610 (0717)	広幡町 11 番地 1	444-0066	内田 雅之	512	51
13	井 田	S26. 4	22-2146 (2197)	井田町字茨坪 4 番地 3	444-0077	深津 伸夫	961	38
14	愛 宕	S31. 4	22-4419 (4090)	伊賀町字愛宕山 1 番地	444-0075	小嶋 勝彦	152	18
15	福 岡	M6. 9	51-9040 (9082)	福岡町字西市仲 3 番地	444-0825	堀場 雅夫	569	32
16	竜 谷	M25. 4	53-3865 (3129)	竜泉寺町字松本 34 番地 4	444-3524	手島 露子	106	3
17	藤 川	M5. 4	48-2029 (2334)	藤川町字西町北 44 番地	444-3523	佐橋 康仁	294	19
18	山 中	M13. 9	48-2201 (2430)	舞木町字天神越 1 番地	444-3511	大久保孝治	212	12
19	本 宿	M25. 10	48-2504 (3154)	本宿町字三本松入 14 番地 1	444-3505	山口 裕嗣	267	10
20	生 平	M38. 4	47-2547 (2172)	生平町字鷺場 25 番地 1	444-3334	畔柳 英徳	35	6
21	秦 梨	M6. 4	47-2548 (2196)	秦梨町字世土田 2 番地	444-3343	山本 伸	27	1
22	常 磐 南	M6. 4	46-2005 (2048)	田口町字岩本 12 番地 4	444-3172	林 幸康	115	8
23	常 磐 東	M25. 10	46-2108 (2049)	米河内町字惣作 32 番地	444-3167	伊奈 良晃	38	2
24	常 磐	M6. 3	46-2003 (4033)	滝町字入ノ谷 3 番地 4	444-3173	岡村 直美	166	12
25	恵 田	M7. 4	45-2225 (2124)	恵田町字三月ヶ入 71 番地 1	444-2107	岡本 弘恵	32	6
26	奥 殿	M5. 9	45-2207 (2349)	奥殿町字仲西 73 番地 2	444-2108	池田 芳浩	77	7
27	細 川	M4. 4	45-2701 (2713)	細川町字石田 45 番地	444-2149	伴 巨裕	539	44
28	岩 津	M6. 2	45-2007 (2036)	岩津町字申堂 24 番地 2	444-2144	小林 憲	432	29
29	大 樹 寺	M6. 12	22-1419 (6366)	鴨田町字広元 31 番地	444-2121	川本 祐二	580	26
30	大 門	S51. 4	23-8709 (8704)	大門四丁目 4 番地 1	444-2135	紀平 高之	697	49
31	矢 作 東	T4. 4	31-3233 (2610)	矢作町字切戸 28 番地	444-0943	鈴木 孝広	665	17
32	矢 作 北	M6. 7	31-4574 (4579)	橋目町字西遠山 9 番地 2	444-0908	細井 鶴貴	726	51
33	矢 作 西	T13. 4	31-3283 (8179)	宇頭町字長合 40 番地	444-0905	原田 真弓	247	21
34	矢 作 南	M5. 12	31-2723 (2863)	大和町字西島 13 番地	444-0931	川端 啓介	698	37
35	六ツ美中部	M41. 3	43-2260 (5490)	下青野町字井戸尻 71 番地	444-0244	川原場仁子	247	10

IV 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,038	1,329	11,400	22,930	27	14	25×5	25×3	33.5	1	1	0		(1)	梅 園
6,104	1,295	12,554	30,202	24	19	25×5	25×2	32	1	1	0		①	根 石
4,792	785	10,739	21,426	25	9	25×5	25×2	33	1	1	1		(1)	男 川
4,604	787	8,025	16,076	14	13	25×5	25×2	19	1	1	0		(1)	美 合
6,288	790	9,411	26,915	30	17	25×5	25×2	37	1	1、①	0		1	緑 丘
5,831	773	16,088	23,539	32	11	25×5	25×2	41	1	2	0		1	羽 根
7,969	790	11,626	26,278	31	23	25×5	25×2	38.5	1	2	0		(1)	岡 崎
6,647	1,279	9,746	22,054	32	15	25×5	25×3	42.5	2	2	0		1	六 名
5,046	787	8,115	29,055	21	10	25×5	25×2	27	1	1	0		1	三 島
6,551	790	11,244	29,947	27	19	25×5	25×2	38	1	3	1		1	竜 美 丘
5,275	1,262	16,082	25,980	20	13	25×5	25×2	27	1	1	0		(1)	連 尺
5,745	790	12,024	22,726	29	13	25×5	25×2	38	1	2	0		1	広 幡
6,929	1,269	21,389	44,672	39	15	25×7	25×3	49.5	2	2	0		1 (1)	井 田
3,998	1,263	11,678	25,920	9	12	25×5	25×2	13	1	1	0		1	愛 宕
5,708	832	16,277	31,791	26	10	25×5	25×2	35.5	1	1	0		1	福 岡
3,259	790	12,435	36,952	8	10	25×5	25×2	12	1	1	0		2	竜 谷
4,391	789	5,380	12,312	15	16	25×5	25×2	21	1	1	0		(1)	藤 川
3,741	590	8,631	12,564	13	12	25×5	25×1	21.5	1	1	0		1	山 中
5,664	790	10,820	40,611	14	24	25×5	25×2	21.5	1	1	0		(1)	本 宿
2,303	589	8,004	17,400	8	8	25×3	25×1	12	1	1	0		1	生 平
2,009	623	5,201	10,644	6	7	25×3	25×1	10	1	1	0		(1)	秦 梨
2,356	626	8,814	22,476	8	6	25×3	25×1	12	1	1	0		①	常 磐 南
2,341	634	8,502	26,568	7	7	25×3	25×2	11	1	1	0		(1)	常 磐 東
4,003	790	14,155	33,026	10	14	25×5	25×2	15	1	1	0		1	常 磐
2,533	626	10,117	19,498	9	7	25×3	25×1	13	1	1	0		①	恵 田
2,546	832	8,484	20,651	10	7	25×5	25×2	14	1	1	0		1	奥 殿
6,763	790	10,573	23,100	28	17	25×5	25×2	33.5	1	1	0		(1)	細 川
4,667	795	8,351	22,085	20	11	25×5	25×2	27	1	1	1		①	岩 津
6,513	1,399	8,120	20,147	25	17	25×5	25×2	33.5	1	1	0		(1)	大 樹 寺
5,935	790	10,996	23,471	32	12	25×5	25×2	41	1	2	1		1	大 門
5,577	792	10,189	18,857	27	10	25×5	25×2	38	1	2	0		1	矢 作 東
6,271	865	11,605	23,468	34	14	25×5	25×2	43.5	1	2	0		1	矢 作 北
4,357	803	8,783	19,375	14	12	25×5	25×2	20	1	1	1		①	矢 作 西
6,160	818	7,950	17,761	30	17	25×5	25×2	40	2	2	1		(1)	矢 作 南
3,743	790	9,749	18,955	13	9	25×5	25×2	19.5	1	1	1		1	六ツ美中部

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
36	六ツ美北部	M41.4	52-2257 (2268)	土井町字炭焼2番地	444-0204	堀田 史	596	32
37	六ツ美南部	M41.3	43-2105 (1370)	中島町字下井ノ上9番地1	444-0226	山本 和代	554	31
38	城 南	S52.4	52-2913 (2423)	城南町一丁目11番地	444-0835	石原 有理	354	23
39	上 地	S58.4	53-0501 (0506)	上地三丁目31番地	444-0823	柴田 泰枝	668	37
40	小 豆 坂	S59.4	54-1651 (1652)	戸崎町字藤狭13番地5	444-0841	塚谷 保	422	28
41	北 野	S60.4	31-1112 (1113)	北野町字山下1番地1	444-0951	尾崎 智佳	487	23
42	六ツ美西部	H9.4	71-2971 (2973)	赤渋町字道本33番地	444-0241	浅野 博志	641	45
43	豊 富	M7.3	82-3073 (3713)	檉山町字西之沢3番地	444-3622	加藤 環	160	7
44	夏 山	M7.8	82-3015 (3649)	夏山町字細田7番地1	444-3621	村田 貴志	26	0
45	宮 崎	M6.	83-2260 (2270)	石原町字古城9番地	444-3601	都筑 香理	21	3
46	形 埜	M6.9	84-2002 (2003)	桜形町字中嶋13番地	444-3435	鈴木 淳子	38	2
47	下 山	M5.8	84-2204 (2209)	保久町字市場16番地	444-3442	平岩 文子	17	1
		(47校)					18698	1039

Ⅳ 資 料 第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
6,722	792	11,183	22,553	27	15	25×5	25×2	37	1	1	0		(1)	六ツ美北部
5,435	790	10,892	19,798	24	10	25×5	25×2	32.5	1	1	1		(1)	六ツ美南部
6,101	790	12,739	25,783	16	21	25×5	25×2	25	1	1	0		1	城 南
5,992	832	10,856	24,901	29	11	25×5	25×2	38	1	2	0		1	上 地
5,644	833	8,492	22,289	22	15	25×5	25×2	27.5	1	1	0		(1)	小 豆 坂
5,752	834	10,131	19,543	23	16	25×5	25×2	30.5	1	1	0		1	北 野
6,312	1,252	12,504	21,698	30	15	25×5	25×2	41.5	1	2	0		(1)	六ツ美西部
3,687	1,159	10,722	22,311	9	10	25×6	25×2	14.5	1	1	0		(1)	豊 富
1,841	684	4,746	11,096	4	10	25×3	なし	8	1	1	0		(1)	夏 山
1,815	986	5,961	12,051	4	9	25×4	25×1	8	1	1	0		(1)	宮 崎
1,820		9,351	17,854	6	8	25×5	25×2	10	1	1	0		(1)	形 埜
1,612	1,137	6,466	15,887	4	9	25×4	25×1	8	1	1	0		(1)	下 山
226,390	40,431	487,300	1,075,196	915	599			1244	50.0	60①	8	0	22⑤(22)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

8 市立中学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	生 徒 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	甲 山	S22. 4	22-2664 (2665)	中町字北野東 20 番地 1	444-0015	宇都木靖弘	727	20
2	美 川	S22. 4	21-1898 (4688)	丸山町字ハサマ 4 番地 1	444-0006	石原 昌仁	483	28
3	南	S22. 4	51-4664 (4665)	戸崎町字野畔 8 番地 1	444-0840	岡 秀之	411	23
4	竜 海	S22. 4	51-4538 (4539)	明大寺町字栗林 48 番地 1	444-0864	安藤 眞樹	1002	30
5	葵	S22. 4	21-0171 (0172)	伊賀新町 31 番地 1	444-0078	太田 幹也	686	34
6	城 北	S36. 4	21-8103 (8104)	城北町 3 番地 1	444-0064	熊谷 清一	445	14
7	福 岡	S22. 4	51-9057 (9099)	福岡町字井杭 3 番地	444-0825	手島 英樹	433	16
8	東 海	S22. 4	48-2821 (2822)	山綱町字中柴 51 番地	444-3513	長谷川勝一	447	10
9	河 合	S22. 4	47-2012 (2023)	茅原沢町字上平 7 番地	444-3335	鈴木 淳司	49	4
10	常 磐	S22. 4	46-2028 (2054)	滝町字山籠 109 番地	444-3173	山崎 彰伯	228	3
11	岩 津	S22. 4	45-2022 (2595)	東蔵前二丁目 36 番地	444-2145	丹下 義輝	382	14
12	矢 作	S22. 4	31-3808 (3809)	暮戸町字蓮代 18 番地	444-0941	浅井 貞人	663	16
13	六 ツ 美	S22. 4	43-2071 (2398)	下青野町字井戸尻 72 番地	444-0244	兵藤 輝徳	445	9
14	矢 作 北	S56. 4	31-3611 (3612)	東大友町字筆屋 43 番地 1	444-0903	板倉 眞介	852	20
15	新 香 山	S59. 4	45-2026 (7803)	桑原町字大沢 20 番地 86	444-2141	中根 正光	450	10
16	竜 南	S61. 4	54-4400 (4401)	緑丘二丁目 17 番地	444-0806	竹平 眞仁	568	8
17	北	S63. 4	22-8740 (8739)	上里一丁目 10 番地	444-2136	早川 周宏	579	22
18	六 ツ 美 北	H4. 4	54-2431 (2432)	井内町字六反 2 番地	444-0203	成田 隆行	779	34
19	額 田	S47. 4	82-3160 (3283)	檜山町字原新田 88 番地	444-3622	鈴木 大	142	8
20	翔 南	H25. 4	71-1122 (1188)	針崎町字春咲 1 番地 2	444-0827	小田 英宣	715	16
		(20 校)					10486	339

Ⅳ 資 料 第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (Ⅹコース) 標準	県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室		校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,604	1,399	15,103	37,634	26	20	25×7	50	1	2	0		1 ①	甲 山
6,740	1,621	13,107	25,885	21	25	25×6	37.5	1	2	0		1	美 川
8,009	1,621	13,600	26,523	18	28	25×7	33	1	1	0	(1)	1	南
8,946	1,966	17,968	44,794	35	20	25×6	66.5	2	2	0		1	竜 海
6,678	1,384	23,033	52,852	26	17	50×8	47	1	2	0		2	葵
6,423	1,840	15,799	26,913	17	21	25×7	33	1	1	0	(1)	1	城 北
6,325	1,707	19,043	32,136	19	16	25×7	35	1	1	1	(1)	①	福 岡
7,027	1,586	15,535	29,562	16	27	25×7	30	1	2	1		①	東 海
2,364	743	8,322	15,937	6	8	25×4	14	1	1	0		①	河 合
4,421	1,929	9,601	17,450	10	11	25×5	20	1	1	0		1	常 磐
5,221	1,883	18,740	30,117	16	14	25×7	29	1	1	1		1	岩 津
7,479	1,493	20,831	34,766	23	20	25×7	42	1	2	0		(1)	矢 作
7,183	850	15,770	28,839	16	21	25×7	29	1	1	0	(1)	(1)	六 ツ 美
7,610	870	15,992	28,439	30	20	25×7	53	2	2	1		1	矢 作 北
6,309	1,273	18,727	35,649	16	21	25×7	28	1	1	0	(1)	①	新 香 山
6,735	1,146	16,779	29,001	19	23	25×7	33	1	1	0	(1)	①	竜 南
7,408	1,153	16,276	30,507	21	20	25×7	38	1	1	0	(1)	1	北
8,471	1,177	18,096	30,242	28	18	25×7	52	2	2	0		①	六 ツ 美 北
5,769	3,362	20,479	53,031	8	25	25×7	16	1	1	0		①	額 田
8,028	1,510	17,026	31,584	26	17	25×7	46	1	2	0		①	翔 南
134,750	30,513	329,827	641,861	397	392		732	23.0	29.0	4	(7)	11⑨/2	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

9 児童生徒数一覽

(令和8年5月1日現在)

区分	番号	学校名	1年						2年						3年					
			男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級
小	1	梅園	43	2	36	1	82	3	51	6	46	1	104	4	68	2	39	0	109	4
	2	根石	33	3	47	4	87	3	34	3	51	1	89	3	38	5	43	2	88	3
	3	男川	45	3	38	1	87	3	50	4	47	0	101	4	43	2	44	0	89	3
	4	美合	22	4	27	1	54	2	20	1	28	0	49	2	22	2	17	1	42	2
	5	緑丘	51	2	49	0	102	4	51	7	48	2	108	4	63	6	58	1	128	4
	6	羽根	53	5	54	2	114	4	56	3	57	1	117	4	66	2	62	4	134	4
	7	岡崎	48	4	57	1	110	4	62	7	53	1	123	4	63	10	57	2	132	4
	8	六名	50	6	52	0	108	4	68	11	59	2	140	4	66	5	72	1	144	4
	9	三島	29	3	36	3	71	3	31	5	44	1	81	3	35	1	29	0	65	2
	10	竜美丘	43	4	29	1	77	3	48	5	43	0	96	3	57	6	50	0	113	4
	11	連尺	29	5	43	0	77	3	24	3	36	1	64	2	27	4	43	2	76	2
	12	広幡	53	6	34	2	95	3	44	5	33	0	82	3	33	13	43	2	91	3
	13	井田	64	5	70	1	140	5	70	6	68	0	144	5	77	3	74	5	159	5
	14	愛宕	16	2	10	3	31	1	13	1	9	1	24	1	9	0	16	0	25	1
	15	福岡	38	2	43	3	86	3	41	4	44	1	90	3	46	7	55	0	108	3
	16	竜谷	7	0	5	0	12	1	11	0	15	1	27	1	8	0	8	0	16	1
	17	藤川	23	0	25	0	48	2	25	5	26	1	57	2	32	1	18	2	53	2
	18	山中	15	0	15	0	30	1	16	1	21	0	38	2	14	1	23	1	39	2
	19	本宿	18	0	22	0	40	2	22	1	28	0	51	2	17	1	20	1	39	2
	20	生平	1	1	0	0	2	1	2	0	3	0	5	0	3	2	3	0	8	1
校	21	秦梨	2	1	4	0	7	1	1	0	1	0	2	1	2	0	2	0	4	1
	22	常磐南	5	1	4	0	10	1	6	0	8	0	14	1	11	1	7	0	19	1
	23	常磐東	2	1	3	0	6	1	1	0	0	0	1	0	3	0	4	0	7	1
	24	常磐	13	2	13	0	28	1	13	1	14	0	28	1	10	2	7	1	20	1
	25	恵田	3	0	1	0	4	1	3	0	2	0	5	1	2	1	3	0	6	0
	26	奥殿	9	1	9	0	19	1	1	1	10	0	12	1	4	3	5	0	12	1
	27	細川	35	4	33	1	73	3	31	7	36	2	76	3	45	8	37	1	91	3
	28	岩津	37	2	37	0	76	3	25	4	32	2	63	2	31	6	35	2	74	2
	29	大樹寺	52	3	48	1	104	4	39	3	51	2	95	3	58	2	60	3	123	4
	30	大門	59	4	34	0	97	3	57	7	44	2	110	4	57	7	65	2	131	4
	31	矢作東	47	1	59	1	108	4	60	2	52	0	114	4	63	2	51	1	117	4
	32	矢作北	52	5	57	0	114	4	63	4	54	2	123	4	63	8	61	3	135	4
	33	矢作西	25	2	24	1	52	2	14	1	13	1	29	1	21	2	13	0	36	1
	34	矢作南	47	2	47	2	98	3	57	8	62	2	129	4	59	3	53	0	115	4
	35	六ツ美中部	21	1	19	0	41	2	18	3	22	0	43	2	22	1	27	1	51	2
	36	六ツ美北部	47	7	30	0	84	3	48	8	53	3	112	4	47	7	52	1	107	3
	37	六ツ美南部	50	0	34	0	84	3	51	8	32	1	92	3	47	4	42	4	97	3
	38	城南	20	3	33	1	57	2	31	0	25	0	56	2	27	0	34	0	61	2
	39	上地	43	4	52	6	105	3	56	2	56	0	114	4	48	4	61	3	116	4
	40	小豆坂	26	4	29	0	59	2	29	3	35	1	68	3	36	3	44	1	84	3
学	41	北野	41	5	38	2	86	3	34	4	33	1	72	3	45	3	36	1	85	3
	42	六ツ美西部	43	7	49	1	100	3	53	5	42	1	101	3	51	5	56	2	114	4
	43	豊富	12	2	7	0	21	1	10	0	13	0	23	1	12	0	13	1	26	1
	44	夏山	2	0	2	0	4	1	1	0	3	0	4	1	2	0	1	0	3	1
	45	宮崎	3	1	1	0	5	1	1	0	2	0	3	0	2	1	2	0	5	1
	46	形埜	4	0	1	0	5	1	6	0	2	0	8	1	2	1	2	0	5	1
	47	下山	2	0	1	0	3	1	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	2	1
		計	1,383	120	1,361	39	2,903	113	1,449	150	1,456	34	3,089	113	1,557	147	1,549	51	3,304	116
中	1	甲山	103	5	129	2	239	7	126	4	117	4	251	7	124	4	128	1	257	7
	2	美川	68	7	77	6	158	5	96	4	71	4	175	5	91	2	80	5	178	5
	3	南	55	6	68	2	131	4	76	4	75	2	157	5	63	6	74	3	146	4
	4	竜海	154	10	167	2	333	10	162	7	185	2	356	10	157	6	177	3	343	9
	5	葵	120	4	112	4	240	7	101	10	116	7	234	7	129	8	108	1	246	6
	6	城北	70	5	69	0	144	4	73	1	77	5	156	5	81	2	75	1	159	4
	7	福岡	48	5	71	4	128	4	72	1	75	2	150	5	93	3	74	1	171	5
	8	東海	89	0	55	1	145	5	68	3	55	1	127	4	95	4	85	1	185	5
	9	河合	10	1	7	1	19	1	7	0	6	1	14	1	12	1	7	0	20	1
	10	常磐	31	0	29	0	60	2	50	2	37	1	90	3	45	0	36	0	81	3
	11	岩津	71	5	53	0	129	4	62	3	70	1	136	4	63	4	63	1	131	4
	12	矢作	105	7	108	1	221	7	98	1	116	1	216	7	111	5	125	1	242	6
	13	六ツ美	83	3	79	0	165	5	76	2	65	1	144	5	58	2	84	1	145	4
	14	矢作北	140	5	136	1	282	8	146	5	146	4	301	9	134	4	150	1	289	8
	15	新香山	72	2	68	1	143	4	79	2	71	1	153	5	65	4	95	0	164	4
	16	竜南	98	5	91	0	194	6	99	1	89	0	189	6	95	2	96	0	193	5
	17	北	102	5	104	1	212	6	94	5	80	2	181	5	93	4	106	5	208	5
	18	六ツ美北	125	7	112	3	247	7	146	11	136	4	297	9	140	8	120	1	269	7
	19	額田	26	2	18	1	47	2	26	1	27	0	54	2	29	2	16	2	49	2
	20	翔南	137	2	121	0	260	8	129	6	120	2	257	8	106	3	102	3	214	6
学		計	1,707	86	1,674	30	3,497	106	1,786	73	1,734	45	3,638	112	1,784	74	1,801	31	3,690	100
		小・中計	3,090	206	3,035	69	6,400	219	3,235	223	3,190	79	6,727	225	3,341	221	3,350	82	6,994	216

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(令和8年5月1日現在)

4年						5年						6年						特別支援		合計			
男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	(計)	級	男	女	計	級
50	3	43	2	98	3	50	3	70	0	123	4	65	2	55	1	123	4	23	5	345	294	639	27
45	3	48	1	97	3	39	2	52	2	95	3	52	2	55	0	109	4	28	5	259	306	565	24
63	1	52	3	119	4	47	4	44	2	97	3	50	4	44	2	100	3	26	5	316	277	593	25
18	1	13	0	32	1	17	0	26	0	43	2	19	1	27	2	49	2	13	3	127	142	269	14
56	4	54	1	115	4	61	3	64	0	128	4	55	1	51	1	108	4	28	6	360	329	689	30
56	5	69	2	132	4	59	7	61	3	130	4	51	5	61	0	117	4	39	8	368	376	744	32
58	3	68	0	129	4	66	1	68	1	136	4	49	1	70	5	125	4	36	7	372	383	755	31
64	5	70	1	140	4	71	3	77	0	151	5	69	4	75	2	150	5	40	6	422	411	833	32
30	1	33	0	64	2	48	2	41	0	91	3	49	2	45	0	96	3	18	5	236	232	468	21
39	2	60	1	102	3	54	1	56	1	112	4	73	3	50	2	128	4	26	6	335	293	628	27
36	1	30	0	67	2	40	1	34	2	77	3	38	1	34	1	74	3	21	5	209	226	435	20
41	5	49	1	96	3	52	6	46	3	107	3	39	6	45	2	92	3	51	11	303	260	563	29
91	9	98	1	199	6	73	3	101	0	177	5	91	3	84	2	180	5	38	8	495	504	999	39
14	2	13	4	33	1	11	4	16	0	31	1	9	1	16	0	26	1	18	3	82	88	170	9
47	3	37	1	88	3	55	4	66	2	127	4	48	2	49	3	102	3	32	7	297	304	601	26
10	1	6	0	17	1	10	0	12	0	22	1	3	1	11	0	15	1	3	2	51	58	109	8
17	4	26	1	48	2	34	3	29	0	66	2	17	2	22	0	41	2	19	3	163	150	313	15
17	1	22	0	40	2	14	3	23	1	41	2	20	3	12	1	36	1	12	3	105	119	224	13
18	1	26	2	47	2	14	3	29	0	46	2	34	1	19	0	54	2	10	2	130	147	277	14
3	0	2	0	5	1	4	1	6	0	11	1	5	2	3	0	10	1	6	3	24	17	41	8
3	0	0	0	3	0	1	0	3	0	4	1	3	0	5	0	8	1	1	1	13	15	28	6
12	2	11	0	25	1	11	2	10	0	23	1	14	1	16	1	32	1	8	2	66	57	123	8
2	0	6	1	9	1	4	0	4	0	8	1	5	0	4	0	9	1	2	2	18	22	40	7
19	4	18	0	41	2	11	0	16	1	28	1	14	1	18	0	33	1	12	3	90	88	178	10
3	2	4	0	9	1	1	0	3	0	4	1	5	2	2	1	10	1	6	4	22	16	38	9
8	0	5	2	15	1	6	0	7	0	13	1	8	0	5	0	13	1	7	4	41	43	84	10
42	6	50	1	99	3	55	5	47	2	109	3	71	5	57	2	135	4	44	9	314	269	583	28
36	5	42	2	85	3	38	5	28	1	72	2	43	0	48	0	91	3	29	5	232	229	461	20
40	3	33	1	77	3	52	4	55	1	112	4	54	1	38	2	95	3	26	4	311	295	606	25
55	7	65	2	129	4	68	7	75	1	151	5	64	5	54	5	128	4	49	8	397	349	746	32
49	1	72	2	124	4	53	4	54	0	111	4	54	1	51	2	108	3	17	4	337	345	682	27
47	9	63	0	119	4	80	4	64	4	152	5	61	8	61	4	134	4	51	9	404	373	777	34
20	3	26	1	50	2	23	5	22	0	50	2	19	4	27	1	51	2	21	4	139	129	268	14
52	5	72	2	131	4	65	4	65	3	137	4	58	5	61	1	125	4	37	7	365	370	735	30
19	0	14	0	33	1	27	1	30	3	61	2	18	0	10	0	28	1	10	3	131	126	257	13
59	0	53	0	112	4	48	5	50	0	103	3	58	1	51	0	110	4	32	6	335	293	628	27
56	3	47	2	108	3	54	3	52	1	110	4	44	2	45	3	94	3	31	5	322	283	585	24
31	5	25	3	64	2	35	3	30	2	70	2	33	5	30	1	69	2	23	4	193	184	377	16
50	5	62	1	118	4	57	7	59	0	123	4	73	4	51	1	129	4	37	6	353	352	705	29
41	6	35	1	83	3	38	3	23	2	66	2	48	4	38	0	90	3	28	6	241	209	450	22
45	2	33	0	80	3	44	0	60	1	105	3	47	2	31	2	82	3	23	5	272	238	510	23
53	1	52	7	113	4	56	7	56	4	123	4	68	4	62	1	135	4	45	8	353	333	686	30
14	1	16	0	31	1	16	2	15	0	33	1	16	1	16	0	33	1	7	3	86	81	167	9
3	0	3	0	6	0	0	0	5	0	5	1	1	0	3	0	4	0	0	0	9	17	26	4
0	0	3	0	3	0	3	0	1	0	4	1	2	1	1	0	4	0	3	1	14	10	24	4
3	0	4	0	7	0	1	0	4	0	5	1	4	1	5	0	10	0	2	2	22	18	40	6
3	0	2	0	5	0	3	0	1	0	4	1	2	0	0	0	2	0	1	1	12	6	18	4
1,538	125	1,635	49	3,347	113	1,669	125	1,760	43	3,597	124	1,723	105	1,618	51	3,497	117	1,039	219	10,091	9,646	19,737	915
																		20	6	366	381	747	27
																		28	6	268	243	511	21
																		23	5	210	224	434	18
																		30	6	496	536	1,032	35
																		34	6	372	348	720	26
																		14	4	232	227	459	17
																		16	5	222	227	449	19
																		10	2	259	198	457	16
																		4	3	31	22	53	6
																		3	2	128	103	231	10
																		14	4	208	188	396	16
																		16	3	327	352	679	23
																		9	2	224	230	454	16
																		20	5	434	438	872	30
																		10	3	224	236	460	16
																		8	2	300	276	576	19
																		22	4	303	298	601	20
																		34	5	437	376	813	28
																		8	2	86	64	150	8
																		16	4	383	348	731	26
																		339	79	5,510	5,315	10,825	397
1,538	125	1,635	49	3,347	113	1,669	125	1,760	43	3,597	124	1,723	105	1,618	51	3,497	117	1,378	298	15,601	14,961	30,562	1,312

10 市立小中学校以外の学校等（各種学校を除く）

(1) 研究機関

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	自然科学研究機構 (分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所)	明大寺町字西郷中 38 番地	55-7000

(2) 小・中・養護・盲・聾学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	愛知教育大学附属岡崎小学校	六供町字八貫 15 番地	21-2237
〃	愛知教育大学附属岡崎中学校	明大寺町字栗林 1 番地	51-3637
〃	愛知教育大学附属特別支援学校	六供町字八貫 15 番地	21-7300
県 立	岡 崎 盲 学 校	竜美西一丁目 11 番地 5	51-1270
〃	岡 崎 聾 学 校	西阿知和町字御用田 1 番地 23	45-2830
〃	岡 崎 特 別 支 援 学 校	本宿町字古新田 78 番地	48-2601
〃	み あ い 特 別 支 援 学 校	美合町字並松 1 番地 51	57-0013

(3) 高等学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
県 立	岡 崎 高 等 学 校	明大寺町字伝馬 1 番地	51-0202
〃	岡 崎 北 高 等 学 校	石神町 17 番地 1	22-2536
〃	岡 崎 東 高 等 学 校	竜泉寺町字後山 27 番地	52-8911
〃	岡 崎 西 高 等 学 校	日名南町 7 番地	25-0751
〃	岩 津 高 等 学 校	東蔵前町字馬場 5 番地	45-2005
〃	岡 崎 工 科 高 等 学 校	羽根町字陣場 47 番地	51-1646
〃	岡 崎 商 業 高 等 学 校	栄町三丁目 76 番地	21-3599
私 立	人間環境大学附属岡崎高等学校	稲熊町字三丁目 110 番地	22-0274
〃	光ヶ丘女子高等学校	大西町字奥長入 52 番地	51-5651
〃	岡 崎 城 西 高 等 学 校	中園町字川成 98 番地	31-4165
〃	愛知産業大学三河高等学校	岡町字原山 12 番地 10	48-5211

IV 資 料

第 2 学校関係

(4) 大学・短期大学

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
私 立	愛 知 学 泉 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	愛 知 産 業 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4511
〃	人 間 環 境 大 学	本宿町字上三本松 6 番地 2	48-7811
〃	岡 崎 女 子 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 学 泉 短 期 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	岡 崎 女 子 短 期 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 産 業 大 学 短 期 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-8282

(5) 認定こども園・幼稚園

設置区分	園 名	所 在 地	電話番号
市立	梅 園 こ ど も 園	梅園町字 2 丁目 6 番地 1	22-0469
〃	広 幡 こ ど も 園	広幡町 11 番地 4	21-3723
〃	矢 作 こ ど も 園	矢作町字西河原 49 番地	31-3536
私立	愛 隣 幼 稚 園	六供町字西茶臼 15 番地	21-2538
〃	嫩 幼 稚 園	魚町一丁目 8 番地	21-0708
〃	第 一 早 蕨 幼 稚 園	欠町字狐ヶ入 21 番地	22-1678
〃	第 二 早 蕨 幼 稚 園	洞町字八王子 10 番地 1	22-1923
〃	め ぐ み 幼 稚 園	羽根 3 丁目 7 番地 1	51-2322
〃	みそのマリア 幼 稚 園	明大寺町字向山 2 番地 120	51-4046
〃	聖 カ タ リ ナ 幼 稚 園	大西町字奥長入 52 番地	51-7127
〃	竹 の 子 幼 稚 園	養川町 3 丁目 6 番地 18	52-2554
〃	レ オ ナ 第 一 幼 稚 園	真伝町字鐘鑄 1 番地 5	24-4859
〃	レ オ ナ 第 二 幼 稚 園	西阿知和町字御用田 208 番地 5	45-2729
〃	あ さ ひ こ 幼 稚 園	桑原町字大沢 29 番地 7	45-5300
〃	本 宿 幼 稚 園	本宿町字下トコフサ 1 番地 9	48-6973
〃	か お る 幼 稚 園	滝町字芳殿 80 番地	46-3251
〃	橋 目 幼 稚 園	橋目町字毘沙門 11 番地	32-2088
〃	た つ み 幼 稚 園	緑丘一丁目 2 番地 3	53-0250
〃	み や こ 幼 稚 園	上地町道ノ後 30	53-0161
〃	ま こ と 幼 稚 園	大門四丁目 5 番地 16	24-7988
〃	長 瀬 台 幼 稚 園	橋目町字割塚 3 番地 3	32-6721
〃	み や こ 第 二 幼 稚 園	宮地町字柳畑 58 番地 3	53-0039
〃	矢 作 白 鳥 幼 稚 園	東本郷町字川原田 39 番地	32-6810
〃	やはぎみやこ認定こども園	富永町字平田 10 番地 1	32-8100
〃	むつみみやこ 幼 稚 園	野畑町字花ノ木原 50	72-4839

※ 市立幼稚園は、平成 29 年 4 月から幼保連携型認定こども園へ移行

第3 体育施設

1 市内体育施設

(令和5年度)

施設名	所在地	開設年月日	内 容
岡崎中央総合公園 総合体育館	高隆寺町峠1	H3. 12. 15	体育館 8,540 m² 武道館 6,380 m² 錬成道場 4,210 m² エントランス 3,850 m² エントランス棟 事務室 会議室 応接室 喫茶室 ロビー ホール 観客用エントランスホール 体育館棟 競技場 2,646 m² (63m×42m) 移動ステージ(2.4m×1.2m)49 セット 観客席 特別席:32 席、記者席:16 席、 固定席:2,535 席、車椅子席:5 ペア (10 席分)、 移動収納席:2,301 席 ◎ バレーボール 4 面 バスケットボール 3 面 卓球 50 台 バドミントン 12 面 武道館棟 競技場 1,722 m² (42m×41m) ステージ(36m×8m) 観客席 固定 1,520 席 移動収納 624 席 ◎ 剣道 4 面 柔道 4 面 バレーボール 2 面 バスケットボール 2 面 錬成道場棟 第1錬成道場 客席 180 席 ◎ 剣道 540 m² (18m×30m) 2 面 第2錬成道場 客席 180 席 ◎ 柔道 540 m² (18m×30m) 2 面 トレーニングルーム ◎ トレーニング器具 31 種 56 台 ランニングコース 約 120m
岡崎市体育館	六名本町7	S51. 7. 1	敷地 12,996 m² 延床面積 13,256 m² 競技場 2,523 m² 剣道場 182 m² 柔道場 182 m² トレーニング室 187 m² 会議室 食堂 観 客席 2,544 席 駐車場 300 台 ◎バレーボール4 面 バスケットボール3 面 ハンドボール1 面 テニス3 面 卓球 30 台 バドミントン 12 面 体操競技1 式
岡崎市矢作体育館	宇頭町小藪49	S56. 4. 1	延床面積 1,186 m² 競技場 651 m² ◎バレーボール1 面 (練習 2 面可能) バスケットボール1 面 バドミントン3 面 テニス1 面 卓球 10 台
岡崎市井田体育館	伊賀新町10-3	H21. 4. 1	延床面積 516.6 m² 競技場 400 m² ◎バレーボール1 面 バドミントン2 面 卓球 8 台
岡崎市六ツ美体育館	下青野町本郷 99-1	S60. 4. 29	延床面積 1,269.96 m² 体育室 945 m² 男・女更衣室各 16.96 m² 談話室 27.79 m² 器具庫 83.60 m² ◎バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 テニス 1 面 バドミントン 6 面 卓球 10 台
花園体育センター	桑原町大沢20- 90	S62. 8. 1	(屋内運動場) 延床面積 1,188 m² 体育室 864 m² ミーティング室 40 m² 男・女更衣室各 12.06 m² ベビーホール 13.95 m² 器具庫 108 m² 事務室 13.95 m² ロビー ◎バレーボール 2 面 バドミントン 3 面 バスケットボール 1 面 卓球 16 台 (屋外運動場) 大広場 9,032 m² 照明設備 ◎軟式野球 1 面 (兼ソフトボール 1 面) 中広場 2,672 m² ◎テニスコート(クレート) 2 面
龍北総合運動場 軽運動室	真伝町亀山12- 2	R2. 7. 5	(約 16.5m×7m/約 115 m²) ◎ヨガ 体操 ダンス

IV 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍 北 総 合 運 動 場 陸 上 競 技 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 4	◎トラック（全天候型舗装）8 レーン（ホームストレッチは 9 レーン）
龍 北 総 合 運 動 場 サッカー・ラグビー場	真伝町亀山 12-2	R1. 12. 1	◎サッカー 1 面 少年サッカー 2 面 ラグビー 1 面 人工芝
岡 崎 中 央 総 合 公 園 運 動 広 場	高隆寺町峠 1	H7. 4. 1	敷地面積 17,900 m ² グラウンド面積 9,726 m ² ◎ソフトボール 2 面 サッカー、ラグビー 1 面 陸上競技場 200 mトラック 照明設備 メタルハライドランプ 64 灯 平均照度 213Lx
龍 北 総 合 運 動 場 多 目 的 運 動 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	◎サッカー（少年） 1 面 フットサル 2 面 グラウンドゴルフ ゲートボール 天然芝
岡 崎 中 央 総 合 公 園 多 目 的 広 場	高隆寺町峠 1	H10. 11. 1	敷地面積 26,000 m ² グラウンド面積 18,000 m ² ◎サッカー 1 面、ラグビー 1 面 移動式バックネット 2 組
岡 崎 中 央 総 合 公 園 球 技 場	高隆寺町峠 1	H17. 4. 29	グラウンド面積 16,000 m ² 本部管理棟 147 m ² （本部室・更衣室・便所等） スタンド（1,500 人収容）土盛、芝 ◎軟式野球 1 面 ソフトボール 2 面 ゲートボール 1 6 面程度
境 公 園 運 動 場	大門一丁目 1	S48. 2. 1 (照明 S54. 9. 15)	9,500 m ² ◎軟式野球 2 面（兼ソフトボール 2 面） サッカー 1 面 照明設備 1 KW 水銀灯 94 灯 940W ナトリウム灯 36 灯
明 神 橋 公 園 運 動 場	上六名一丁目 14	S55. 4. 1 (照明 S55. 4. 17)	8,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 60 灯
日 名 公 園 運 動 場	日名南町 13	S42. 9. 1 (照明 S60. 4. 1)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面 照明設備 1 KW 水銀灯 56 灯 600W ナトリウム灯 32 灯
六 名 公 園 運 動 場	六名本町 8	S50. 9. 1 (照明 S55. 4. 3)	13,400 m ² ◎ソフトボール 2 面（兼陸上競技 200mトラック） サッカー 1 面 テニス練習場 3～5 人用（壁打ち） 照明設備 1 KW 水銀灯 56 灯（ソフトボール 1 面分）
梅 園 公 園 運 動 場	稲熊町六丁目 135-1	H4. 3. 25	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
美 合 公 園 運 動 場	美合町地蔵野 1-4	S42. 4. 1	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面
みどり公園運動場	緑丘二丁目 18	S59. 4. 1	6,084 m ² ◎ソフトボール 1 面
矢 作 公 園 運 動 場	中園町大縄 1	H4. 3. 25	12,600 m ² ◎ソフトボール 2 面
井 田 公 園 運 動 場	井田新町 10	S46. 4. 1	7,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
三百田公園運動場	大樹寺三丁目 21	S51. 4. 1	8,000 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
堤 下 公 園 運 動 場	上里一丁目 24	S54. 6. 1	8,500 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）
東 部 運 動 場	桑谷町平田ヶ入 25-3	S58. 4. 4	14,649 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面）駐車場 40 台
美 矢 井 橋 河 川 緑 地 運 動 場	高橋町地内矢作川 河川敷	S56. 4. 1 (S63. 7. 1)	23,363 m ² ◎ソフトボール 5 面（A、B、C、D、E 面）
	上青野町地内矢作川 河川敷	S59. 4. 8	8,840 m ² ◎サッカー 1 面
	中之郷町地内矢作川 河川敷	S54. 6. 10	8,272 m ² ◎ソフトボール 1 面（大聖寺）
渡 橋 河 川 緑 地 運 動 場	渡町地内矢作川 河川敷	S55. 11. 1	7,759 m ² ◎ソフトボール 2 面（A、B 面）ゲートボール場 6 面
	天白町地内矢作川 河川敷	H8. 4. 1	8,500 m ² ◎サッカー 1 面
日 名 橋 河 川 緑 地 運 動 場	舳越町地内矢作川 河川敷	S57. 10. 1	5,860 m ² ◎子どもソフトボール 1 面 少年サッカー 1 面
額 田 運 動 場	南大須町トドメキ 5	S63. 4. 1 (照明 H4. 8. 27)	14,114 m ² ◎軟式野球 1 面（兼ソフトボール 1 面） 照明設備 1 KW 水銀灯 108 灯

IV 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 テニスコート	真伝町亀山 12-2	R1.12.1	◎テニスコート 8 面 人工芝（砂入り ナイター施設あり）
岡崎中央総合公園 庭 球 場	高隆寺町峠 1	H5.5.22	敷地面積 18,230 m ² クラブハウス センターコート 砂入人工芝 観客席 1,200 人 ◎ 全天候 1 面 一般コート 砂入人工芝 観客席 2,350 人◎ 全天候 16 面 練習コート 砂入人工芝 ◎ 全天候 2 面 照明灯 53 基
梅園公園庭球場	稲熊町六丁目 135-1	1コート H2.4.1 2コート H3.4.1	1,680 m ² ◎全天候型（砂入人工芝） 2 面
緑丘テニスコート	緑丘一丁目 2-9	S55.4.1	2,754 m ² ◎クレークコート 3 面
乙川テニスコート	板屋町 290-1	H2.5.1	5,440 m ² ◎全天候型（ハードコート） 3 面 ローラースケート場 500 m ²
牧平公園庭球場	牧平町岩田 3-35	S59.2.10	722 m ² ◎クレークコート 1 面 練習用壁打ちコート 1 面
中 伊 西 テニスコート	中伊西町坂口 3-1	H10.2.13	1,994 m ² ◎全天候型（砂入人工芝） 1 面 練習用壁打ちコート 1 面 照明設備 1KW ハロゲン灯 10 灯
岩津運動広場	岩津町東山 18-1	S56.11.1	1,800 m ² ◎子どもソフトボール 1 面
大幡運動広場	大幡町一仏 33-3	S59.4.1	7,951 m ² ◎ソフトボール 1 面
舞木運動広場	舞木町仏石 10-1	S60.5.1	11,693 m ² ◎ソフトボール 1 面
奥殿運動広場	奥殿町仲西 68-2	S61.4.27	8,252 m ² ◎ソフトボール 1 面
美合運動広場	岡町原山 2	S61.10.26	12,820 m ² ◎ソフトボール 1 面
藤川運動広場	藤川町西大蓮坊 1-2	H1.4.16	10,700 m ² ◎ソフトボール 1 面
六南あおみ野 （定国町運動広場）	定国町郷外 41-1	H13.4.1	13,395 m ² ◎ソフトボール 1 面
岡崎中央総合公園 野球場（市民球場）	高隆寺町峠 1	H3.5.18	グラウンド面積 14,536 m ² 収容人員 20,000 人（内野 8,000 人 外野 12,000 人） スコアボード（フルカラーLED 方式） 照明灯基数 6 基 平均照度 バッテリー間 2,000Lx 内野 1,500Lx 外野 750Lx
龍北総合運動場 野 球 場	真伝町亀山 12-2	R2.7.5	両翼 99.1m・中堅 122.0m（野球） 両翼・中堅 68.58m（ソフトボール） 硬式野球 1 面 軟式野球 1 面 ソフトボール 2 面
岡崎中央総合公園 弓 道 場	高隆寺町峠 1	H6.4.16	敷地面積 9,800 m ² 鉄骨造平家建 延床面積 1,525.38 m ² 射場 近的（距離 28m）12 人立 遠的（距離 60m）6 人立 主要室面積 近的射場 250.00 m ² 遠的射場 130.00 m ² 巻わら室 84.00 m ² 研修室 80.00 m ² 控室、更衣室、便所、倉庫等 981.38 m ²
岡崎中央総合公園 相撲場	高隆寺町峠 1	H6.4.16	鉄骨造平家建 延床面積 121.00 m ² 付属設備 更衣室 便所 練習土俵 放送設備
龍北総合運動場 アーチェリー場	真伝町亀山 12-2	R1.6.1	シューティングライン 30m 50m 70m（20 的設置可能）
岡崎中央総合公園 アーチェリー場	高隆寺町峠 1	H8.5.1	敷地面積 1,422 m ² 鉄骨造一部 2 階建 延床面積 262.92 m ² 競技場 30m 標的数 12 個 50m 標的数 6 個（弓道遠的の共用） 主要室面積 クラブハウス 106.01 m ² 射場 112.80 m ² 的場 42.30 m ²
藤川射撃場	藤川町堤ヶ入 1-35	S35	4,500 m ² クレー射台 15 台 休憩室
羽根乗馬場	羽根町小豆坂 107	S29	4,158 m ²
カヌー練習場	桑原町嶋崎 5-1	S45.12.3	艇庫 247 m ² カヌーカヤック（9 艇） カヌーボロカヤック（5 艇）カヌーカナディアン（5 艇） （桑原町地内 巴川 水路巾 40m 長さ 1km）
グライダー練習場	八帖南町地内矢作川 河川敷	S48.4.1	初級機 1 機 中級機 1 機 上級機 1 機 ウインチ車 2 台 トレーラー 3 台
乙川ローラースポーツ場	板屋町 290 番地 1	H2.5.1 R2.3.6（リニューアルオープン）	バンク バンク to バンク 2 段式マニュアルパッド フラットレール カーブレール クォーターランプ 敷地 500 m ²

IV 資 料

第 3 体育施設

渡 橋 河 川 緑 地 ゲートボール場	渡町地内 矢作川河川敷(右岸)	S55. 11. 1	6 面
大門河川緑地マレ ットゴルフコース	上里 1 丁目 大門河川緑地(左岸)	R6. 4. 11	東コース 18 ホール パー72 全長 655m 西コース 18 ホール パー72 全長 657m

2 利用状況

(1) 岡崎市体育館

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
競 技 場	1,286	91,504	1,269	86,985	1,146	84,630
柔 剣 道 場	797	16,187	936	18,066	1,006	18,354
トレーニング室	—	21,778	—	24,319	—	23,923
会 議 室	291	7,822	334	7,541	368	7,963
個 人 利 用	—	—	124	1,027	136	1,410
合 計	2,374	137,291	2,663	137,938	2,656	136,280

(2) 矢作体育館

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	736	14,926	720	15,506	721	16,756
個 人 利 用	4	10	8	23	12	34

(3) 井田体育館

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1,094	14,360	1,079	14,109	1,069	13,607
個 人 利 用	2	6	3	12	3	6

(4) 六ツ美体育館（旧勤労者体育センター）

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1,169	25,683	1,190	25,513	1,300	26,429

(5) 花園体育センター

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	974	18,222	1,190	20,554	1,200	23,088

IV 資 料

第 3 体育施設

(6) 運動場

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園	776	18,954				
境 公 園	681	48,726	708	51,584	670	50,199
明 神 橋 公 園	484	8,223	485	10,870	513	12,188
日 名 公 園	321	7,673	341	12,914	329	15,921
六 名 公 園	1,328	62,850	1,371	57,530	1,351	44,114
梅 園 公 園	363	9,444	334	12,719	336	9,992
美 合 公 園	415	16,467	411	20,018	355	12,361
み どり 公 園	544	16,171	596	20,485	607	19,677
矢 作 公 園	1,518	83,756	1,549	92,462	1,214	79,706
井 田 公 園	703	34,517	484	24,683	566	27,429
三 百 田 公 園	476	18,025	463	15,333	487	13,940
堤 下 公 園	260	17,198	350	17,426	327	18,119
東 部	622	40,590	606	49,092	750	52,166
美矢井橋河川緑地 (ソフト)	938	76,462	1,160	89,781	1,319	81,524
美矢井橋河川緑地 (サッカー)	206	28,358	222	13,793	183	12,214
美矢井橋河川緑地 (大聖寺)	399	10,281	350	13,283	323	13,823
渡橋河川緑地 (右岸)	580	34,884	673	61,968	683	36,096
渡橋河川緑地 (左岸)	163	34,660	196	16,260	151	13,200
日名橋河川緑地	293	20,724	278	18,494	204	19,060
花園体育センター	602	17,536	523	17,012	462	15,128
額 田	268	17,536	272	15,225	354	20,030
合 計	11,940	622,984	11,372	630,932	18,667	566,887

(7) 運動広場

区 分		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
学区運動広場	岩 津	37	252	111	900	43	474
	大 幡	454	5,452	424	4,872	495	5,358
	舞 木	638	11,711	693	14,270	593	12,890
	奥 殿	320	7,091	269	5,852	246	5,706
	美 合	508	10,118	722	14,535	661	13,315
	藤 川	290	5,736	302	5,792	316	6,036
	六南あおみ野	1,192	68,639	907	66,830	862	66,160
合 計		3,439	108,999	3,428	113,051	3,216	109,939

(8) 庭球場

区 分		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園		3,110	11,901				
梅 園 公 園		3,196	18,797	3,131	18,305	3,186	18,219
緑 丘		4,473	23,554	4,299	22,219	4,218	21,323
乙 川 河 川 敷		1,580	6,843	2,255	14,629	2,180	9,144
牧 平 公 園		1,185	6,518	1,146	7,186	1,340	7,951
中 伊 西		1,841	9,493	1,899	9,638	2,088	9,853
花 園		1,139	4,001	1,081	4,168	1,118	4,616
合 計		16,524	81,107	13,811	76,145	14,130	71,106

令和 8 年 9月発行

教育要覧(令和 8 年度)

編集・発行 **岡 崎 市 教 育 委 員 会**

〒444-8601

岡崎市十王町二丁目9番地

担 当 ： 教育委員会事務局教育政策課

電 話 ： (0564)23-6419

F A X ： (0564)23-6558
